

取扱説明書 活用ガイド

デジタルカメラ/レンズキット/ボディ

品番 **DMC-GH4H/
DMC-GH4**



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(付属冊子「取扱説明書」)を必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

困ったときは？

メッセージ表示 P302

Q&A

故障かな？
と思ったら P326

知りたいことの
探し方 P2

本機の特長 P4

目次 P8

機能別目次 P14

メニュー一覧 P306

さくいん P349



知りたいことの探し方

取扱説明書 活用ガイドでは、知りたいことを以下のページから探すことができます。参照ページをクリックすると、該当ページへ移動するので、知りたいことを素早く探せます。

特長から探す

P4 ~

目次から探す

P8 ~

[目次] をクリックしても、移動できます。

機能の名前から探す

P14 ~

ボタンやダイヤルから探す

P19 ~

画面やアイコンから探す

P295 ~

メッセージから探す

P302 ~

メニュー名から探す

P306 ~

[メニュー] をクリックしても、移動できます。

Q&A から探す

P326 ~

キーワードから探す

P349 ~

[検索] をクリックしても、移動できます。



① クリックすると、「知りたいことの探し方」のページに移動します。



② クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

本書の詳しい読み方は、
次ページへ

Wi-Fi・NFCについては、
208 ページへ

本書の見方

使えるモード： 

説明している機能がどの撮影モードで使えるかを表しています。

- 黒のアイコン：使えるモード
- グレーのアイコン：使えないモード

, ,  は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。

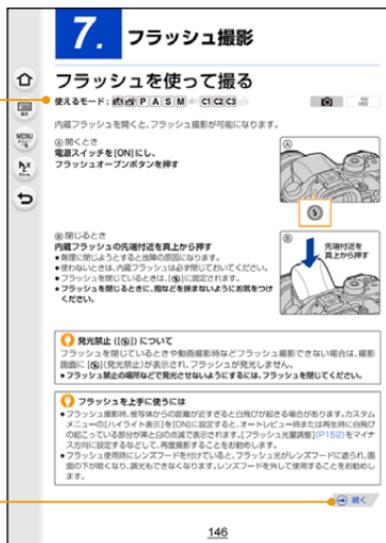


説明している機能が写真、動画で使えるかを表しています。

- 黒のアイコン：使える機能
- グレーのアイコン：使えない機能



クリックすると、説明が次のページに続きます。



- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- お使いのAdobe Readerのバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

■ 本文中の記号について

MENU： [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi： [Wi-Fi] ボタンを押してWi-Fiの設定をすることを示しています。

： カスタムメニューで設定を行う項目を示しています。

： 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

： 特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

(P**): 参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ] → 

- 本書では交換レンズ(H-FS14140)を用いて説明しています。
- 本書で用いる画面イラストは、[時計設定] (P36)の[表示形式]を[年・月・日]に、[システム周波数] (P178)を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときを基本として説明しています。

本機の特長



本機は、写真撮影から“4K”での動画撮影までに対応するデジタル一眼カメラです。

進化したオートフォーカスや、連写性能、映像制作用途に必要な動画機能などで、写真や動画によるさまざまな作品づくりを支えます。

本機の特長の一例をご紹介します。

進化したオートフォーカス

新開発DFDテクノロジーによる空間認識 AF

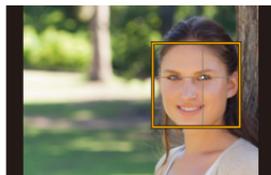
画面に写る被写体との距離を高速に算出するDFDテクノロジーの採用で、オートフォーカスの高速化・高精度化を実現しています。



顔・瞳認識 AF

カメラが自動で顔を検出し、目の位置でピントを合わせることができます。ピントを合わせる目はタッチするだけで、切り換えることができます。

(P83)



カスタマイズできる 49 点 AF

細かなAFエリアでピント合わせができます。細くなったAFエリアは、被写体や撮影状況に合わせてカスタマイズができます。より自由度の高いピント合わせや構図づくりを可能にすることができます。

(P84)



パソコンなしに RAW 現像

RAW 形式の画像を、本機で現像できます。プレビューを確認しながらホワイトバランスなどの設定ができます。

外出先や撮影の帰りなどのパソコンがない環境でも、カメラ内で RAW 現像ができます。

(P190)



映像表現の新たな世界を広げる動画性能

“4Kの世界”へようこそ

クリエイティブ動画モードでは、記録画像サイズがフルHDの4倍の解像度を持つ4K動画撮影に対応。

立体感、臨場感の増した、高精細4K画質での動画撮影ができます。
(P157)

さまざまな動画の機能

システム周波数の切り換えや、マスターペダスタル、シネライクガンマなど、映像制作用途に必要な機能が強化されました。本格的な映像作品づくりを支えます。

(P165)



Wi-Fi/NFC 機能

スマートフォンと簡単接続

スマートフォンやタブレットとの接続に、NFC 機能やQRコードを使って接続できます。わずらわしい暗号化キーの入力なしに接続できます。

(P213)



世界が広がる、世界とつながる、Wi-Fi 機能

Wi-Fi機能を使うことで、撮った画像をその場でスマートフォンに送ったり、SNS にアップしたりできます。

(P211)

表現の幅を広げる交換レンズ / 別売品

交換レンズ

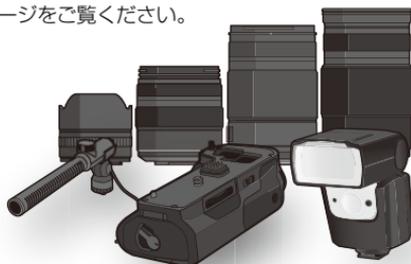
明るい大口径レンズや、高倍率ズームレンズ、電動ズームレンズ、マクロレンズ、魚眼レンズなど、広角から望遠まで、高い描写性能と優れた機動性を備えた交換レンズを多数用意しています。

- 交換レンズについて詳しくは、カタログ・ホームページをご覧ください。

別売品

ワイヤレス対応のフラッシュライトやバッテリーグリップなど、別売品を活用することで、表現の幅を広げたり、より快適な撮影をおこなうことができます。

(P287)



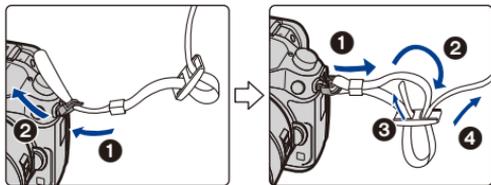
すぐに撮影してみる

すぐに撮影してみたい場合は、カメラにおまかせで気軽に撮れるインテリジェントオートモードでの手順を例に、操作してみてください。

1

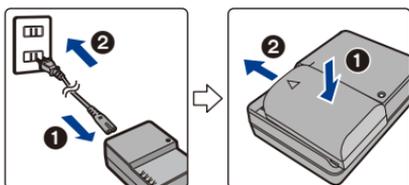
ショルダー ストラップを付ける (P27)

- もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



2

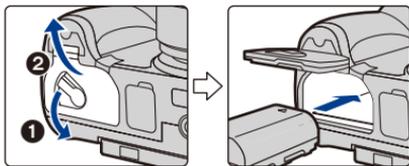
バッテリーを充電する (P28)



3

バッテリーを入れる (P32)

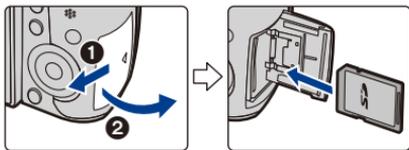
- 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入してください。



4

カード(別売)を入れる (P33)

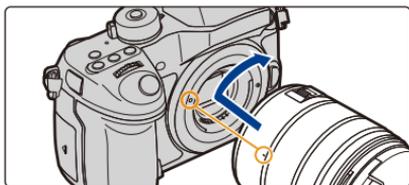
- 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入してください。



5

レンズを取り付ける (P24)

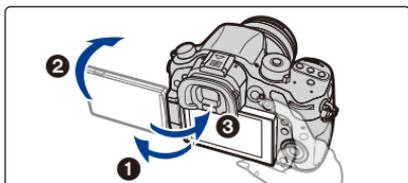
- レンズ取り付けマークを合わせて、矢印の方向に回して取り付けてください。



6

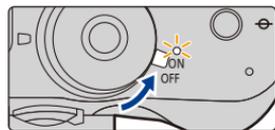
モニターを表にする (P35)

- モニターをつまんで開き、レンズ方向に180°回転させ、元の位置へ閉じてください。



7

電源スイッチを[ON]にし、 時計を設定する(P36)



8

カードをフォーマット(初期化)する(P52)

9

モードダイヤルを[M]に 合わせる(P40)

- モードダイヤルロックボタンが下がっているときはロックされています。押すごとにロック/ロックの解除が切り替わります。
- 主要な機能が自動設定されます。

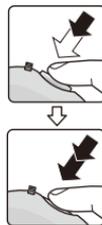


10

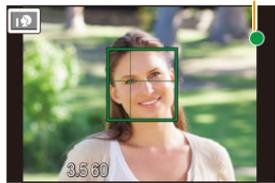
シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。

シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する(P39)



フォーカス表示



11

撮影した画像を確認する

- [オートレビュー]が動き写真撮影後に撮影画像を表示します。(P260)
- [▶]ボタンを押すと、画像が表示されます。(P179)



目次

1. はじめに	🔗 P8	8. 動画を撮影する	🔗 P11
2. 準備と基本操作	🔗 P8	9. 画像の再生・編集	🔗 P11
3. 簡単撮影	🔗 P9	10. Wi-Fi・NFC 機能を使う	🔗 P12
4. ピント・シャッター(ドライブ)の設定	🔗 P9	11. カメラのカスタマイズ	🔗 P13
5. 画質・色合いの設定	🔗 P10	12. 他の機器との接続	🔗 P13
6. 被写体・目的に合わせた撮影	🔗 P10	13. その他・Q&A	🔗 P13
7. フラッシュ撮影	🔗 P11		

知りたいことの探し方	2
本書の見方	3
本機の特長	4
すぐに撮影してみる	6
目次	8
機能別目次	14

1. はじめに

ご使用前に	16
同梱品	17
各部の名前と働き	19
本機で利用できるレンズ	22
本機で利用できるカード	23

2. 準備と基本操作

レンズを交換する	24
ショルダーストラップを付ける	27
バッテリーを充電する	28
充電する	28
使用時間と撮影枚数の目安	30
バッテリーを入れる・取り出す	32
カード(別売)を入れる・取り出す	33
カードについて	34
モニター面を表にする/モニターを調整する	35
時計を設定する	36
時計設定を変更する	37
基本の操作	38
視度調整について	38
本機の構え方について	38
シャッターボタン(写真の撮影)	39
動画ボタン(動画の撮影)	39
モードダイヤル(撮影モードの選択)	40
後ダイヤル/前ダイヤル	41

コントロールダイヤル	41
カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン	41
[DISP.] ボタン (表示情報の切り換え)	42
[LVF] ボタン (モニターとファインダーの切り換え)	44
タッチパネル (タッチ操作)	45
手ブレを補正する	46
よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)	48
メニューの設定方法	49
文字を入力する	51
本機の基本的な設定をする (セットアップメニュー)	52
カードをフォーマット (初期化) する	52
設定をお買い上げ時に戻す (設定リセット)	52
バッテリーの消耗を防ぐ (エコモード)	53
セットアップメニューを使う	54

3. 簡単撮影

カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード)	60
手持ちで夜景を撮る (i手持ち夜景)	62
階調豊かな写真に合成する (iHDR)	63
背景をぼかして撮る (ポケ味コントロール)	64
明るさや色合いを変えて撮る	65
インテリジェントオートプラスモードと インテリジェントオートモードについて	66
画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)	67
タッチ機能を使って撮る	77
タッチシャッター機能を使って撮る	77
狙った場所に簡単に明るさを合わせる (タッチ AE)	78

4. ピント・シャッター (ドライブ) の設定

自動でピントを合わせて撮る (オートフォーカス)	79
フォーカスモードを選ぶ (AFS, AFF, AFC)	80
オートフォーカスモードを選ぶ	81
AFエリアの位置を設定する / 大きさを変更する	86
タッチパッドで AF エリアの位置を設定する	88
タッチした位置にピントと明るさを合わせる	89
手でピントを合わせて撮る (マニュアルフォーカス)	90
ドライブモードを選ぶ	94
連写する	95
露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット撮影)	97
セルフタイマーを使って撮る	99
一定の間隔で自動的に撮影する (インターバル撮影)	100
ストップモーション動画の作成 (コマ撮りアニメ)	103

5. 画質・色合いの設定

画質とサイズを設定する	107
画像の横縦比を選ぶ	107
記録画素数を設定する	107
画像の圧縮率を設定する(クオリティ)	108
ISO感度を設定する	109
ISO感度の上限を設定する	110
ISO感度のステップ幅を設定する	110
ISO感度を拡張する	110
ホワイトバランスを調整する	111
効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)	115
明るい/暗い部分を調整する(ハイライトシャドウ)	117
画像補正機能を使いこなす	118
コントラストや露出を補正する(iDレンジコントロール)	118
解像感を高める(超解像)	118
露出の異なる写真を合成する(HDR)	119
長秒露光時のノイズを低減する(長秒ノイズ除去)	120
画面周辺の明るさを補正する(シェーディング補正)	120
色空間を設定する	121

6. 被写体・目的に合わせた撮影

お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)	122
絞り/シャッタースピードを決めて撮る	124
絞り優先AEモード	124
シャッター優先AEモード	125
マニュアル露出モード	126
絞り効果/シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)	128
絞り/シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる(ワンプッシュAE)	129
露出を補正して撮る	130
露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)	131
明るさの測り方を選ぶ(測光モード)	132
ズームを使って撮る	133
望遠効果を上げる	134
タッチ操作でズームを使う	137
1枚の写真に複数回の露出をする(多重露出)	138
操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード)	139
シャッター音を鳴らさずに撮影する(電子シャッター)	140
シャッターによるブレを抑える	141
顔を登録してきれいに撮影する(個人認証)	142
赤ちゃんやペットのプロフィールを設定して画像に記録する	145

7. フラッシュ撮影

フラッシュを使って撮る	146
フラッシュの機能を設定する	148
発光モードを切り換える	148
フラッシュモードを切り換える	149
後幕シンクロに設定する	151
フラッシュの発光量を調整する	152
露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる	152
ワイヤレスでフラッシュ撮影する	153
ワイヤレスフラッシュ撮影の設定をする	155

8. 動画を撮影する

動画を撮る	156
4K動画を撮る	157
フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する	158
動画撮影時のピントの合わせ方 (AF連続動作)	161
動画撮影中に写真を記録する	162
絞り/シャッタースピードを決めて	
動画を撮る (クリエイティブ動画モード)	163
動画撮影中の操作音を抑えて撮る	164
動画の詳細な設定をする、応用撮影をする	165
映像の輝度を設定する	166
音声を設定する、音声をモニターしながら撮る	167
動画撮影に適した画面・表示にする	169
カメラの映像をモニターしながら撮る	172
タイムコードの記録方法を設定する	173
スローモーション動画、クイックモーション動画を撮影する (パリアプルフレームレート)	174
映像のちらつきや横しまを軽減する (シンクロスキャン)	176
カラーバーを表示する / テストトーンを出力する	177
システム周波数を変更する	178

9. 画像の再生・編集

写真を見る	179
動画を見る	180
動画から写真を作成する	181
再生方法を切り換える	182
再生画面を拡大する (再生ズーム)	182
複数の画像を一覧表示する (マルチ再生)	182
画像を撮影日ごとに表示する (カレンダー再生)	183
グループ画像を見る	184
画像を消去する	185
再生メニューを使う	186
2D/3D切換	186
スライドショー	186
再生モード	188

位置情報記録.....	189
RAW 現像.....	190
不要な部分を消去する(クリアタッチ).....	193
タイトル入力.....	194
文字焼き込み.....	195
動画分割.....	197
インターバル動画作成.....	198
コマ撮りアニメ作成.....	198
リサイズ(縮小) 画像サイズ(画素数)を小さくする.....	199
トリミング(切抜き) 画像を切り抜く.....	200
画像回転 / 縦位置自動回転.....	201
お気に入り.....	202
プリント設定.....	203
プロテクト.....	205
認証情報編集.....	206
画像表示順.....	206
消去確認画面.....	207

10. Wi-Fi・NFC 機能を使う

Wi-Fi® 機能 /NFC 機能について.....	208
Wi-Fi 機能でできること.....	211
スマートフォン/タブレットとつないで使う.....	212
スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする.....	212
スマートフォン/タブレットと接続する.....	213
スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影).....	218
カメラの画像を再生する.....	219
カメラの画像を保存する.....	219
カメラの画像を SNSへ送信する.....	221
スマートフォン/タブレットから、カメラの画像に位置情報を追加する.....	221
カメラを操作してスマートフォン/タブレットに画像を送る.....	223
テレビに写真を映す.....	226
ワイヤレスでプリントする.....	227
AV 機器に画像を送る.....	228
パソコンに画像を送る.....	230
Web サービスを利用する.....	233
Web サービスに画像を送る.....	234
クラウド同期サービスに画像を送る.....	236
LUMIX CLUB (PicMate) への登録.....	238
LUMIX CLUB (PicMate) を設定する.....	238
宅外 AV 機器を設定する.....	242
接続について.....	243
自宅で接続する(ネットワーク経由).....	244
外出先で接続する(直接接続).....	246
以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する]/[お気に入りから接続する]).....	247
画像の送信設定について.....	249
Wi-Fi 設定メニュー.....	251

11. カメラのカスタマイズ

カスタムメニューを使う	253
クイックメニューをお好みの項目に変更する	264
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)	265
お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)	268
お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)	268
登録したカスタムセットで撮る	269

12. 他の機器との接続

4K 動画を楽しむ	270
テレビで見る	271
ビエラリンク(HDMI)を使う	272
写真や動画をパソコンに残す	274
付属のソフトウェアを使う	275
写真や動画をレコーダーに残す	279
プリントする	280
画像に日付を入れるには	283
3D 写真を楽しむ	284

13. その他・Q&A

別売品のご紹介	287
海外旅行先で使う	294
モニター/ファインダーの表示	295
メッセージ表示	302
メニュー一覧	306
撮影	308
動画	310
カスタム	312
セットアップ	315
再生	316
設定できるメニュー(撮影モード別)	319
記録可能枚数・時間の目安	323
Q&A 故障かな?と思ったら	326
使用上のお願い	341
さくいん	349

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

機能別目次



撮影

撮影

撮影モード	P40
プレビュー	P128
多重露出	P138
サイレントモード	P139
3D撮影	P284

ピント(AF/MF)

フォーカスモード	P80
オートフォーカスモード	P81
AFエリアの位置移動	P86
マニュアルフォーカス	P90
AF/AEロック	P131

ドライブ

ドライブモード	P94
連続撮影可能枚数	P96
セルフタイマー	P99
インターバル撮影	P100
コマ撮りアニメ	P103

画質・色合い

記録画素数	P107
クオリティ	P108
ISO感度	P109
ホワイトバランス	P111

フォトスタイル	P115
ハイライトシャドウ	P117
iDレンジコントロール	P118
超解像	P118
HDR	P119
長秒ノイズ除去	P120
シェーディング補正	P120
色空間	P121

露出

タッチ AE	P78
オートブラケット	P97
ワンブッシュ AE	P129
露出補正	P130
測光モード	P132
AF/AEロック	P131

フラッシュ

フラッシュモード	P149
後幕シンクロ	P151
フラッシュ光量調整	P152
ワイヤレスフラッシュ設定	P153



動画

動画

記録方式	P158
画質設定	P158
動画中の写真撮影	P162
クリエイティブ動画モード	P163
タッチ静音操作	P164
4K動画	P157

画面設定

マイクレベル表示	P169
SS/ゲイン操作	P169
センターマーカー表示	P170
ゼブラパターン表示	P170
モノクロライブビュー	P171
動画優先表示	P171

映像

マスターベデスタル	P166
輝度レベル設定	P166

応用撮影、詳細設定

タイムコード設定	P173
バリアブルフレームレート	P174
シンクロスキャン	P176
カラーバー	P177
システム周波数	P178

音声

マイクレベル設定	P167
風音低減	P167
マイクレベルリミッター	P167
レンズ動作音低減	P167

モニタリング

音声モニタリング	P168
撮影時 HDMI 出力	P172



セットアップ / カスタム

基本設定

視度調整	P38
表示の切り換え	P42
時計設定	P36
クイックメニュー	P48
メニューの設定方法	P49
フォーマット	P52
リセット (初期化)	P52

エコモード	P53
電子音	P55
センサークリーニング	P59

カスタマイズ

カスタムメニュー	P253
クイックメニューの [カスタム]	P264
ファンクションボタン	P265
カスタムモード	P268



再生

再生

写真の再生	P179
再生ズーム	P182
マルチ再生	P182
動画の再生	P180
消去	P185
オートレビュー	P260

編集

RAW 現像	P190
クリアタッチ	P193
リサイズ	P199
トリミング	P200

情報追加

位置情報記録	P189
タイトル入力	P194
文字焼き込み	P195

表示 / 再生設定

画像回転 / 縦位置自動回転	P201
スライドショー	P186

画像設定

お気に入り	P202
プリント設定	P203
プロテクト	P205



Wi-Fi

接続

直接接続	P246
Image App	P212
NFC	P217
WPS (プッシュボタン)	P244、246

他機器連携

画像のプリント	P227
クラウド同期サービスの利用	P236
パソコンに画像を送信	P230
AV 機器に画像を送信	P228
TV で写真再生	P226
Web サービスに画像を送信	P234

Image App

位置情報の送信、追加	P221
画像の送信	P220、223
画像の保存	P219
タッチシェアリング	P252
リモート撮影	P218



他機器接続

パソコン

PHOTOfunSTUDIO	P275
SILKPIX	P275

レコーダー

ダビング	P279
------	------

テレビ

ピエラリンク	P272
--------	------

プリンター

ピクトブリッジ PictBridge	P280
-----------------------	------

1.

はじめに

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
 - 本機を落とす、またはぶつける
 - レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん防滴に配慮した構造となっておりますが、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるには、以下のことにお気をつけください。

- 防じん防滴対応の当社製交換レンズを取り付けてお使いください。防じん防滴非対応の交換レンズや、マウントアダプター(別売:DMW-MA1)使用時は、防じん防滴構造になりません。
- 内蔵フラッシュは、閉じてお使いください。
- 本機の扉部、端子キャップ、接点カバーなどは、しっかりと閉じてください。
- レンズやキャップの取り付け、取り外し、扉の開閉時は、砂やほこり、水滴などが内部に侵入しないようにお気をつけください。
- 水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ 露付きについて(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

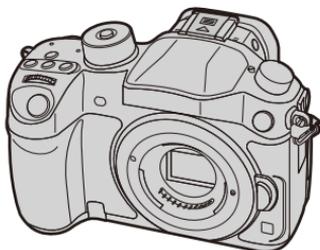
■ お使いの交換レンズのファームウェアについて

より快適な撮影のために、交換レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

- ファームウェアの最新情報やダウンロードについては、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 交換レンズのファームウェアのバージョンは、本体に交換レンズを取り付けて、セットアップメニューの[バージョン表示]でご確認ください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P341)

同梱品



デジタルカメラボディ
(本文中では**本体**と表記します)

記載の品番は2014年3月現在のものです。変更されることがあります。

DMC-GH4H(レンズキット商品)に同梱

- DMC-GH4H に同梱の交換レンズ(H-FS14140)は、防じん防滴に対応していません。



交換レンズ
H-FS14140
(本文中では**レンズ**と表記します)



レンズフード
VYC1119



レンズキャップ※
VYF3514



レンズリアキャップ※
VFC4605

※ お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

→ 続く

 <p>バッテリーパック DMW-BLF19 (本文中ではバッテリーと表記します) ●充電してからお使いください。</p>	 <p>USB 接続ケーブル K1HY08YY0031</p>
 <p>バッテリーチャージャー DMW-BTC10 (本文中ではチャージャーと表記します)</p>	 <p>DVD ●ソフトウェア ●取扱説明書 活用ガイド(本書) (パソコンにインストールしてお使いください)</p>
 <p>電源コード K2CA2YY00247</p>	 <p>ショルダーストラップ VFC5122</p>
 <p>ボディキャップ* VKF4971</p>	 <p>ホットシューカバー* VYF3522</p>
 <p>アイカップ* VYK6T25</p>	 <p>バッテリーグリップ 接点カバー* (P20) VKF5104</p>
 <p>フラッシュシンクロ 端子キャップ* (P19) VKF5108</p>	 <p>インターフェースユニット 接点カバー* (P20) VKF5289</p>

※ お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています。

- カードは別売です。
- 別売品については287ページを参照してください。
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

パナソニックグループの
ショッピングサイト

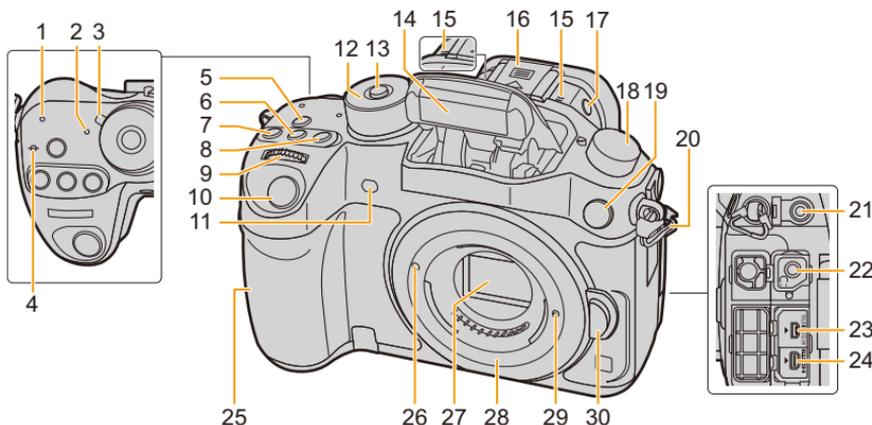
 **Panasonic Store**

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

各部の名前と働き

■ デジタルカメラボディ



1 Wi-Fi®接続ランプ(P209)

2 電源表示ランプ(P36)

3 電源スイッチ(P36)

4 撮影距離基準マーク(P92)

5 ワイファイ [Wi-Fi]ボタン(P209)/ファンクション [Fn1] ボタン(P265)

6 [ISO](ISO感度)ボタン(P109)

7 [](露出補正)ボタン(P130)

8 [WB](ホワイトバランス)ボタン(P111)

9 前ダイヤル(P41)

10 シャッターボタン(P39)

11 セルフタイマーランプ(P99)/
AF補助光ランプ(P256)

12 モードダイヤル(P40)

13 モードダイヤルロックボタン(P40)

14 フラッシュ発光部(P146)

ステレオマイク(P167)

15 ●マイクを指で塞がないようお気をつけください。
音が記録されにくくなります。

16 ホットシュー(ホットシューカバー)(P289)

フラッシュオープンボタン(P146)

17 ●フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。

ドライブモードダイヤル

:単写(P94)/ :連写(P95)/

18 :オートブラケット(P97)/

:セルフタイマー(P99)/

:インターバル/コマ撮り撮影(P100, 103)

19 フラッシュシンクロ端子
(フラッシュシンクロ端子キャップ)(P290)

20 ショルダーストラップ取り付け部(P27)

21 マイク
[MIC]端子(P291)

22 ヘッドホン端子(P55, 168)

23 アウト デジタル
[AV OUT/DIGITAL]端子
(P271, 277, 279, 280)

24 [HDMI]端子(P271)

25 NFCアンテナ部[](P217)

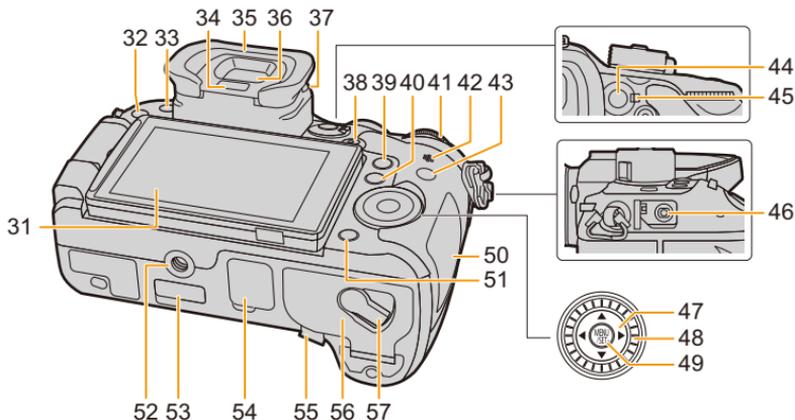
26 レンズ取り付けマーク(P24)

27 センサー

28 マウント

29 レンズロックピン

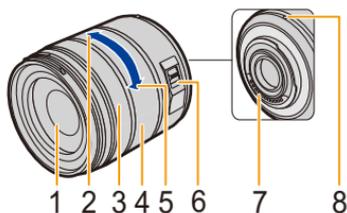
30 レンズ取り外しボタン(P25)



31	タッチパネル/モニター(P45)	46	リモート端子(P293)
32	[▶](再生)ボタン(P179)	47	カーソルボタン(P41)
33	[LVF]ボタン(P44)/ [Fn5] ボタン(P265) <small>ファンクション</small>	48	コントロールダイヤル(P41)
34	アイセンサー(P44)	49	[MENU/SET] ボタン(P41、49) <small>メニュー/セット</small>
35	アイカップ(P342)	50	カード扉(P33)
36	ファインダー(P44)	51	[消去/戻る]ボタン(P185)/ <small>ファンクション</small> [Fn4] ボタン(P265)
37	視度調整ダイヤル(P38)		三脚取り付け部(P346)
38	動画ボタン(P156)	52	●ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。
39	[Q.MENU]ボタン(P48)/ [Fn2] ボタン(P265) <small>クイックメニュー</small> <small>ファンクション</small>		インターフェースユニット接点カバー
40	[](オートフォーカスモード)ボタン(P79)/ [Fn3] ボタン(P265) <small>ファンクション</small>	53	●業務用動画機器 (AG-YAGH)用の接点カバーです。詳しくは、下記のサイトをご覧ください。 http://panasonic.biz/sav/
41	後ダイヤル(P41)	54	バッテリーグリップ接点カバー(P292)
	スピーカー(P55)		DCカバー扉(P293)
42	●スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。	55	●ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカバー(別売:DMW-DCC12)を使用してください。
43	[DISP.] ボタン(P42) <small>ディスプレイ</small> ●押すことにモニターの表示を切り換えます。	56	バッテリー扉(P32)
44	[AF/AE ロック]ボタン(P131)	57	開閉レバー(P32)
45	フォーカスモードレバー(P79、90)		

■ 同梱レンズ

H-FS14140



1	レンズ面
2	T側(望遠)
3	フォーカスリング(P90)
4	ズームリング(P133)
5	W側(広角)
6	O.I.S. スイッチ(P46)
7	接点
8	レンズ取り付けマーク(P24)

本機で使用できるレンズ

■ マイクロフォーサーズ™ マウント規格レンズ

マイクロフォーサーズシステムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。



■ フォーサーズ™ マウント規格レンズ

マウントアダプター(別売: DMW-MA1)を使用することで、フォーサーズマウント規格のレンズを使用することができます。



■ ライカマウント規格レンズ

Mマウントアダプター、Rマウントアダプター(別売: DMW-MA2M、DMW-MA3R)を使用することで、ライカMマウント、ライカRマウントの交換レンズを使用することができます。

- お使いのレンズによっては、実際にピントの合う距離とレンズの距離表示が多少ずれる場合があります。
- ライカレンズ用マウントアダプター使用時は、[レンズ無しリリース](P263)を[ON]に設定してください。

レンズと機能について

お使いのレンズによっては使用できない、または動作が異なる機能があります。

オートフォーカス / 自動絞り動作 / 手ブレ補正 (P46) / ボケ味コントロール (P64) / シェーディング補正 (P120) / パワーズームレンズ (P136) / タッチズーム (P137) / クイック AF (P255) / アイセンサーAF (P255) など

お使いのレンズについて詳しくは、ホームページでご確認ください。

対応レンズの最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- お使いのレンズの絞り値によって、フラッシュ撮影可能範囲などが異なります。
- お使いのレンズに表記されている焦点距離は、35 mmフィルムカメラで換算すると2倍に相当します。(50 mmレンズを使用した場合は、35mm換算で100 mmレンズ相当になります) 3D交換レンズについては、ホームページでご確認ください。

本機で使用できるカード

本機では、SD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらをカードと記載しています)

SDメモリーカード(8 MB~2 GB)/ miniSDカード※ ¹ /microSDカード※ ¹	<ul style="list-style-type: none"> ●SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。 ●SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/
SDHCメモリーカード(4 GB~32 GB)/ microSDHCカード※ ¹	<ul style="list-style-type: none"> ●本機は UHS-I UHS Speed Class 3 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。 ●左記の容量以外のカードは使えません。
SDXCメモリーカード (48 GB、64 GB)	

※¹ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■ 動画撮影とスピードクラスについて

動画の[記録方式](P158)や[画質設定](P158)によって必要なカードが異なります。以下のSDスピードクラスやUHSスピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SDスピードクラスやUHSスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

記録方式	[画質設定]の ビットレート※ ²	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS 4 4
MP4	100 Mbps	UHS Speed Class 3	3
	28 Mbps 以下	Class 4 以上	CLASS 4 4
MP4(LPCM)、 MOV	100 Mbps 以上	UHS Speed Class 3	3
	50 Mbps	UHS Speed Class 1 以上	1
		Class 10	CLASS 10 10

※² ビットレートは動画撮影メニューの[画質設定]で選んだ項目によって異なります。詳しくは 158 ページをお読みください。

- 最新情報は下記サポートサイトで確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

2.

準備と基本操作

レンズを交換する

レンズを交換することで表現の幅が広がり、カメラの楽しさも広がります。以下の手順で交換してください。

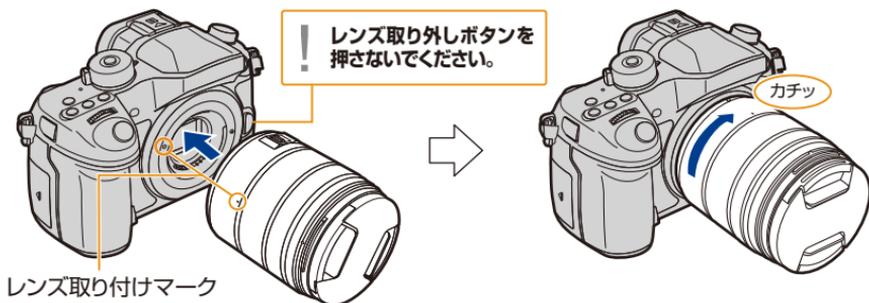
- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。
ごみなどが付着した場合は、342ページをお読みください。

レンズの取り付け方

1 レンズリアキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外す



2 レンズ取り付けマークを合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す



- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようとする、本体のレンズ取り付け部を傷つけるおそれがありますのでお気をつけください。
- 持ち運びするときなどはレンズ面の保護のため、レンズキャップを付けるか、MCプロテクター(別売)の装着をお勧めします。(P287)

レンズの取り外し方

- レンズキャップを取り付けてください。

レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す

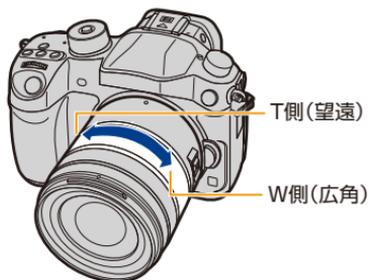


- 本体からレンズを取り外したときは、必ず本体にボディキャップを付け、レンズにはレンズリアキャップを付けてください。

ズーム操作

交換レンズ(H-FS14140)の場合

レンズのズームリングを回す



- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ズーム操作から行ってください。
- [EXテレコン(写真)], [EXテレコン(動画)], [デジタルズーム]を設定することで、望遠効果を高めることができます。(P134)

レンズフードの取り付け方

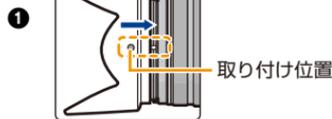
日差しが強い逆光での撮影時、レンズ内部で光の乱反射が生じて、光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮れます。

交換レンズ(H-FS14140)に付属しているレンズフード(花型)を取り付ける場合
レンズフードを図のように指を添えて持ってください

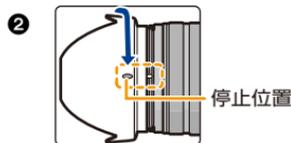
- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。



1 レンズフードの短いほうの取り付け位置とレンズ先端の指標を合わせる



2 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回し、レンズフードの長いほうの停止位置とレンズ先端の指標を合わせる



持ち運ぶ際は、一時的にレンズフードの向きを逆にしておけることができます。

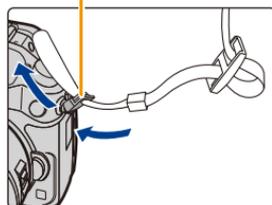


ショルダーストラップを付ける

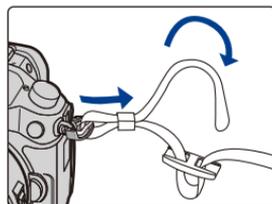
●落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

- 1** ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取り付け部に通す

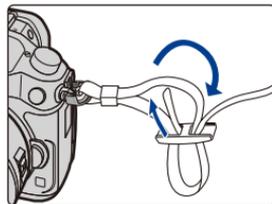
ショルダーストラップ
取り付け部



- 2** 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す

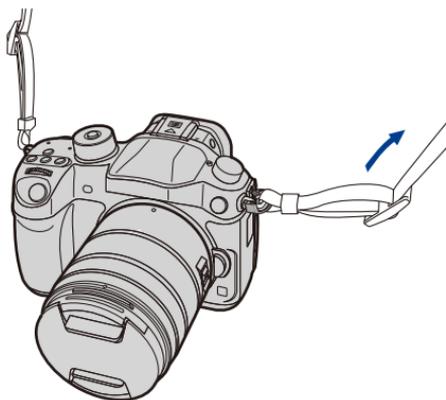


- 3** ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



- 4** ショルダーストラップのもう一方を引いて、抜けないことを確認する

- 手順1～4の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2014年3月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BLF19です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

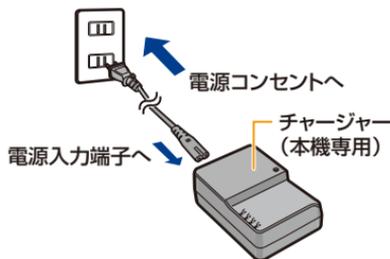
- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

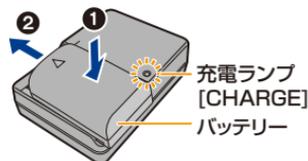
1 電源コードをつなぐ

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。



2 バッテリーの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまでバッテリーを差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。



➡ 続く

■ 充電ランプの表示について

点灯: 充電中

消灯: 充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

● 点滅するときは

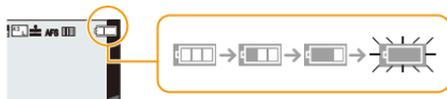
- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところ再度充電することをお勧めします。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

■ 充電時間について

充電時間	約220分
------	-------

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

■ バッテリー残量表示について



- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(電源表示ランプも点滅します) バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- チャージャーは海外でも使うことができます。(P294)

使用時間と撮影枚数の目安

■ 写真記録(モニター使用時)(条件はCIPA規格でプログラムAEモード時)

	交換レンズ(H-FS14140)装着時
記録可能枚数	約530枚
撮影使用時間	約265分

■ 写真記録(ファインダー使用時)(条件はCIPA規格でプログラムAEモード時)

	交換レンズ(H-FS14140)装着時
記録可能枚数	約500枚
撮影使用時間	約250分

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- 温度23℃/湿度50%RH、モニター/ファインダーを点灯
- 当社製のSDHCメモリーカード使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始
(手ブレ補正機能に対応した交換レンズ装着時は手ブレ補正を[]に設定)
- 30秒間隔で1回撮影、フラッシュを2回に1回フル発光
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。

[例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30秒に1回撮影)の枚数の約1/4になります]

 続く

■ 動画撮影(モニター使用時)

AVCHD(画質設定を[FHD/17M/60i]で撮影)

	交換レンズ(H-FS14140)装着時
撮影可能時間	約220分
実撮影可能時間	約110分

MP4(画質設定を[FHD/20M/30p]で撮影)

	交換レンズ(H-FS14140)装着時
撮影可能時間	約240分
実撮影可能時間	約120分

MP4(LPCM)(画質設定を[FHD/50M/60p]で撮影)

	交換レンズ(H-FS14140)装着時
撮影可能時間	約210分
実撮影可能時間	約105分

MOV(画質設定を[FHD/50M/60p]で撮影)

	交換レンズ(H-FS14140)装着時
撮影可能時間	約210分
実撮影可能時間	約105分

- 温度23℃/湿度50%RHの環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- [MP4]のサイズが[FHD]、[HD]、[VGA]の動画では、1つの動画として連続記録できるのは29分59秒まで、またはファイルサイズ4GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。
 - [FHD]は、ファイルサイズが大きいため29分59秒より前に撮影を終了します。
- [MP4]のサイズが[4K]の動画では、ファイルサイズが4GBを超える場合、撮影時は一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます。
- [MP4(LPCM)]、[MOV]でファイルサイズが4GBを超える場合、撮影時は一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます。

■ 再生(モニター使用時)

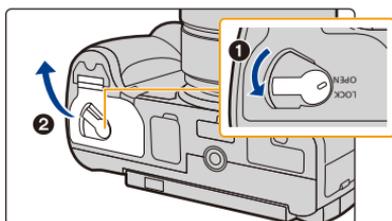
	交換レンズ(H-FS14140)装着時
再生使用時間	約510分

- 使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は減少します。
 - スキー場などの低温下
 - フラッシュ発光を繰り返したとき
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

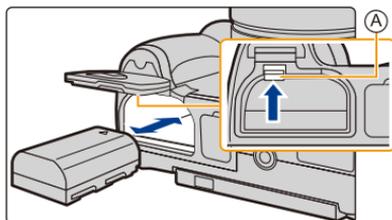
バッテリーを入れる・取り出す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。

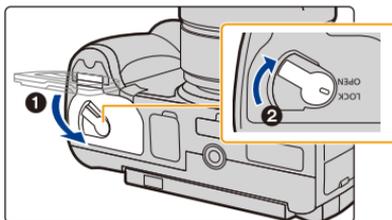
- 1 開閉レバーを矢印の方向
(OPEN側)にスライドさせる
- 2 バッテリー扉を開く



- 2 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに(A)のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、(A)のレバーを矢印の方向に引いて取り出す



- 3 1 バッテリー扉を閉じる
- 2 開閉レバーを矢印の方向
(LOCK側)にスライドさせる



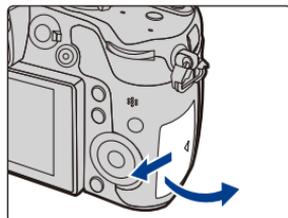
- バッテリー扉の内側(ゴムパッキン)に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)



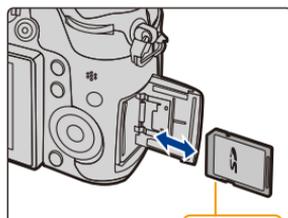
カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

1 カード扉をスライドさせて開く



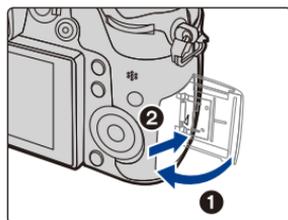
2 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる 取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く



接続端子部
端子部には触れないでください。

3 ① カード扉を閉じる

② 最後までスライドさせて確実に閉じる



- カードの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

カードについて

カードアクセス中は…

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売:DMW-AC10)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。戻すと可能になります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。



モニター面を表にする / モニターを調整する

お買い上げ時、モニターは収納状態になっています。
下図のようにしてモニター面を表にします。



- ① モニターをつまんで開く(最大180°開きます)
- ② レンズ方向に180°回転させる
- ③ 元の位置へ閉じる

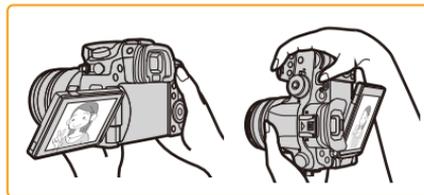
●モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。

■ フリーアングル撮影

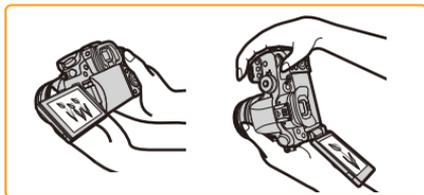
モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

●AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

ハイアングル撮影



ローアングル撮影



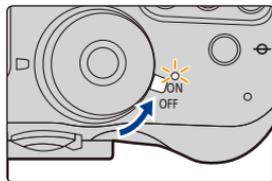
●モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のためモニターを内側に収納しておくことをお勧めします。

時計を設定する

- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

- 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。



2 [MENU/SET] ボタンを押す



- 🏠 : ホームの時間
- ✈️ : 旅行先の時間

3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する

- [◀/▶] ボタンを押すと、時計を設定せずに中止することができます。

表示順・時刻表示形式を設定する場合

- [表示形式] を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



表示形式



表示順 時刻表示形式

4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。
- ワールドタイムの[ホーム]の設定を促すメッセージが表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

→ 続く

- 5** ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



時計設定を変更する

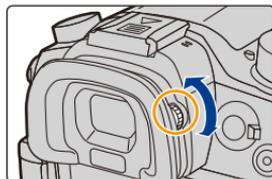
セットアップメニューの[時計設定]を選んでください。(P49)

- 36 ページの手順 3.4 の操作で変更できます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れたままにしてください)
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込みを行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。

基本の操作

視度調整について

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。

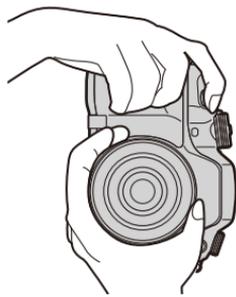


本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、スピーカー、マイクを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影の際は、必ずレンズキャップを外してください。
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突するおそれがある場所では周囲に十分お気をつけください。

AF補助光ランプ マイク(P19)



■ 構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出できる機能です。

再生時に自動で縦向きに表示することができます。〔縦位置自動回転〕(P201)を[ON]に設定している場合のみ)

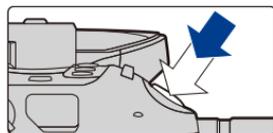


- 縦位置検出機能に対応していないレンズを使用した場合でも、本機で撮影すると縦位置検出を行うことができます。
- 本機を縦に構えた状態で、本機を大きく上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

シャッターボタン(写真の撮影)

シャッターボタンは2段階になっています。押すことで写真の撮影を行います。

シャッターボタンを半押し(軽く押し)してピントを合わせる



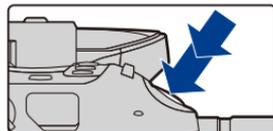
フォーカス表示

- 絞りとシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)



絞り値 シャッタースピード

シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



- お買い上げ時は、[フォーカス/リリース優先] (P256)が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。
- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。

交換レンズ(H-FS14140) 装着時	
	0.3 m~∞[撮像面から](焦点距離14 mm~21 mm)
	0.5 m~∞[撮像面から](焦点距離22 mm~140 mm)

- メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。

動画ボタン(動画の撮影)

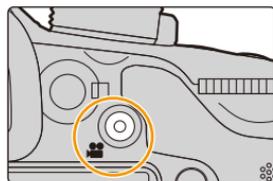
動画ボタンを押すことで、動画撮影の開始と終了の操作を行います。

動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画は終了時に動画ボタンを押したときまでが記録されるため、操作音が目立つ場合があります。(P156)

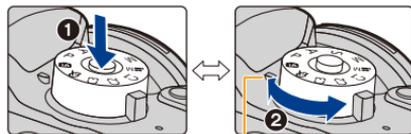


モードダイヤル(撮影モードの選択)

モードダイヤルを回すことで、撮影モードの切り換えを行います。

モードダイヤルロックボタンを押して(①)、ロックを解除する

- モードダイヤルロックボタンが下がっているときはロックされています。押すごとにロック/ロックの解除が切り換わります。



モードダイヤルを回して(②)、撮影モードを合わせる

- 撮影モードを合わせたあとは、モードダイヤルロックボタンを押して、ロックしてください。



iA	インテリジェントオートモード(P60) カメラにおまかせで撮影します。
iA+	インテリジェントオートプラスモード(P66) インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。
P	プログラムAEモード(P122) カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。
A	絞り優先AEモード(P124) 絞り値を決めて撮影します。
S	シャッター優先AEモード(P125) シャッタースピードを決めて撮影します。
M	マニュアル露出モード(P126) 絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
M	クリエイティブ動画モード(P163) 絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。4K 動画([画質設定]のサイズが[4K]または[C4K]の動画)の撮影など、すべての動画の機能が使える撮影モードです。 ※写真撮影はできません。
C1C2C3	カスタムモード(P268) あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
b	クリエイティブコントロールモード(P67) 画像効果を確認しながら撮影します。

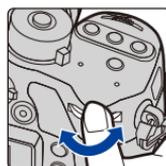
後ダイヤル / 前ダイヤル

回す: 各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

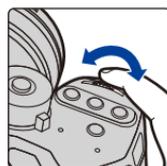
- 本書では後ダイヤル/前ダイヤルの操作を次のように説明しています。

例: 後ダイヤルを左右に回すとき: 

例: 前ダイヤルを左右に回すとき: 



後ダイヤル



前ダイヤル

P / A / S / M モード時は、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

モードダイヤル	 後ダイヤル	 前ダイヤル
P (P122)	プログラムシフト	プログラムシフト
A (P124)	絞り値	絞り値
S (P125)	シャッタースピード	シャッタースピード
M (P126)	シャッタースピード	絞り値

- カスタムメニューの[ダイヤル設定]で、後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を変更できます。(P261)

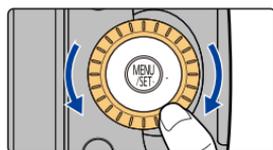
コントロールダイヤル

コントロールダイヤルを回す:

項目の選択や、数値の設定などを行います。

- 本書ではコントロールダイヤルを回す操作を次のように説明しています。

例: コントロールダイヤルを左右に回すとき: 



カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

カーソルボタンを押す: 項目の選択や、数値の設定などを行います。

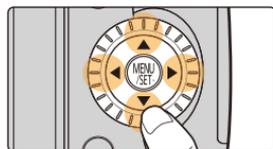
[MENU/SET] ボタンを押す: 設定内容の決定などを行います。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を▲/▼/◀/▶で説明しています。

タッチパネル操作中でも、右図のようなガイドが画面に表示されているときは、カーソルボタンと[MENU/SET]ボタンでも操作することができます。

ガイドが表示されないメニュー画面などでもボタン操作で設定や決定をすることができます。

- ファンクションボタンに[カーソルボタンロック]を設定することで、カーソルボタン、[MENU/SET]ボタン、コントロールダイヤルの操作を無効にできます。(P265)



[DISP.] ボタン(表示情報の切り換え)

[DISP.] ボタンを押すと、画面の表示情報が切り換わります。

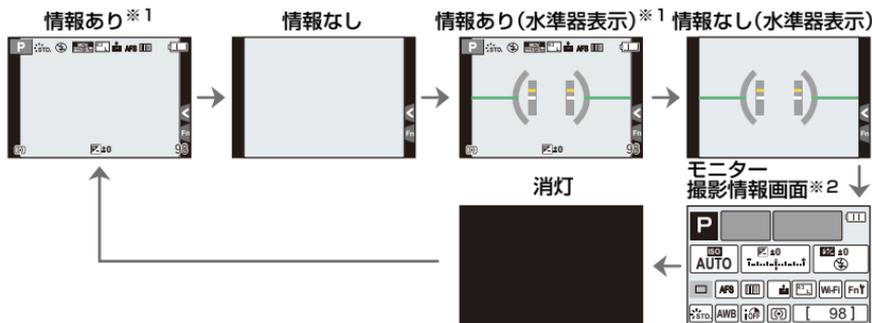


撮影時

- カスタムメニューの[モニター表示スタイル]、[LVF表示スタイル]で、モニターとファインダーの表示画面をそれぞれ[] (モニタースタイル) または [] (ファインダースタイル) から選ぶことができます。

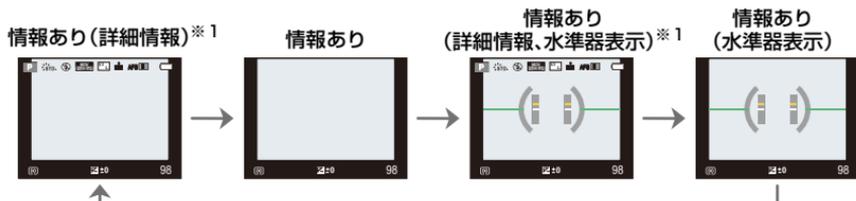
([] モニタースタイル)

- 画面は以下のように切り換わります。(モニター表示での例です)



([] ファインダースタイル)

- 画面は以下のように切り換わります。(ファインダー表示での例です)



※1 カスタムメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。(P258) また、カスタムメニューの[露出メーター]を[ON]に設定すると、露出メーターを表示させることができます。(P259)

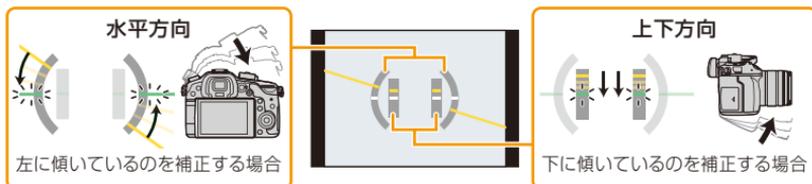
※2 カスタムメニューの[モニター撮影情報画面]を[ON]にしているときのみ表示されます。(P260) 各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

- カスタムメニューの[ガイドライン表示]を設定すると、ガイドラインが表示できます。(P258)
- 何も操作しない場合、画面上の情報の一部が約10秒経過すると段階的に暗くなり、約1分経過すると表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。

■ 水準器表示について

水準器を表示させると、カメラの傾きを補正したい場合などに便利です。

- 1 [DISP.] ボタンを押して水準器を表示させる
- 2 カメラの傾きを確認する



- 傾きがほぼない状態は、緑色に変わります。
- 縦位置撮影時は、自動で縦位置用の表示に切り替わります。

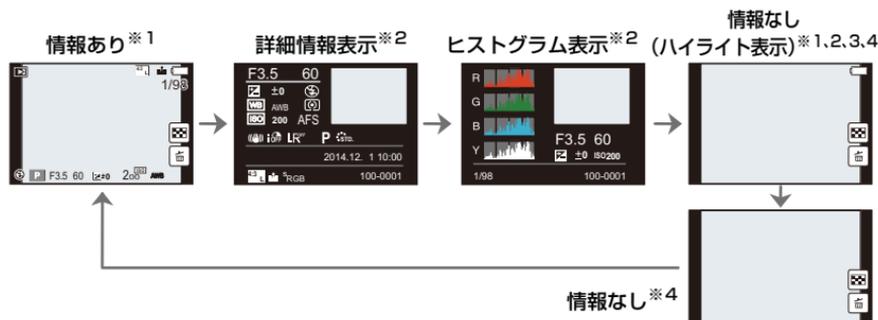
- 傾きがほぼ補正された状態でも、±1°程度の誤差が生じることがあります。
- ファンクションボタンに[水準器表示]を設定しているときは、ファンクションボタンを押すごとに、水準器の表示/非表示を切り換えることができます。

こんなときは使えません

- 本機を動かしている間は、水準器表示が正しく表示できない場合があります。
- 本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能(P38)が正しく働かない場合があります。

再生時

- 画面は以下のように切り替わります。



※1 何も操作しない場合、画面上の情報の一部が約10秒経過すると段階的に暗くなり、約1分経過すると表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。

※2 再生ズーム時、動画再生中、連続再生中、スライドショー中は表示されません。

※3 カスタムメニューの[ハイライト表示](P259)を[ON]にしているときのみ表示されます。

※4 何も操作しないと、数秒後に[]などのタッチアイコンは表示されなくなります。

- 再生時はヒストグラムをR(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)、Y(輝度)に分けて表示します。

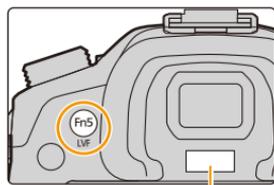
[LVF] ボタン(モニターとファインダーの切り換え)

[LVF] ボタンを押すと、モニターとファインダーの表示が切り換わります。

[LVF]/[Fn5] ボタンは、[LVF]と[Fn5](ファンクション5)の2とおりの使い方ができます。

お買い上げ時は、[LVF/モニター切換]が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは [265](#) ページをお読みください。



アイセンサー

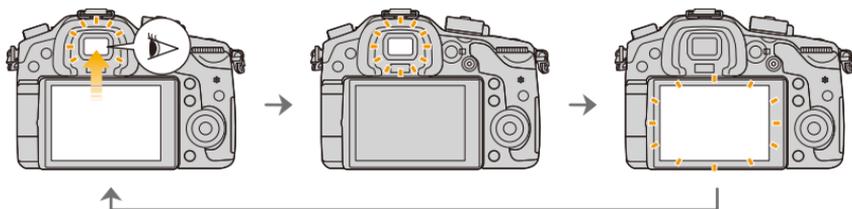
[LVF] ボタンを押す

- 以下のように切り換わります。

ファインダー/モニター
自動切換*

ファインダー表示*

モニター表示



※ カスタムメニューの[アイセンサーAF]を[ON]に設定しているときは、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピント合わせを行います。(P255)

- カスタムメニューの[アイセンサー]の[LVF/モニター切換]でも、ファインダーとモニターの表示を切り換えることができます。(P262)

■ アイセンサーでモニターとファインダーを切り換える

ファインダー/モニター自動切換では、ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換えます。

- ファインダー/モニター自動切換に切り換えた後などでは、数秒間[LMONAUTO]が表示されます。
- お使いの眼鏡の形状やカメラの構え方、または接眼部付近に強い光が当たることなどにより、アイセンサーが正しく働かない場合があります。その場合は[LVF] ボタンを押して、切り換えてください。
- 動画再生中、スライドショー中は、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換わりません。
- カスタムメニューの[アイセンサー]でアイセンサーの感度を設定できます。(P262)

- ファインダーの表面が汚れた場合は、アイカップを取り外したあと、プロアー(市販)でごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

タッチパネル(タッチ操作)

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

- 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。



■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。

再生時は画像を送ることなどもできます。



■ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを 2 本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。



- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります)
- ボールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- モニターを強い力でこすったり、押ししたりしないでください。
- タッチパネルに表示されるアイコンについては、295 ページの「モニター/ファインダーの表示」をお読みください。

🚫 こんなときは使えません

- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - 手袋を着用している
 - ぬれている手や、ハンドクリームを塗った直後の手
 - タッチパネルがぬれている
 - 市販のモニター保護シートを使用している
 - タッチパネルを複数の手や指で同時にタッチしている

手ブレを補正する

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

手ブレ補正機能に対応したレンズが必要です。

– 交換レンズ(H-FS14140)には、手ブレ補正機能があります。

- O.I.Sスイッチがある交換レンズ(H-FS14140など)の場合、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすることで手ブレ補正機能が動くように設定することができます。(お買い上げ時は[)に設定されています)

■ 撮影メニューで手ブレ補正を設定する

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [手ブレ補正]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

 (通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。	
 (流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。	
OFF	手ブレ補正は働きません。(O.I.S.スイッチのないレンズをご使用の場合のみ選択できます)	

- 手ブレ補正機能のないレンズを使用した場合、[手ブレ補正]は選択できません。
- 設定後はメニューを終了してください。



手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[)が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマー(P99)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
 - スローシンクロ
 - 赤目軽減スローシンクロ
 - シャッタースピードを遅くしたとき

 続く

- 三脚を使用するときは、手ブレ補正を [OFF] にすることをお勧めします。[OFF] に設定すると、画面に [] が表示されます。
- [] での流し撮りは、ファインダー撮影をお勧めします。

こんなときは使えません

- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなる場合があります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
 - 手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
 - デジタルズーム使用時
 - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
 - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなる時
- 以下の場合、[] での流し撮りの効果が出にくくなります。
 - 夏の日中など、明るいところ
 - シャッタースピードが 1/100 より速い場合
 - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合 (背景が流れません)
 - 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

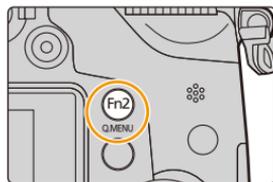
クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

[Q.MENU]/[Fn2]ボタンは、[Q.MENU]と[Fn2](ファンクション2)の2とおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[Q.MENU]が設定されています。

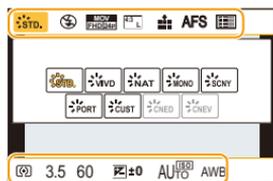
- ファンクションボタンについて詳しくは [265](#) ページをお読みください。

1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

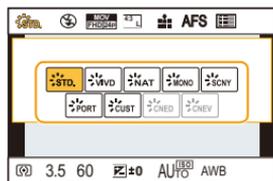


2 前ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ

- コントロールダイヤルを回しても設定できます。



3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ



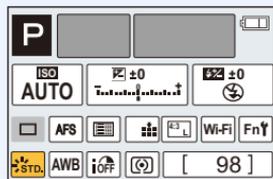
4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押してメニューを終了する

- ▲/▼/◀/▶ ボタンでも設定できます。

[] (モニタースタイル)のモニター撮影情報画面(P42)

[Q.MENU] ボタンを押し、コントロールダイヤルを回して項目を選び、前後のダイヤルを回して設定内容を選んでください。

- ▲/▼/◀/▶ ボタンと [MENU/SET] ボタンでも設定できます。



カスタムメニューの[Q.MENU] ([P264](#))を[カスタム]に設定時は、クイックメニューで設定する項目をお好みに合わせて変更できます。

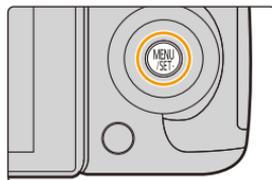
メニューの設定方法

カーソルボタンを押したり後ダイヤルを回したりするボタン操作と、画面をタッチするタッチ操作の2とおりの操作でメニューを設定できます。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。
例) 撮影メニューで、[クオリティ]を[.]から[.]に設定する

MENU ボタン → **[撮影]** → **[クオリティ]** → **[.]**

1 [MENU/SET] ボタンを押す



[[撮影]] 撮影(P308～)	横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
[[動画]] 動画(P310～)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[[fC]] カスタム(P253～)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
[[⌘]] セットアップ(P54～)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[[再生]] 再生(P186～)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

■ 他のメニューに切り換えるには

例) 撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

- 1 ◀ ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで [⌘] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ
 - 前ダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンを選べます。
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す
 - 続けてメニュー項目を選んで設定してください。



— タッチ操作では —

[⌘] などのメニュー切り換えアイコンをタッチする

→ 続く

2 ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルまたはコントロールダイヤルを回しても、メニュー項目を選べます。
- [DISP.] ボタンを押すことで、ページを切り換えられます。

— タッチ操作では —

メニュー項目をタッチする

- [△]/[▽] をタッチすると、ページを切り換えられます。



3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルまたはコントロールダイヤルを回しても、設定内容を選べます。
- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

— タッチ操作では —

設定内容をタッチして決定する



- 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、動かなくなる機能があります。

■ メニューを終了する

[⏪/⏩] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする



— タッチ操作では —

[⏪] をタッチする



- セットアップメニューの[メニューインフォメーション](P58)を[ON]に設定していると、メニュー項目/設定内容の説明文がメニュー画面に表示されます。
- セットアップメニューの[メニュー位置メモリー](P58)を[ON]に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択した状態の画面になります。お買い上げ時は[ON]に設定されています。

文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。

右記のような画面が表示されると、文字を入力できます。

(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)

●画面を表示するための操作の例:

MENU ボタン → [撮影] → [プロフィール設定] → [設定] → [赤ちゃん 1] → [名前] → [設定]



1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで文字を選び、[MENU/SET] ボタンで入力する

- [切換]にカーソルを合わせ [MENU/SET] ボタンを押すと、**かな**(ひらがな)、**カタ**(カタカナ)、**A/a**(アルファベット)、**1**(数字)、**&**(記号)に文字を切り換えることができます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、コントロールダイヤルを右側に回し、カーソルを移動させてください。
- 項目にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が行えます。
 - []: 空白を入力
 - [消去]: 文字を消去
 - [◀]: 入力位置を左に移動
 - [▶]: 入力位置を右に移動
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
 - **かな/カタ**: 最大15文字 ([個人認証]の名前は最大6文字)
 - **A/a/1/&***: 最大30文字 ([個人認証]の名前は最大9文字)
 - * [\\], [], []], [.], [-] は最大15文字 ([個人認証]の名前設定時は最大6文字) です。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押して入力を終了する

文字入力例

「バリ」と入力する場合:

- 1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[切換]を選ぶ
- 2 [MENU/SET] ボタンを押し、カナに切り換える
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで「ハ」に移動し、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで「°」に移動して [MENU/SET] ボタンを2回押し、「バ」にする
- 5 ▲/▼/◀/▶ ボタンで「ラ」に移動して [MENU/SET] ボタンを2回押し、「リ」にする
- 6 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [決定] に移動し、[MENU/SET] ボタンを押す

●入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー)

カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → **⌂** [セットアップ] → [フォーマット]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC10)(P293)を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。
- 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。
- フォーマットできないときは、別のカードを入れてお試しいただいてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

設定をお買い上げ時に戻す(設定リセット)

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → **⌂** [セットアップ] → [設定リセット]

- 撮影設定、セットアップ/カスタム設定の順に確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 撮影設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。
 - [個人認証] の設定内容
- セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。
 - [ワールドタイム] の設定内容
 - [トラベル日付] の設定内容(出発日、帰着日、旅行先)
 - [プロフィール設定] の設定内容
 - 再生メニューの[縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容
- セットアップメニューの[システム周波数]を変更している場合は、リセットすると電源の入れ直しを促すメッセージが表示されます。電源スイッチを[OFF]にしたあと、電源スイッチを[ON]にしてください。
- フォルダー番号、時計の設定は変わりません。

バッテリーの消費を防ぐ(エコモード)

バッテリーの消費を防ぐための設定ができます。

メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [エコモード]

スリープモード	設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [10分]、[5分]、[2分]、[1分]、[OFF]
LVF/モニター自動OFF	設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニター/ファインダーを消灯します。 [5分]、[2分]、[1分]

- [スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。
- モニター/ファインダーを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチしてください。
- ファインダー/モニター自動切換(P44)が働くと、[LVF/モニター自動 OFF]は解除されます。
- 以下の場合、[エコモード]は働きません。
 - パソコンまたはプリンター接続時
 - 動画撮影/動画再生時
 - スライドショー時
 - [多重露出]設定時
 - インターバル撮影時
- ACアダプター(別売:DMW-AC10)使用時は、[スリープモード]は働きません。
- ACアダプター使用時は、[LVF/モニター自動 OFF]は[5分]に固定されます。

セットアップメニューを使う

「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

 セットアップメニューの設定方法は  P49

項目	設定・お知らせ
時計設定	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、36ページをお読みください。
ワールドタイム	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ時はまず [ホーム] を設定してください。 [旅行先] の設定は、[ホーム] 設定後に行えます。 <p>[旅行先]、[ホーム] のいずれかを選択後は、◀/▶ ボタンでエリアを選び、[MENU/SET] ボタンを押して決定してください。</p> <p>[✈ 旅行先]: 旅行先の地域</p> <p>現地時刻 </p> <p>ホームとの時差 </p> <p>[🏠 ホーム]: お住まいの地域</p> <p>現在時刻 </p> <p>GMT(グリニッジ標準時)との時差 </p> <ul style="list-style-type: none"> サマータイム(▲☀)(夏時間)を採用している場合は、▲ ボタンを押してください。(時計が1時間進みます)もう一度▲ ボタンを押すと元に戻ります。 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

 セットアップメニューの設定方法は  P49

項目	設定・お知らせ								
<p>トラベル日付</p> <p>旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み] (P195) で撮影画像に焼き込むことができます。</p>	<p>[トラベル日付設定]:</p> <p>[設定]: 出発日、帰着日を設定します。撮影時に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。</p> <p>[OFF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。 <p>[旅行先]:</p> <p>[設定]: 撮影時に旅行先が記録されます。</p> <p>[OFF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。 ●トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。 ●[AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。 ●動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。 								
<p>Wi-Fi</p>	<p>[Wi-Fi 機能]、[Wi-Fi 設定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●詳しくは、211、251 ページをお読みください。 								
<p>電子音</p> <p>電子音や電子シャッター音の音量を設定します。</p>	<table border="0"> <tr> <td>[電子音音量]:</td> <td>[電子シャッター音音量]:</td> </tr> <tr> <td>[]: 大</td> <td>[]: 大</td> </tr> <tr> <td>[]: 小</td> <td>[]: 小</td> </tr> <tr> <td>[]: OFF</td> <td>[]: OFF</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●[電子シャッター音音量]は、連写の[SH]設定時、[電子シャッター]設定時にのみ動きます。 ●[サイレントモード]を[ON]に設定時は、[電子音音量]、[シャッター音音量]はOFFになります。 	[電子音音量]:	[電子シャッター音音量]:	[]: 大	[]: 大	[]: 小	[]: 小	[]: OFF	[]: OFF
[電子音音量]:	[電子シャッター音音量]:								
[]: 大	[]: 大								
[]: 小	[]: 小								
[]: OFF	[]: OFF								
<p>スピーカー音量</p> <p>スピーカーの音量を7段階に調整します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。また、このとき本機のスピーカーからは音声は出ません。 ●[サイレントモード]を[ON]に設定時は、音量は0になります。 								
<p>ヘッドホン音量</p>	<p>市販のヘッドホンを接続したときの音量を16段階に調整します。</p>								

 セットアップメニューの設定方法は  P49

項目	設定・お知らせ
<p>ライブビューモード</p> <p>撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度を設定します。</p>	<p>[30fps]: 電力消費を抑え、使用時間が長くなります。 [60fps]: 動きを滑らかに表示できます。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● [ライブビューモード]を[30fps]に設定すると、[60fps]設定時より撮影画面の画質が劣る場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● 暗い環境では、表示速度が遅くなる場合があります。 ● ACアダプター使用時は、[ライブビューモード]は[60fps]に固定されます。 ● クリエイティブ動画モードや撮影時でのHDMI出力中は、[ライブビューモード]は無効になります。
<p>モニター調整 / LVF調整</p> <p>モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。</p>	<p>[]: (明るさ): 明るさを調整します。</p> <p>[]: (コントラスト・彩度): 明暗差や色の鮮やかさを調整します。</p> <p>[]: (赤み): 赤みを調整します。</p> <p>[]: (青み): 青みを調整します。</p> <p>1 ▲/▼で設定項目を選び、◀/▶で調整する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コントロールダイヤルを回しても、調整できます。 <p>2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。 ● 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
<p>モニター輝度</p> <p>周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。</p>	<p>[] (AUTO): 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。</p> <p>[] (MODE1): モニターを明るくします。</p> <p>[] (MODE2): モニターを暗くします。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● モニターに表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● 再生時は、[AUTO]は選択できません。 ● ACアダプター(別売: DMW-AC10)使用時の初期設定は[MODE1]になります。
<p>エコモード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳しくは、53ページをお読みください。
<p>バッテリー使用順序</p>	<p>[本体優先]、[BG優先]</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 詳しくは、292ページをお読みください。

 セットアップメニューの設定方法は  P49

項目	設定・お知らせ
USBモード USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	<p> 接続時に選択]: パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。</p> <p> PictBridge(PTP)]: PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。</p> <p> PC]: パソコンに接続する場合に設定します。</p>
テレビ接続設定 テレビなどの接続のしかたを設定します。	<p>[テレビ 画面タイプ]: テレビの種類に合わせて設定します。 [16:9]: 画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●AVケーブル(別売)接続時に動きます。 <p>[再生時HDMI出力解像度]: HDMIマイクロケーブルを使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI出力の映像方式を設定します。</p> <p>[AUTO]: 接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。</p> <p>[C4K]: 有効走査線数2160本のプログレッシブ方式で、サイズが4096×2160の出力をします。</p> <p>[4K]: 有効走査線数2160本のプログレッシブ方式で、サイズが3840×2160の出力をします。</p> <p>[1080p]: 有効走査線数1080本のプログレッシブ方式で出力します。</p> <p>[1080i]: 有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。</p> <p>[720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。</p> <p>[576p]: 有効走査線数576本のプログレッシブ方式で出力します。</p> <p>[480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●システム周波数の設定により、選べる項目が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> - [59.94Hz(NTSC)]: [AUTO], [4K], [1080p], [1080i], [720p], [480p] - [50.00Hz(PAL)]: [AUTO], [4K], [1080p], [1080i], [720p], [576p] - [24.00Hz(CINEMA)]: [AUTO], [C4K], [4K], [1080p] ●HDMIマイクロケーブル接続時に動きます。 ●再生時のみ動きます。 ●[AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[AUTO]以外の固定された設定に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください)

 セットアップメニューの設定方法は  P49

項目	設定・お知らせ
テレビ接続設定 (つづき)	<p>[3D テレビ出力]: 3D画像の出力方法を設定します。</p> <p>[3D]: 3D対応テレビに接続する場合に設定します。 [2D]: 3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。 3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合も、この設定にしてください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●HDMIマイクロケーブル接続時に働きます。 ●3D画像を3Dで再生する方法については、285ページをお読みください。 <hr/> <p>[ビエラリンク]: 本機とHDMIマイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。</p> <p>[ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません) 本機のボタンでの操作は制限されます。 [OFF]: 本機のボタンでの操作になります。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●HDMIマイクロケーブル接続時に働きます。 ●詳しくは、272ページをお読みください。
メニュー位置メモリー 最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。	[ON]、[OFF]
メニュー背景色 メニュー画面の背景色を設定します。	▲/▼ボタンで背景の色を選び [MENU/SET] ボタンを押す
メニューインフォメーション メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。	[ON]、[OFF]
バージョン表示	<ul style="list-style-type: none"> ●本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。 ●バージョン表示画面で[MENU/SET]ボタンを押すと、本機のソフトウェアに関する情報を表示します。

 セットアップメニューの設定方法は  P49

項目	設定・お知らせ
露出補正リセット 撮影モード変更時および電源 OFF 時に露出補正量をリセットすることができます。	[ON]、[OFF]
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	<ul style="list-style-type: none"> ● フォルダ番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ● フォルダ番号は100～999まで作成されます。フォルダ番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P59)することをお勧めします。 ● フォルダ番号を100にリセットするには、まずカードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダ番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳しくは、52ページをお読みください。
Wi-Fi 設定リセット Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ([PicMate設定](P241))は除く)	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラを廃棄または譲渡する場合は、設定した個人情報を誤って使用されないためにも、必ずリセットしてください。 ● 修理を依頼する場合も、個人情報の控えをとったあと、必ずリセットしてください。
システム周波数	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳しくは、178ページをお読みください。
ピクセルリフレッシュ 撮像素子と画像処理の最適化を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されています。被写体でない明るい点が記録され、気になるときは、本機能をお使いください。 ● 終了後は、電源を入れ直してください。
センサークリーニング 撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ● ダストリダクション機能は電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になるときは、本機能をお使いください。 (P342)
フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳しくは、52ページをお読みください。

3.

簡単撮影

カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード)

撮影モード:



被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

カメラが自動でシーンを判別します(自動シーン判別)(写真撮影時、 動画撮影時)



i 人物



i 風景



i マクロ



i 夜景&人物*1



i 夜景



i 手持ち夜景*2



i 料理



i 赤ちゃん*3



i 夕焼け



i ローライト



iA

*1 内蔵フラッシュを開いている場合のみ表示されます。

*2 [i手持ち夜景]を[ON]に設定したときのみ表示されます。(P62)

*3 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔・瞳認識したときのみ表示されます。

●どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。

インテリジェントオートモードは主要な機能が自動設定されるので、難しい設定は不要で撮影できます。より気軽に撮りたいときは、インテリジェントオートモードをお使いください。

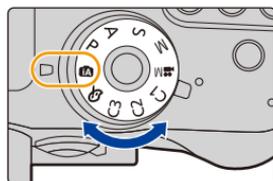
(○：設定可、×：設定不可)

	インテリジェントオートプラスモード	インテリジェントオートモード
明るさ設定	○	×
色合い設定	○	×
ボケ味コントロール	○	○
設定できるメニュー	66 ページをお読みください。	

続く

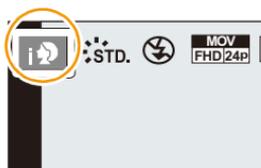
1 モードダイヤルを [A] に合わせる

- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。(P66)



2 被写体に画面を合わせる

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。(自動シーン判別)



■ 自動で働く機能について

- カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。
 - 自動シーン判別/逆光補正/顔・瞳認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/デジタル赤目補正/超解像/iDレンジコントロール/長秒ノイズ除去/シェーディング補正/クイックAF/AF補助光

■ オートフォーカス/顔・瞳認識/個人認証

オートフォーカスモードは自動で [AF] に設定されます。被写体をタッチすると追尾 AF 機能が働きます。[AF] ボタンを押し、シャッターボタンを半押ししても追尾 AF 機能に切り換わります。(追尾 AF について、詳しくは 83 ページをお読みください)

- [AF]、[AF]、[AF] のとき、ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、ピントを合わせる目を変えることはできません。(顔・瞳認識)
- 追尾 AF 時は、被写体をロックするまで自動シーン判別は働きません。
- [個人認証] を [ON] に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[AF]、[AF] の右上に [R] が表示されます。



■ フラッシュ

フラッシュを閉じているときは [F] に、開いているときは [F] (オート) に設定されます。フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で [F]、[F] (赤目軽減オート)、[F] または [F] に設定します。

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P146)
- [F]、[F] のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [F]、[F] のときは、シャッタースピードが遅くなります。

→ 続く

■ 自動シーン判別について

- [] と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少なくカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようお願いしてください。

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
 - 被写体条件
顔の明暗 / 被写体の大きさ・色・形状 / 被写体までの距離 / 被写体の濃淡 / 被写体が動いているとき
 - 撮影条件
夕暮れ / 朝焼け / 低照度 / 手ブレが発生したとき / ズーム倍率



逆光補正について

- カメラが自動で画像を明るくすることにより、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。

手持ちで夜景を撮る (i手持ち夜景)

撮影モード:



[i手持ち夜景]を[ON]に設定すると、手持ち撮影で夜景を撮影中に[]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の写真に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。

MENU ボタン → [撮影] → [i手持ち夜景] → [ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- 画面に複数枚撮影のメッセージが表示されます。シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 三脚などで本機を固定しているときは、[]と判別されません。
- フラッシュは[](発光禁止)に固定されます。



こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[i手持ち夜景]は使えません。
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定時
 - [EXテレコン(写真)]設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)

階調豊かな写真に合成する (iHDR)

撮影モード:  



[iHDR] を [ON] に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。

[iHDR] は必要に応じて働きます。働くときは、画面に [HDR] が表示されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [iHDR] → [ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- 画面に複数枚撮影のメッセージが表示されます。シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[iHDR] は使えません。
 - フラッシュ撮影時
 - 連写撮影時
 - オートブラケット撮影時
 - [クオリティ] を [RAW ]、[RAW ]、[RAW] に設定時
 - [EXテレコン(写真)] 設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

背景をぼかして撮る (ボケ味コントロール)

撮影モード:  



背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

- 1 [Fn4] ボタンを押して設定画面を表示する
- 2 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する

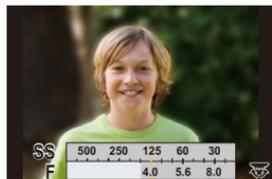


ボケ具合が大きい



ボケ具合が小さい

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



■ タッチパネル操作時

- 1  をタッチする
- 2  をタッチして、設定画面を表示する
- 3 露出メーターをドラッグして設定する
 - [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



- ボケ具合の設定画面で [Fn4] ボタンを押すと、設定が解除されます。
- インテリジェントオート ( または ) モードでは、オートフォーカスモードが  になります。画面をタッチすると、AF エリアの位置を設定できます。(大きさは変更できません)
- 使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがありますが、このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
- 使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。

こんなときは使えません

- 使用するレンズによっては動作しない場合があります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。

明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード: 



カメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できます。

明るさを設定する

- 1  ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して明るさを調整する
 - もう一度  ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



色合いを設定する

- 1  ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して色合いを調整する
 - 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
 - もう一度  ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



■ タッチパネルで設定を変える

- 1  をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする
 -  : 色合い
 -  : 明るさ
- 3 スライダーをドラッグして設定する
 -  ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

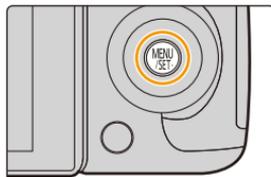


- [露出補正リセット] を [ON] に設定した場合、設定した明るさは、電源スイッチを [OFF] にする、または他の撮影モードに変更すると標準(中心点)に戻ります。
- 設定した色合いは、電源スイッチを [OFF] にする、または他の撮影モードに変更すると、標準(中心点)に戻ります。

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードについて

■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには

- 1 [MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ◀ ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで [iA+] または [iA] タブを選ぶ
- 4 ◀/▶ ボタンで [iA+] または [iA] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [DISP.] ボタンを押すと、選択されているモードの説明が表示されます。



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



■ 設定できるメニューについて

- 撮影: 319 ページの「設定できるメニュー (撮影モード別)」をお読みください。
- 動画: 319 ページの「設定できるメニュー (撮影モード別)」をお読みください。
- セットアップ: すべてのメニュー項目が設定できます。(P54)
- カスタム: 以下のメニューのみ設定できます。

iA+ インテリジェントオートプラスモード

[サイレントモード]/[シャッター半押しリリース]/[ピンポイントAF 時間]/[フォーカス/リリース優先]/[AF+MF]/[MF アシスト]/[MF ガイド]/[ピーキング]/[ヒストグラム表示]/[ガイドライン表示]/[センターマーカー表示]/[ハイライト表示]/[ゼブラパターン表示]/[モノクロライブビュー]/[常時プレビュー(Mモード)]/[LVF 表示スタイル]/[モニター表示スタイル]/[モニター撮影情報画面]/[記録枠表示]/[動画優先表示]/[オートレビュー]/[Fn ボタン設定]/[Q.MENU]/[ダイヤル設定]/[動画ボタン]/[パワースームレンズ]/[フォーカスリング無しレンズ]/[アイセンサー]/[タッチ設定]/[タッチ再生送り速度]/[メニューガイド]/[レンズ無しリリース]

iA インテリジェントオートモード

[サイレントモード]/[ガイドライン表示]

画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

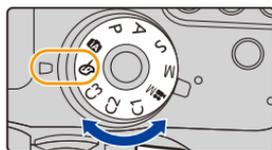
撮影モード: 



画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。



1 モードダイヤルを [] に合わせる



2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

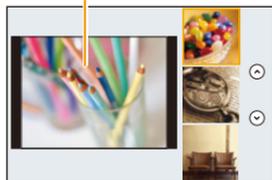
- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



プレビュー表示



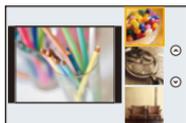
3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

■ 画像効果(フィルター)を選ぶ画面表示を切り換えるには

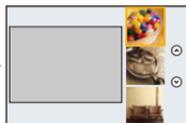
[DISP.] ボタンを押して切り換える

- ガイド表示に切り換えると、選択されている画像効果の説明が表示されます。

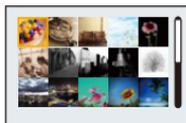
通常表示



ガイド表示



一覧表示



- クリエイティブコントロールモードを変更したい場合は、メニュー画面で [] タブを選び、[フィルター切替] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと上記手順 2 に戻ります。
- ホワイトバランスは [AWB] に、ISO感度は [AUTO] に固定されます。

画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。

1 [WB] ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して設定する

- 調整できる項目は、選択している画像効果により異なります。それぞれの画像効果の「調整できる項目」をお読みください。
- もう一度 [WB] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- 画像効果の設定を行うと、画面に [] が表示されます。
- 設定を変えない場合は、中心(標準)を選んでください。



背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

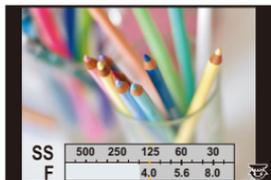
1 [Fn4] ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- ボケ具合の設定画面で [Fn4] ボタンを押すと、設定が解除されます。

こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、ボケ味コントロール機能を使えません。



明るさを設定する

1 [] ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して設定する

- もう一度 [] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



■ タッチパネルで設定を変える

1 [] をタッチする

2 設定する項目をタッチする

[] : 画像効果

[] : ボケ具合

[] : 明るさ

3 スライダーをドラッグして設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- ボケ具合の設定画面で [Fn4] ボタンを押すと、設定が解除されます。



🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は 📖 P67



ポップ

色を強調したポップアート風の画像効果です。

調整できる項目

鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
------	----------	---	--------



レトロ

色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。

調整できる項目

色合い	黄色っぽい色	↔	赤っぽい色
-----	--------	---	-------



オールドデイズ

光に包まれた柔らかく懐かしい雰囲気をかもし出す画像効果です。

調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
--------	---------	---	---------



ハイキー

全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。

調整できる項目

色合い	ピンクっぽい色	↔	水色っぽい色
-----	---------	---	--------

🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は 📖 P67



ロッキー

全体的に暗く落ち着いた雰囲気、明るい部分を引き立てる画像効果です。

調整できる項目

色合い	赤っぽい色	↔	青っぽい色
-----	-------	---	-------



セピア

セピア色の画像効果です。

調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
--------	---------	---	---------



モノクローム

白黒の画像効果です。

調整できる項目

色合い	黄色っぽい色	↔	青っぽい色
-----	--------	---	-------



ダイナミックモノクローム

コントラストを高めにし、力強いモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
--------	---------	---	---------






クリエイティブコントロールモードの設定方法は  P67
**ラフモノクローム**

粗い粒子感を加えたモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目

粒子感	粒子感が弱い	↔	粒子感が強い
-----	--------	---	--------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

**シルキーモノクローム**

全体を少しぼかし、柔らかな雰囲気のものクロ写真に仕上げる画像効果です。

調整できる項目

ボケ具合	ボケ具合が小さい	↔	ボケ具合が大きい
------	----------	---	----------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

**インプレッシブアート**

強いコントラストで、現実にはない劇的な雰囲気を描き出す画像効果です。

調整できる項目

鮮やかさ	白黒	↔	派手な色合い
------	----	---	--------

**ハイダイナミック**

暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出す画像効果です。

調整できる項目

鮮やかさ	白黒	↔	派手な色合い
------	----	---	--------

🔍 クリエイティブコントロールモードの設定方法は 📖 P67



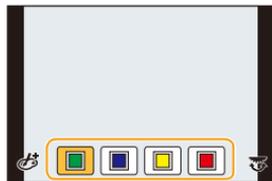
クロスプロセス

意外な発色で、独特の雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目

色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色
-----	--------------------------------

- 後ダイヤルを回して発色させる色合いを選び、[WB]ボタンを押してください。



トイフォト

周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。

調整できる項目

色合い	オレンジっぽい色	↔	青っぽい色
-----	----------	---	-------



トイポップ

明るく鮮やかにトイカメラで撮影したような画像効果です。

調整できる項目

周辺光量が落ちる範囲	小さい	↔	大きい
------------	-----	---	-----



ブリーチバイパス

高コントラストで彩度を低くした、映画で使われるような渋い雰囲気の画像効果です。

調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
--------	---------	---	---------

🔗 クリエイティブコントロールモードの設定方法は P67



ジオラマ

周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。

調整できる項目

鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
------	----------	---	--------

■ ぼかし方を設定する

[ジオラマ]では、ぼかす部分とぼかさない部分を意図的に作ることで、模型を撮影したような効果を描き出します。撮影する向き(ぼかす向き)やぼかさない部分の位置、大きさを設定することができます。

1 ▲ ボタンを押して設定画面を表示する

- [] をタッチしたあと、[] をタッチしても表示できます。

2 ▲/▼ ボタンまたは ◀/▶ ボタンでぼかさない部分を移動する

- 撮影画面で画面をタッチすることでも、ぼかさない部分を移動することもできます。
- [] をタッチすると、撮影する向き(ぼかす向き)を設定できます。



3 後ダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する

- 画面をピンチアウト/ピンチイン(P45)しても、拡大/縮小できます。
- [DISP.] ボタンを押すとぼかさない部分の設定は、初期設定に戻ります。

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 動画に音声は録音されません。
- システム周波数を [59.94Hz(NTSC)] に設定時は、動画は約 1/10 の時間で記録され、表示される記録可能時間は約 10 倍になります。
システム周波数を [50.00Hz(PAL)] または [24.00Hz(CINEMA)] に設定時は、動画は約 1/8 の時間で記録され、表示される記録可能時間は約 8 倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- フォーカスモードが [MF] の場合、ピントを合わせた場所にぼかさない部分を移動させてください。

🔍 クリエイティブコントロールモードの設定方法は 📖 P67



ソフトフォーカス

全体を少しぼかし、柔らかな雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目

ボケ具合	ボケ具合が小さい	↔	ボケ具合が大きい
------	----------	---	----------

●撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。



ファンタジー

淡い色調で空想の世界のような雰囲気仕上げる画像効果です。

調整できる項目

鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
------	----------	---	--------



クロスフィルター

光源からの光が十字状に輝く、華やかな雰囲気を描き出す画像効果です。

調整できる項目

光の輝きの長さ	輝きが短い	↔	輝きが長い
---------	-------	---	-------

●撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は 📖 P67



ワンポイントカラー

モノクロ写真に特定の色だけを残し、印象的に強調する画像効果です。

調整できる項目

残す色の量	少し色を残す	↔	多く色を残す
-------	--------	---	--------

■ 残したい色を設定する

画面の位置を選ぶことで、残したい色を選ぶことができます。

1 ▲ ボタンを押して設定画面を表示する

- [📍] をタッチしたあと、[🎨] をタッチしても表示できます。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、残す色を選ぶ

- 画面をタッチすることでも、残す色を選べます。
- [DISP.] ボタンを押すと枠は中央に戻ります。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

🔦 クリエイティブコントロールモードの設定方法は P67



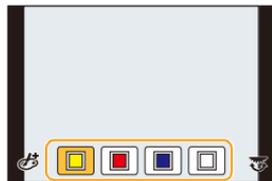
サンシャイン

光が差し込むような雰囲気を作る画像効果です。

調整できる項目

色合い	黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色
-----	--------------------------------

- 後ダイヤルを回して色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。



■ 光源を設定する

光源の位置と大きさを設定できます。

1 ▲ ボタンを押して設定画面を表示する

- [] をタッチしたあと、[] をタッチしても表示できます。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで光源の中心の位置を移動する

- 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。
- 光源の中心は画面の端まで移動できます。



光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。



3 後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する

- 4種類の大きさに変更できます。
- ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。
- [DISP.] ボタンを押すと光源の設定は初期設定に戻ります。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

タッチ機能を使って撮る

タッチシャッター機能を使って撮る

使えるモード：  **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

1 をタッチする



2 をタッチする

- アイコンが に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。



3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- ピントが合うと撮影されます。



■ タッチシャッター機能を解除するには

 をタッチする

- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤く点灯したあと消えます。もう一度やり直してください。
- [測光モード](P132)が のときは、タッチした場所で測光を行います。画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受けます。

狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチ AE)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



タッチした位置に、簡単に明るさを合わせるができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 [] をタッチする



2 [] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] はタッチ AE 専用の [] に変わります。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- [リセット] をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。



4 [決定] をタッチする

■ タッチ AE 機能を解除するには

[] をタッチする

- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、タッチ AE は使えません。
 - デジタルズーム使用時
 - カスタムメニューの [タッチ設定] で、[タッチ AF] を [AF+AE] に設定時 (P89)

4.

ピント・シャッター(ドライブ)の設定

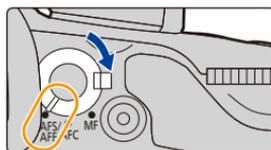
自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

使えるモード：

被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードやオートフォーカスモードを設定することで、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

1 フォーカスモードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせる

- フォーカスモードを設定します。(P80)



2 [Fn] ボタンを押す

3 </> ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- オートフォーカスモードを設定します。(P81)



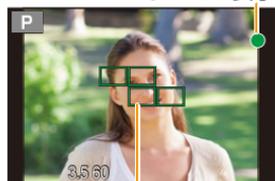
4 シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスが動きます。

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	—
電子音	ピピッ	—

- 暗い環境ではフォーカス表示が [●] と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

フォーカス表示



AF エリア

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、もう一度ピントを合わせ直してください。
- フォーカスモードを [AFF]、[AFC] に設定時
 - 半押し中にピントが合った 1 回目のみ電子音が鳴ります。
 - オートフォーカスモードを [AF] に設定している場合は、半押し中にピントが合った 1 回目のみ AF エリアが一瞬表示されます。



ピントが合いにくい被写体や撮影環境

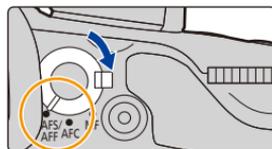
- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

フォーカスモードを選ぶ(AFS、AFF、AFC)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 

シャッターボタン半押し時のビント合わせ動作を設定します。

フォーカスモードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせる



項目		被写体の動き、撮影シーン(お勧め)/ 内容
AFS/AFF	AFS (Auto Focus Single)	静止している(風景、記念撮影など) シャッターボタンを半押しすると、自動でビント合わせを行います。半押ししている間、ビントは固定されます。 
	AFF (Auto Focus Flexible)	動きが予測できない(子ども、ペットなど) シャッターボタンを半押しすると、自動でビント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でビントを合わせ直します。 
AFC (Auto Focus Continuous)		動いている(スポーツ、鉄道など) シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にビント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してビント合わせを行います。(動体予測) 
MF		手でビントを合わせます。(P90)

■ フォーカスモードレバーの [AFS/AFF] について

撮影メニューまたは動画撮影メニューの [AFS/AFF] で、フォーカスモードレバーの [AFS/AFF] に、[AFS] または [AFF] のいずれかを割り当てることができます。



[AFF]、[AFC] で撮影する場合は

- W 端から T 端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ビントが合うまで時間がかかることがあります。
 - 撮影中、ビントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてビントを合わせ直してください。
 - シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。
- [AFF] や [AFC] で明るさが足りないときは [AFS] と同じ動作をします。このとき画面の表示が黄色の [AFS] に変わります。
 - [AFF]、[AFC] は使用するレンズによって、動作しない場合があります。詳しくは、22 ページのホームページをご覧ください。

オートフォーカスモードを選ぶ

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **C3**

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

[Fn3]/[Fn3] ボタンは、[Fn3] (AFモード/MF) と [Fn3] (ファンクション3) の2とおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[AFモード/MF] が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは [265](#) ページをお読みください。

1 [Fn3] ボタンを押す



2 ◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



<p>(顔・瞳認識)</p>	<p>人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。([測光モード]を[☉]設定時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検知できる顔は15個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。 ● ピントを合わせる目を変更できます。(P83) ● AFエリアの位置と大きさを変えることができます。(P86) 	
<p>(追尾)</p>	<p>指定した被写体にピントを合わせます。被写体に露出を合わせます。([測光モード]を[☉]設定時) 被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動物追尾) (P83)</p>	
<p>(49点)</p>	<p>最大49点のAFエリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ピントを合わせるエリアを選択できます。(P87) 	
<p>など (カスタム マルチ)</p>	<p>49点のAFエリアから、被写体に合わせてAFエリアを選ぶことで、自由にAFエリアの形状を設定できます。(P84)</p>	

 (1点)	中央のAFエリア内にピントを合わせます。 ● AFエリアの位置と大きさを変えることができます。 (P86)	
 (ピンポイント)	[] より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するための画面が拡大表示されます。 ● 拡大表示される時間はカスタムメニューの[ピンポイント AF時間] で設定できます。(P255) ● 拡大した画面で、ピントを合わせる位置を設定できます。(P87)	



シャッター半押しでの構図づくり

[] で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。(フォーカスモードを[AFS]に設定したときのみ)

■ オートフォーカスモードの制限事項

- 以下の場合、オートフォーカスモードは[] に固定されます。
 - デジタルズーム使用時
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]

顔・瞳認識

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔・瞳認識機能が動かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[] に切り換わります。
 - 顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている
 - 顔の陰影が少ない – 動きが速い – 被写体が人物以外である – 手ブレしている

追尾

- インターバル撮影時は[] は使えません。
- 以下の場合、[] は[] の動作になります。
 - クリエイティブコントロールモードの[セピア]/[モノクローム]/[ダイナミックモノクローム]/[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - [フォトスタイル]の[モノクローム]
- 以下の場合、動体追尾機能が動かないことがあります。
 - 被写体が小さすぎる – 撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
 - 被写体の動きが速い – 被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
 - 手ブレしている – ズーム操作時

[+] (ピンポイント)

- 動画撮影中、[+] に設定している場合は、[] に切り換わります。
- フォーカスモードの[AF], [AFC]では[+] に設定できません。

👤(顔・瞳認識)について

カメラが顔を認識するとAFエリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色: シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色: 複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。



ピントを合わせる目

■ ピントを合わせる目を変更する

ピントを合わせる目をタッチする

- 黄色の枠内の目をタッチしてください。それ以外の位置をタッチすると、AFエリア設定画面が表示されます。(P86)
- []をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。
- 構図を変えたりすることで、黄色の枠が別の顔に移ったり、枠が消えた場合は、ピントを合わせる目の設定が解除されます。



追尾する被写体をロックする(👤 追尾)

ボタン操作

被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しする

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。
- [MENU/SET]ボタンを押すと、ロックは解除されます。

追尾AFエリア



タッチ操作

被写体をタッチする

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- ロック中はAFエリアが黄色になります。
- []をタッチすると、ロックは解除されます。



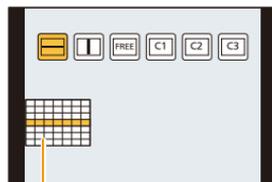
- ロックに失敗したときは、追尾AFエリアが赤く点滅したあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 追尾AFに失敗したときは、[]の動作になります。

AFエリアの形状を設定する(カスタムマルチ)

被写体にあわせて、49点のAFエリアから選ぶことで自由に形状を設定できます。

- [] ボタンを押す
- カスタムマルチアイコン([] など)を選び、▲ ボタンを押す
 - ▼ ボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。
 - 画面をタッチすることでも、AF エリア設定画面が表示できます。
- ◀/▶ ボタンで設定項目を選ぶ
 - 現在のAFエリアの形状が、画面の左下に表示されます。

 (横)	横一列の形状 流し撮りなどの撮影に便利な形状です。	
 (縦)	縦一列の形状 建築物の撮影などに便利な形状です。	
FREE (フリー)	自由な形状	
 /  /  (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。	



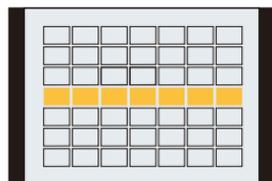
現在のAFエリアの形状

- ▼ ボタンを押す
 - AFエリア設定画面が表示されます。
- AF エリアを選ぶ
 - 選択されているAFエリアは黄色で、選択されていないAFエリアは白色で表示されます。

[] / [] 選択時

[] 選択時は縦方向に、[] 選択時は横方向に、大きさと位置を設定できます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	位置の移動
 /  / 	ピンチイン/ ピンチアウト	大きさの変更 (最大3列まで)
[DISP.]	[リセット]	初期設定に戻す



[FREE]/[C1]/[C2]/[C3] 選択時

タッチ操作

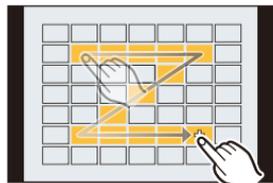
AF エリアにしたい部分をなぞる

- 選択されたAFエリアをタッチすると選択が解除されます。

ボタン操作

▲/▼/◀/▶ ボタンでAFエリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- [DISP.] ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。



6 [Fn2] ボタンを押す

■ 設定した AF エリアを [C1]、[C2]、[C3] (カスタム) に登録する

1 84 ページの手順3の画面で、▲ ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- [C1]/[C2]/[C3] に登録した設定は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- [MENU]/[Fn1]/[FREE] で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。
- カスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]を[ON]に設定時、カーソルボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。

AFエリアの位置を設定する / 大きさを変更する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



オートフォーカスモードの 、、、 では、AFエリアの位置や大きさを設定することができます。

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- タッチ操作で設定する場合は、カスタムメニューの[タッチ設定]で、[タッチAF]を[AF]に設定してください。

- [測光モード](P132)がのときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。画面の端では、AFエリア周辺の明るさの影響を受ける場合があります。
- カスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]を[ON]に設定すると、、、 選択時ではAFエリアを、のときは拡大位置をカーソルボタンで移動することができます。(P256)

こんなときは使えません

- デジタルズーム使用時は、AFエリアの位置と大きさを変えることはできません。

、 選択時

AFエリアの位置と大きさを変更することができます。

- 1  ボタンを押す
- 2  または  を選び、▼ ボタンを押す
 - AFエリア設定画面が表示されます。
 - 画面をタッチすることでも、AFエリア設定画面を表示できます。
- 3 AFエリアの位置と大きさを変更する

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	AFエリアの移動
	ピンチイン/ ピンチアウト	AFエリアを細かく拡大/縮小
 / 	—	AFエリアを大きく拡大/縮小
[DISP.]	[リセット]	AFエリアを中央に戻す ● もう一度押しすと、枠の大きさが初期設定に戻ります。



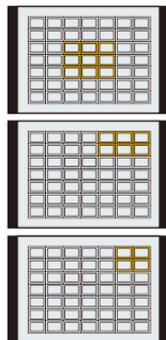
-  選択時に、黄色の枠内の目に AF エリアを設定すると、ピントを合わせる目が変更されます。(P83)
- 4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
 -  選択時は、タッチした場所に  と同じ動きのAFエリアが表示されます。[MENU/SET] ボタンを押す、または  をタッチすると AF エリアの設定を解除できます。

 続く

[] 選択時

AFエリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49点のAFエリアは9点(画面の端では6点または4点)ごとのグループに分けられています。

グループの例

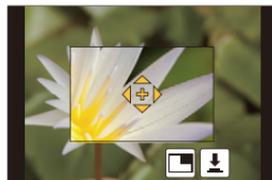


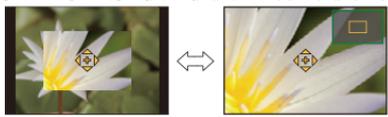
- 1 [] ボタンを押す
- 2 [] を選び、▼ ボタンを押す
 - AFエリア設定画面が表示されます。
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで、AFエリアのグループを選択する
 - 画面をタッチすることでも、グループを選択できます。
- 4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
 - [+] 表示(選択したグループの中心点)のみが画面に残ります。
 - [MENU/SET] ボタンを押す、または [] をタッチするとAFエリアの設定が解除されます。

[+] 選択時

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。

- 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。
- 1 [] ボタンを押す
 - 2 [+] を選び、▼ ボタンを押す
 - 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を決め、[MENU/SET] ボタンを押す
 - ピントを合わせる位置を決めるためのアシスト画面が拡大表示されます。
 - 被写体をタッチしてもアシスト画面が表示できます。
 - 4 [+] をピントを合わせる位置に移動する



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	[+] の移動
	ピンチイン/ピンチアウト	画面の拡大 / 縮小(0.1 倍ずつ)
	—	画面の拡大 / 縮小(1 倍ずつ)
		拡大表示の切り換え(画面の一部 / 画面全体) 
[DISP.]	[リセット]	[+] を中央に戻す

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大/縮小できます。
- 撮影時での HDMI 出力中は、画面の一部での拡大表示はできません。
- アシスト画面では、 をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

タッチパッドで AF エリアの位置を設定する

使えるモード:

カスタムメニューの[タッチ設定](P263)の[タッチパッド AF]を設定すると、ファインダー表示中にモニターをタッチして AF エリアを移動できます。

- オートフォーカスモードを[]などの[カスタムマルチ]に設定時は、タッチすると AF エリア設定画面を表示します。(P84)



MENU ボタン → f_c [カスタム] → [タッチ設定] → [タッチパッド AF]

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーの AF エリアが移動します。	
相対位置	タッチパッドをドラッグ(P45)した移動量に応じて、ファインダーの AF エリアを移動させます。	
OFF	—	—

- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる位置を決定してください。また、決定前に[DISP.]ボタンを押すと、ピントを合わせる位置が中央に戻ります。
- オートフォーカスモード(P79)を[] (顔・瞳認識)、[] (追尾)、[] (49点)に設定時は、[MENU/SET] ボタンを押すと AF エリア枠の設定が解除されます。

- [タッチパッド AF] 使用時は、タッチシャッター(P77)は無効になります。

タッチした位置にピントと明るさを合わせる

使えるモード:



カスタムメニューの[タッチ設定] (P263)の[タッチAF]を[AF+AE]に設定すると、タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → f_c [カスタム] → [タッチ設定]

2 [タッチAF]を選び、[AF+AE]をタッチする

3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- AFエリア設定画面が表示されます。(P86)
- 明るさを合わせる位置がAFエリアの中央に表示され、AFエリアに合わせて移動します。
- [測光モード]はタッチAE専用の[]に変わります。
- [リセット]をタッチすると、明るさを合わせる位置とAFエリアは中央に戻ります。



4 [決定]をタッチする

- タッチした場所に[]と同じ動きのAFエリアが表示されます。
- []をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。AFエリアの設定も解除されます。
- []をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。



背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。



- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。



こんなときは使えません

- 以下の場合、ピントと明るさを合わせるタッチAE機能は動きません。
 - マニュアルフォーカス時
 - デジタルズーム使用時
 - カーソルボタンを使ってAFエリアを設定したとき

手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

使えるモード: P A S M

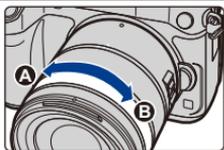


ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

手動でピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

フォーカスリングのある交換レンズ(H-FS14140)をお使いの場合

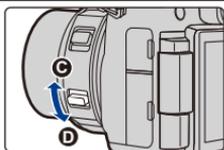
- A** 側に回す: 近くにピントを合わせる
- B** 側に回す: 遠くにピントを合わせる



フォーカスレバーのある交換レンズをお使いの場合

- C** 側に動かす: 近くにピントを合わせる
- D** 側に動かす: 遠くにピントを合わせる

- フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。



フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合

- ◀ ボタンを押す: 近くにピントを合わせる
- ▶ ボタンを押す: 遠くにピントを合わせる
- ピントを合わせる画面でのみ操作できます。
- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- スライドバーをドラッグすることでも、ピント合わせができます。

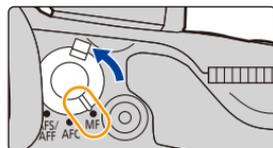


スライドバー

1 フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる

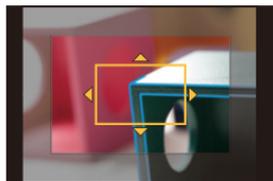
2 [Fn] ボタンを押す

- [Fnボタン設定](P265)で[AFモード/MF]を設定したファンクションボタン(お買い上げ時は[Fn]/[Fn3]ボタンに設定)を押してください。



3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで拡大表示する部分を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

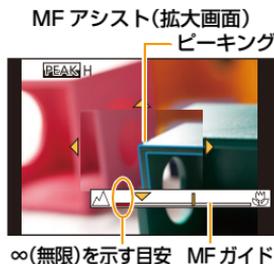
- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MFアシスト)(P257)
- フォーカスリングを回す、フォーカスレバーを動かす、または画面をピンチアウト(P45)や2回タッチすることでも、拡大表示できます。
- 画面をドラッグ(P45)することでも、拡大表示する部分を選べます。
- [DISP.]ボタンを押すと拡大表示する部分は中央に戻ります。



→ 続く

4 ピントを合わせる

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング) (P93)
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MF ガイド) (P257)



∞(無限)を示す目安 MFガイド

以下の操作ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶*	ドラッグ	拡大表示位置の移動
	ピンチイン/ピンチアウト	画面の拡大 / 縮小(0.1 倍ずつ)
	—	画面の拡大 / 縮小(1 倍ずつ)
		拡大表示の切り換え(画面の一部 / 画面全体)
[DISP.]	[リセット]	拡大表示する部分を中央に戻す

* フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合、拡大表示位置を移動することができません。▼ ボタンを押すと、拡大位置の設定画面が表示されます。

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大 / 縮小できます。
- 撮影時でのHDMI出力中は、画面の一部での拡大表示はできません。

5 シャッターボタンを半押しする

- アシスト画面が終了し、撮影画面が表示されます。
- [MENU/SET]ボタンを押すことでも、アシスト画面を終了できます。
- フォーカスリングを回して、またはフォーカスレバーを動かして拡大表示した場合は、操作をやめると約10秒後にアシスト画面を終了します。

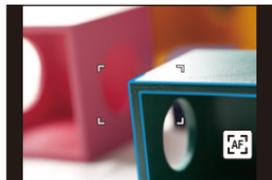
- 使用するレンズによりMFアシストまたはMFガイドは表示されない場合がありますが、MFアシストはタッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作すると表示させることができます。
- カスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]が[ON]のときは、撮影画面でカーソルボタンを押すと拡大位置の設定画面が表示されます。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、画面のタッチによる拡大表示ができません。
- デジタルズーム使用時または動画撮影中はMFアシストは表示されません。
- フォーカスリングのない交換レンズ装着時、カスタムメニューの[フォーカスリング無しレンズ]を設定することで、MFアシストの拡大表示のしかたや、コントロールダイヤルの操作対象を変更できます。(P262)

💡 オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

MENU ボタン → **f/c**[カスタム] → [AF/AE ロック切替] → [AF-ON]

マニュアルフォーカス時に[AF/AE LOCK]ボタンを押すとオートフォーカスが働きます。

- 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- MFアシスト画面でオートフォーカスを働かせると、MFアシスト画面の中央でピントを合わせます。
- 以下のタッチ操作でもオートフォーカスが働きます。
 - [AF-ON] を設定しているファンクションボタンを押す
 - [Fn] をタッチする
 - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す



💡 マニュアルフォーカスのテクニック

- 1 フォーカスリングを回して、ピントを合わせる
- 2 さらに同じ方向に少し回す
- 3 ゆっくり戻しながら微調整する

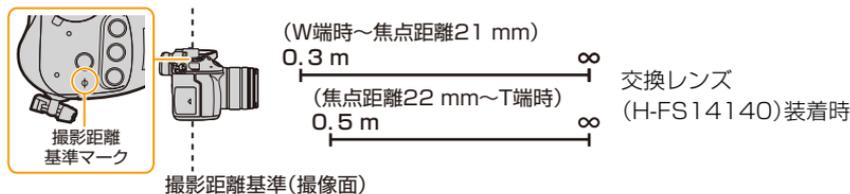


- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、もう一度ピントを合わせ直してください。
- スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- 近距離を撮影する場合は…
 - 三脚を使用し、セルフタイマー(P99)を使って撮影することをお勧めします。
 - ピントの合っている範囲(被写界深度)が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
 - 画像の周辺部の解像度が少し低下することがありますが、故障ではありません。

■ 撮影距離基準について

撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。

マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。



➡ 続く

ピントが合っている部分に色を付けて表示する/しない

MENU ボタン → **fC**[カスタム] → [ピーキング]

ON	ピントが合っている部分に色をつけて表示します。	
OFF	ピントが合っている部分を表示しません。	
設定	検出レベル	<p>ピントが合っている部分の検出レベルを設定します。 [高] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。 [高]/[低] ●ピントが合う範囲は検出レベルの設定では変わりません。</p>
	表示色	<p>ピーキング表示の色を設定します。 ● [検出レベル] が [高] のとき: [] (水色) / [] (黄色) / [] (緑) ● [検出レベル] が [低] のとき: [] (青) / [] (オレンジ) / [] (白) ● [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切り換わります。 - [] (水色) ↔ [] (青) - [] (黄色) ↔ [] (オレンジ) - [] (緑) ↔ [] (白)</p>

- ピーキングを設定すると、画面に [] (検出レベル: 高) または [] (検出レベル: 低) が表示されます。
- [] の [] をタッチするごとに [ON] (検出レベル: 低) → [ON] (検出レベル: 高) → [OFF] の順に切り換わります。
- カスタムメニューの [Fn ボタン設定] (P265) に [ピーキング] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ON] (検出レベル: 低) → [ON] (検出レベル: 高) → [OFF] の順に切り換わります。
- マニュアルフォーカス時や [AF+MF] で手動でピント合わせをしているときに働きます。
- 画面上で輪郭がはっきりした部分をピントが合っている部分として色を付けて表示するため、撮影条件により表示のされ方が異なります。
- 表示される色は撮影画像に影響はありません。
- クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム] ではピーキングは動きません。

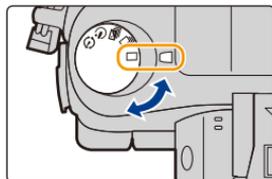
ドライブモードを選ぶ

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す



 単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
 連写 (P95)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
 オートブラケット (P97)	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
 セルフタイマー (P99)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。
 インターバル/コマ撮り撮影 (P100、103)	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

連写する

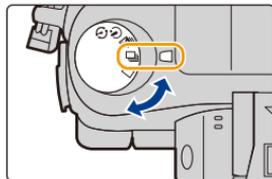
使えるモード:



シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を [SH] で撮影した画像は、ひとつの連写グループ (P184) として記録されます。

1 ドライブモードダイヤルを [C1] に合わせる



2 ビントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



■ 連写速度を変更する場合

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [撮影] → [連写速度]

2 ▲/▼ ボタンで連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

	[SH] (超高速)*1	[H] (高速)	[M] (中速)	[L] (低速)
連写速度	40 コマ/秒	12 コマ/秒 (AFS) 7 コマ/秒 (AFC)	7 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー	なし	なし	あり	あり
連写	RAWファイルあり	—	40 コマ*2,3,4	
コマ数	RAWファイルなし	最大 120 コマ	100 コマ以上*2,3,4	

※1 電子シャッターが働きます。

※2 撮影条件は CIPA 規格で、当社製の SDHC カードを使用。

※3 撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。(例えば、撮影メニューの [超解像] を設定すると、連写コマ数が少なくなる場合があります)

※4 カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
-[記録画素数] (P107) / [クオリティ] (P108) / ISO 感度 (P109) /
フォーカスモード (P80) / [フォーカス/リリース優先] (P256)
- RAW ファイルについては、108 ページをお読みください。
- 設定後はメニューを終了してください。

続く

■ 連続撮影可能枚数について

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が表示されます。撮影速度を維持しながら撮影できる枚数の目安が確認できます。

例) 20 枚のとき: [r20]

- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。[r0] と表示されると、撮影速度が低下します。
- [r99+] と表示されているときは、100枚以上の連続撮影ができます。



💡 連写とピントについて

ピント合わせは、フォーカスモード(P80)とカスタムメニューの[フォーカス/リリース優先](P256)の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス/リリース優先	ピント合わせ
AFS	フォーカス	1 コマ目
	リリース	
AFF/AFC ※1	フォーカス	常時ピント※2
	リリース	予測ピント※3
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス

※1 被写体が暗い場合や連写速度を[SH]に設定時は、ピントは1コマ目に固定されます。

※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

- シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン(別売: DMW-RSL1)の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、293ページをお読みください。
- [SH] または [H](フォーカスモードが [AFS] または [MF] の場合) 設定時、1コマ目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
[H](フォーカスモードが [AFF] または [AFC] の場合)、[M] または [L] 設定時、1コマごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 暗いところでは、シャッタースピードが遅くなるため、連写速度(コマ/秒)が遅くなる場合があります。
- 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。

🚫 こんなときは使えません

- 以下の場合、連写は無効になります。
 - ホワイトバランスブラケット設定時
 - フラッシュ撮影時
 - [i手持ち夜景] 撮影時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
- 以下の場合、連写の [SH] は使えません。
 - [クオリティ] を [RAW] または [RAW] に設定時
 - [シャッターディレイ] 時

露出を自動的に変えながら撮る (オートブラケット撮影)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

補正幅: [3・1 /3]、ブラケット順序: [0/ー/ +] 設定時の例

1 枚目



± 0 EV

2 枚目



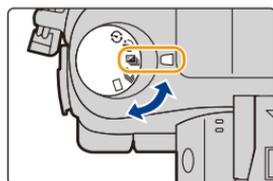
- 1/3 EV

3 枚目



+ 1/3 EV

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる



2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1枚目からの撮影になります。



 続く

■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [撮影] → [オートブラケット]

2 ▲/▼ ボタンで [単写/連写設定]、[補正幅] または [ブラケット順序] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

単写/連写設定	<input type="checkbox"/> (単写)	補正幅	3・1/3 (3枚撮影)	ブラケット順序	0/-/+
	<input type="checkbox"/> (連写)		3・2/3 (3枚撮影)		-/0/+
			3・1 (3枚撮影)		
			5・1/3 (5枚撮影)		
			5・2/3 (5枚撮影)		
			5・1 (5枚撮影)		
			7・1/3 (7枚撮影)		
			7・2/3 (7枚撮影)		
			7・1 (7枚撮影)		

- [□] 設定時は、1枚ずつ撮影できます。
- [連写] 設定時は、設定枚数まで連続撮影できます。
- 設定後はメニューを終了してください。

- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

こんなときは使えません

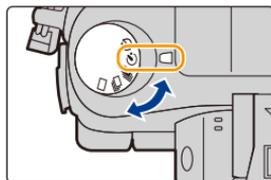
- 以下の場合、オートブラケットは無効になります。
 - ホワイトバランスブラケット設定時
 - フラッシュ撮影時
 - [i手持ち夜景] 撮影時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード：  **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



1 ドライブモードダイヤルを[∞]に合わせる

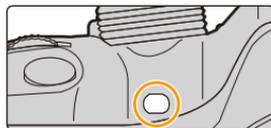


2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。



- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。



■ セルフタイマーの時間を変更する場合

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [セルフタイマー]

2 ▲/▼ ボタンでモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。 ●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

- 設定後はメニューを終了してください。



セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

-  設定時、フラッシュ発光量は一定にならないことがあります。



こんなときは使えません

- 以下の場合、 に設定できません。
 - ホワイトバランスブラケット設定時
 - [多重露出] 設定時

一定の間隔で自動的に撮影する(インターバル撮影)

使えるモード:

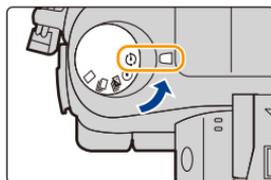


撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影し、動画を作成することができます。

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P36)
- インターバル撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P184)
- システム周波数を[24.00Hz(CINEMA)]設定時、写真撮影はできますが動画化することはできません。

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

- 前回ドライブモードの [] で撮影した時と同じ設定で撮影する場合は、そのまま撮影をしてください。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影メニューで[インターバル/コマ撮り撮影]が選ばれている画面が表示されます。(表示されるのは、ドライブモードダイヤルを切り換えたあとなどの1回目だけになります。それ以外は、通常の動作となりメニュー画面が表示されます)
- 撮影前に[]をタッチすると、撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]の設定画面が表示されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [撮影方法] を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- すでに[インターバル撮影]が選ばれている場合は、手順6に進んでください。



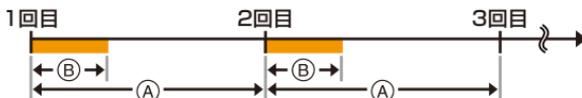
5 ▲/▼ ボタンで [インターバル撮影] を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

6 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	撮影を開始する時刻を設定できます。最大23時間59分後まで設定可能です。 ◀/▶ ボタンで項目(時・分)を選び、▲/▼ ボタンで開始時刻を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
撮影間隔 撮影枚数	撮影間隔と撮影枚数を設定できます。 ◀/▶: 項目(分・秒・枚)選択 ▲/▼: 設定	
	[MENU/SET]: 決定 ●撮影間隔は 1 秒～ 99 分 59 秒を 1 秒間隔で設定できます。 ●撮影枚数は 1 枚～ 9999 枚で設定できます。	

- 撮影間隔(A)は、露光時間(シャッタースピード)⑧よりも長くなるように設定してください。(下図)夜間の撮影など、撮影間隔(A)が露光時間(シャッタースピード)⑧より短くなる場合は、撮影をスキップすることがあります。



続く

7 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。表示されるまで[/]を押すことでも、同じ操作ができます。



8 シャッターボタンを全押しする

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中、一定時間何も操作しないでくと、電源が自動的に切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 電源が入った状態で[Fn1]ボタンを押す、または[]をタッチすると、一時停止または終了の選択画面になります。画面に従って操作してください。また、一時停止中に[Fn1]ボタンを押す、または[]をタッチすると、再開または終了の選択画面になります。一時停止状態からの再開は、シャッターボタンの全押しでも行えます。
- 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい]を選んでください。

9 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は[MP4]になります。

画質設定	動画の画質を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ●システム周波数を[59.94Hz(NTSC)]設定時 [4K/30p]、[FHD/60p]、[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p] ●システム周波数を[50.00Hz(PAL)]設定時 [4K/25p]、[FHD/50p]、[FHD/25p]、[HD/25p]、[VGA/25p]
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。 <ul style="list-style-type: none"> ●システム周波数を[59.94Hz(NTSC)]設定時 [60fps]*、[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1fps] ●システム周波数を[50.00Hz(PAL)]設定時 [50fps]*、[25fps]、[12.5fps]、[8.3fps]、[6.25fps]、[5fps]、[2.5fps]、[1fps] ※[FHD/60p]、[FHD/50p]設定時のみ
動画化順番	[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]: 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

10 ▲/▼ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 再生メニューの[インターバル動画作成]からも動画化できます。(P198)



■ インターバル撮影の設定を変更するには

撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]で設定を変更できます。

→ 続く

- システム用途(監視カメラ)の機能ではありません。
- 本機を放置してインターバル撮影を行う際は、盗難にお気をつけください。
- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地や低温下または高温・多湿な環境での長時間撮影は、故障の原因になることがありますのでお気をつけください。
- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できない場合があります。
- 長時間露光時など、撮影時間が撮影間隔より長い場合、撮影をスキップすることがあります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC10)、DCカプラー(別売:DMW-DCC12)の使用をお勧めします。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを[OFF]にしたとき設定時間中であれば、一時停止中にバッテリー、カードを交換し、電源スイッチを[ON]にして再開することができます。(ただし、再開後に撮影された画像は別のグループ画像として記録されます)なお、バッテリー、カードを交換するときは、電源スイッチを[OFF]にして行ってください。
- インターバル撮影時はAVケーブル(別売)、HDMIマイクロケーブル、USB接続ケーブル(付属)を接続しないでください。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- ACアダプターを使用して動画を作成している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成途中の動画は記録されません。
- 記録時間が29分59秒を超える動画、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
- 1秒より短い動画は、動画記録時間(P180)に“0s”と表示されます。
- 撮影された枚数が1枚の場合は、グループ画像として記録されません。

ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ)

使えるモード:



写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P36)
- コマ撮り撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P184)
- システム周波数を[24.00Hz(CINEMA)]設定時、写真撮影はできますが動画化することはできません。

コマ撮りアニメを作成する前に

コマ撮りアニメでは、人形などを少しずつ動かすごとに撮影し、つなぎ合わせることでまるで動いているかのような動画が作れます。



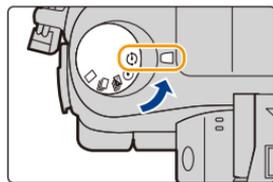
- 本機では、動画1秒当たり1コマ~60コマの写真の撮影する必要があります。
- 滑らかな動きにするには、できるだけ動きを細かく撮り、動画化の際に1秒当たりのコマ数(フレームレート)を大きく設定してください。

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

- 前回ドライブモードの [] で撮影した時と同じ設定で撮影する場合は、そのまま撮影をしてください。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影メニューで[インターバル/コマ撮り撮影]が選ばれている画面が表示されます。(表示されるのは、ドライブモードダイヤルを切り換えたあとなどの1回目だけになります。それ以外は、通常の動作となりメニュー画面が表示されます)
- 撮影前に[]をタッチすると、撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]の設定画面が表示されます。



3 [MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [撮影方法] を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- すでに[コマ撮りアニメ]が選ばれている場合は、手順6に進んでください。

5 ▲/▼ ボタンで [コマ撮りアニメ] を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す



続く

6 ▲/▼ ボタンで撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。
	OFF	1コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影] を [ON] に設定時のみ) 自動撮影の間隔を設定します。1 秒から 60 秒までを 1 秒間隔で設定できます。 ◀/▶ ボタンで撮影間隔(秒)を選び、▲/▼ ボタンで設定し、 [MENU/SET] ボタンを押す	

7 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。表示されるまで[📷/🔄]を押すことでも、同じ操作ができます。



8 シャッターボタンを全押しする

- 最大 9999 コマまで撮影できます。

9 被写体を動かし、構図を決める

- 同様に撮影を繰り返してください。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。



素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には 2 つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- [▶] ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は[📷/🔄]ボタンを押して消去することができます。もう一度[▶] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

10 [📷] をタッチして撮影を終了する

- 撮影メニューから[インターバル/コマ撮り撮影]を選び、[MENU/SET] ボタンを押しても終了できます。
- [自動撮影]を[ON]に設定時は、確認画面で[終了]を選んでください。([一時停止]を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと終了します。
- 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい]を選んでください。



続く

11 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は [MP4] になります。

画質設定	動画の画質を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ●システム周波数を [59.94Hz(NTSC)] 設定時 [4K/30p]、[FHD/60p]、[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p] ●システム周波数を [50.00Hz(PAL)] 設定時 [4K/25p]、[FHD/50p]、[FHD/25p]、[HD/25p]、[VGA/25p]
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。 <ul style="list-style-type: none"> ●システム周波数を [59.94Hz(NTSC)] 設定時 [60fps]※、[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1fps] ●システム周波数を [50.00Hz(PAL)] 設定時 [50fps]※、[25fps]、[12.5fps]、[8.3fps]、[6.25fps]、[5fps]、[2.5fps]、[1fps] ※[FHD/60p]、[FHD/50p]設定時のみ
動画化順番	[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]: 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

12 ▲/▼ ボタンで [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 再生メニューの[コマ撮りアニメ作成]からも動画化できます。(P198)



■ コマ撮りアニメの設定を変更するには

撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]で設定を変更できます。

■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順6で[続きから撮る]を選ぶと、[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで[MENU/SET]ボタンを押し、確認画面で[はい]を選んでください。

- フラッシュ撮影したときなど、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC10)、DCカプラー(別売: DMW-DCC12)の使用をお勧めします。
- ACアダプターを使用して動画を作成している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成途中の動画は記録されません。
- 記録時間が29分59秒を超える動画、ファイルサイズが4GBを超える動画は作成できません。
- 1秒より短い動画は、動画記録時間(P180)に"0s"と表示されます。
- 1枚だけ撮影された場合は、グループ画像として記録されません。1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

5.

画質・色合いの設定

この章では、写真に働く機能と、写真と動画のどちらにも働く機能を紹介します。

●動画のみに働く機能については、P166をお読みください。

画質とサイズを設定する



P107

- 画像横縦比(P107)
- 記録画素数(P107)
- クオリティ(P108)

ISO感度を設定する



P109

- ISO感度(P109)
-クリエイティブ動画モード時のみ動画撮影でも設定できます。
- ISO感度上限設定(P110)
- ISO感度ステップ(P110)
- 拡張ISO感度(P110)

ホワイトバランスを調整する



P111

効果をつけて画質を調整する



P115

- フォトスタイル

明部と暗部の明るさを調整する



P117

- ハイライトシャドウ

コントラストや露出を補正する



P118

- iDレンジコントロール

解像感を設定する



P118

- 超解像

露出の異なる写真を合成する



P119

- HDR

長秒露光時のノイズを低減する



P120

- 長秒ノイズ除去

レンズの周辺光量を補正する



P120

- シェーディング補正

色空間を設定する



P121

画質とサイズを設定する

画像の横縦比を選ぶ

使えるモード:

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン → [撮影] → [画像横縦比]

4:3	4:3テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	ハイビジョンテレビなどの横縦比
1:1	正方形横縦比

- プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P339)
- 撮影時でのHDMI出力中は、[16:9]に固定されます。

記録画素数を設定する

使えるモード:

記録画素数を設定します。

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン → [撮影] → [記録画素数]

画像横縦比: [4:3] のとき

設定	画像サイズ
L(16M)	4608×3456
EX M(8M)	3264×2448
EX S(4M)	2336×1752

画像横縦比: [3:2] のとき

設定	画像サイズ
L(14M)	4608×3072
EX M(7M)	3264×2176
EX S(3.5M)	2336×1560

画像横縦比: [16:9] のとき

設定	画像サイズ
L(12M)	4608×2592
EX M(8M)	3840×2160
EX S(2M)	1920×1080

画像横縦比: [1:1] のとき

設定	画像サイズ
L(12M)	3456×3456
EX M(6M)	2448×2448
EX S(3M)	1744×1744

- [EXテレコン(写真)](P134)を設定時は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に[EX]が表示されます。
- [連写速度]を[SH]に設定時は、記録画素数は[S]に固定されます。

画像の圧縮率を設定する(クオリティ)

使えるモード: P A S M C1 C2 C3

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
	RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像(または)を同時に記録できます。*1
		RAW 画像のみを記録できます。*2
RAW	RAW	[RAW]は[RAW]または[RAW]よりも小さいデータ容量で記録できます。

*1 本機でRAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

*2 各画像横縦比の最大記録画素数([L])に固定されます。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。RAW 画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。

RAW 画像を編集することで、撮影後のホワイトバランスの修正といった高度な編集や、パソコンで表示できるファイル形式で保存ができます。JPEG形式よりも高画質で記録できますが、データ容量が大きくなります。

- 再生メニューの[RAW 現像]でRAW画像を現像することができます。(P190)
- パソコンでのRAW ファイルの現像や編集には、DVD(付属)のソフトウェア(市川ソフトラボ ラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。



こんなときは使えません

- 以下の効果は、RAW 画像には反映されません。
 - インテリジェントオートモード
 - インテリジェントオートプラスモード
 - クリエイティブコントロールモード
 - ホワイトバランス*3
 - 撮影メニューの[フォトスタイル]*3、[ハイライトシャドウ]*3、[iD レンジコントロール]*3、[デジタル赤目補正]*4、[超解像]*3、[色空間]*3
- *3 再生メニューの[RAW 現像]では、撮影時の設定から調整をするので、撮影時の設定で JPEG 形式の写真を書き出すことができます。
- *4 撮影時に[デジタル赤目補正]が働いた場合、再生メニューの[RAW 現像]では、補正が働いた JPEG 形式の写真を書き出します。

ISO感度を設定する

使えるモード：        



光に対する感度 (ISO感度) を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

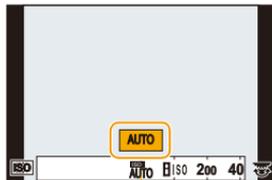
1 [ISO] ボタンを押す



2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してISO感度を選ぶ

3 [ISO] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。



AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ● 最大 [ISO3200] (フラッシュ使用時 [ISO1600]) ※1
[i]ISO (インテリジェント)	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適な ISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。 ● 最大 [ISO3200] (フラッシュ使用時 [ISO1600]) ※1 ● シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
100 ※2 / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200 / 6400 / 12800 / 25600	それぞれのISO感度に固定します。 ● 撮影メニューの [ISO感度ステップ] (P110) を [1/3 EV] に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します。

※1 撮影メニューの [ISO感度上限設定] (P110) を [OFF] 以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定] の設定値までの範囲で自動的に設定します。

※2 [拡張ISO感度] を設定時のみ



ISO感度の性質

	200	↔	25600
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)		暗いとき
シャッタースピード	遅くなる		速くなる
ノイズ	少ない		多い
被写体ブレ	多い		少ない

- [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、147ページをお読みください。
- シャッター優先AEモードとマニュアル露出モードでは、[i]ISO は使えません。
- [多重露出] 設定時は、[ISO3200] までの設定になります。
- クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。
[AUTO]、[200] ~ [6400]
- [電子シャッター] を [ON] に設定時は、[ISO 3200] までの設定になります。

ISO感度の上限を設定する

使えるモード:        



被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。

- ISO 感度が [AUTO] または [ISO] 時に働きます。

MENU ボタン →  [撮影] → [ISO 感度上限設定]

設定: [400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[25600]、[OFF]

ISO感度のステップ幅を設定する

使えるモード:        



ISO 感度の設定を、1/3 EV ごとの設定値に変更します。

MENU ボタン →  [撮影] → [ISO 感度ステップ]

1/3 EV	[L.100]*、[L.125]*、[L.160]*、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、 [640]、[800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]、 [4000]、[5000]、[6400]、[8000]、[10000]、[12800]、[16000]、 [20000]、[25600]
1 EV	[L.100]*、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、 [25600]

* [拡張ISO感度] を設定時のみ

- [1/3 EV] から [1 EV] に設定を変更すると、ISO 感度は [1/3 EV] 時に選んでいた設定値に最も近い値になります。

ISO感度を拡張する

使えるモード:        



ISO 感度が最小 [ISO 100] まで設定できるようになります。

MENU ボタン →  [撮影] → [拡張 ISO 感度]

設定: [ON]、[OFF]

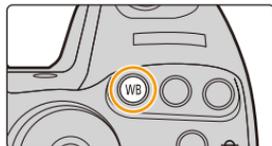
ホワイトバランスを調整する

使えるモード： P A S M C1 C2 C3



太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [WB] ボタンを押す



2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

- コントロールダイヤルを回しても設定できます。

3 [WB] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。



AWB	自動調整
	晴天の屋外での撮影時
	曇りの屋外での撮影時
	屋外の晴天下の日陰での撮影時
	白熱灯下での撮影時
	フラッシュ光のみでの撮影時
	手動で設定した設定値を使用
	あらかじめセットしている色温度設定を使用

※ 動画撮影中は[AWB]の動作になります。



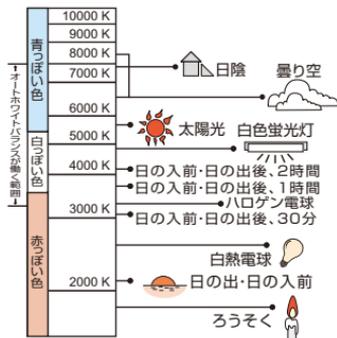
蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB] または []、[]、[]、[] をご使用ください。

- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲(P147)外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。

続く

■ オートホワイトバランスについて

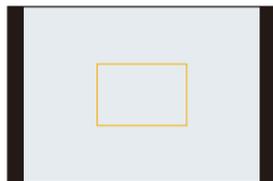
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB] 以外に設定して調整してください。



手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

- 1 [WB] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して [1], [2], [3] または [4] を選び、▲ ボタンを押す
- 3 白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET] ボタンを押す
 - シャッターボタンを押すことでも、同じ操作ができます。

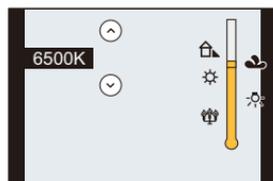


- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスを設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。

色温度設定

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

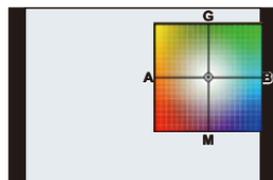
- 1 [WB] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して[]を選び、
▲ ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
● [2500K]～[10000K]まで設定できます。



ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- 1 [WB] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押してホワイトバランスを微調整する
 ◀: A (アンバー: オレンジ系) ▲: G (グリーン: 緑系)
 ▶: B (ブルー: 青系) ▼: M (マゼンタ: 赤系)
 ● ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整することができます。
 ● [DISP.] ボタンを押すと中心点に戻ります。
- 4 [MENU/SET] ボタンを押す



- ホワイトバランスをA(アンバー)またはB(ブルー)方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG(グリーン)またはM(マゼンタ)方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+] (グリーン)または[-] (マゼンタ)が表示されます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- [, , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に3枚撮影します。

1 [WB] ボタンを押す

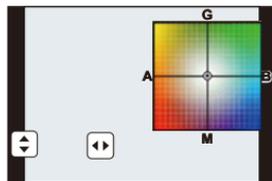
2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す

3 コントロールダイヤルを回してブラケット設定を行う

コントロールダイヤルを右に回す:横方向(A~B)

コントロールダイヤルを左に回す:縦方向(G~M)

- [◀]/[▶] をタッチしてもブラケット設定することができません。
- [DISP.] ボタンを押すとリセットされます。



4 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスブラケットを設定すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに [BKT] が表示されます。
- 電源スイッチを [OFF] (スリープモードを含む) にすると、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- シャッター音は 1 回しか鳴りません。

こんなときは使えません

- 以下の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
 - 動画撮影時
 - [クオリティ] を [RAW $\frac{1}{2}$], [RAW $\frac{1}{4}$], [RAW] に設定時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - インターバル撮影時

効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)

使えるモード: P A S M C1 C2 C3



撮影したいイメージに合わせて、6種類の効果を選択することができます。お好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

MENU ボタン → [撮影] → [フォトスタイル]

STD [スタンダード]	標準的な設定
VIVID [ヴィヴィッド] ※1	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT [ナチュラル] ※1	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO [モノクローム]	色味を抜いた単色の効果
SCNY [風景] ※1	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT [人物] ※1	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST [カスタム] ※1	あらかじめ登録している設定を使用
CINED [シネライクD] ※1,2	動画編集時での処理に適した、ダイナミックレンジを優先したガンマカーブ※3で映画感覚に仕上げる効果
CINEV [シネライクV] ※1,2	コントラストを重視したガンマカーブ※3で映画感覚に仕上げる効果

※1 インテリジェントオートプラスモード時は設定できません。

※2 クリエイティブ動画モード時のみ設定できます。

※3 実際の明るさと記録する明るさを、明るさの段階ごとに調整する場合、2つの明るさの関係性は非線形のカーブを描きます。これをガンマカーブと言います。

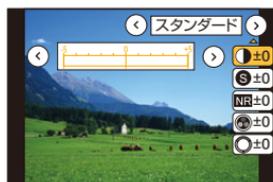
- インテリジェントオートプラスモード時、他の撮影モードに切り換えたり、電源の[ON]/[OFF]切り換えをした場合は、[スタンダード]にリセットされます。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

[続く](#)

■ 画質調整する

●インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

- 1 ◀/▶ ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する



● コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
● シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
● 彩度※1	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
● 色調※1	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
● 色相※2	+	赤を基準とした場合、紫/マゼンダ方向に色相を回転させ、全体の色合いを調整します。
	-	赤を基準とした場合、黄色/緑方向に色相を回転させ、全体の色合いを調整します。
● フィルター効果※2	黄	被写体のコントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	-

※1 [モノクローム]選択時のみ[色調]が表示されます。それ以外では[彩度]が表示されます。

※2 [モノクローム]選択時のみ[フィルター効果]が表示されます。それ以外では[色相]が表示されます。

●画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

■ 設定を [カスタム] に登録する

「画質調整する」の手順 2 で画質を調整し、[DISP.] ボタンを押す

●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

明るい/暗い部分を調整する(ハイライトシャドウ)

使えるモード:



画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

1 メニューを設定する(P49)

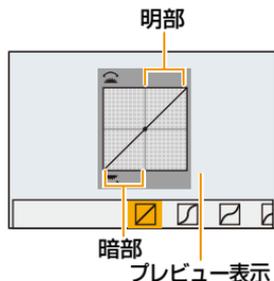
MENU ボタン → [撮影] → [ハイライトシャドウ]

2 ◀/▶ ボタンで設定項目を選ぶ

<input type="checkbox"/> (スタンダード)	調整なしの状態になります。
<input type="checkbox"/> (コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
<input type="checkbox"/> (コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
<input type="checkbox"/> (暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
<input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

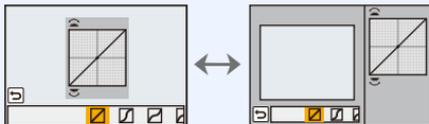
3 前後ダイヤルを回して、明部/暗部の明るさの調整をする

- 後ダイヤルは暗部の調整、前ダイヤルは明部の調整になります。
- お好みの設定を登録する場合は ▲ ボタンを押して、カスタム登録先(カスタム1()/カスタム2()/カスタム3())を選んでください。
- グラフをドラッグ操作して調整することもできます。



4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 明るさ調整の画面で [DISP.] ボタンを押して、画面の表示を切り換えることができます。



- / / に登録した設定は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- / / で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

画像補正機能を使いこなす

コントラストや露出を補正する(iDレンジコントロール)

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 



背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

MENU ボタン →  [撮影] → [iD レンジコントロール]

設定: [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

- [AUTO]では、撮影状況に合わせて効果の強さを自動的に設定します。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

こんなときは使えません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[iD レンジコントロール]は働きません。
 - [HDR]を[ON]に設定時

解像感を高める(超解像)

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 



超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影することができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [超解像]

設定: [強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]

- [拡張]は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- 動画撮影時は[拡張]は[弱]に変わります。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

露出の異なる写真を合成する(HDR)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。

HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [HDR]

ON	HDR 合成した写真を撮影します。	
OFF	HDR 合成を行いません。	
設定	Dレンジ設定	[AUTO]: 被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV], [±2EV], [±3EV]: 設定した露出の調整幅で撮影します。
	自動位置調整	[ON]: 手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時の設定をお勧めします。 [OFF]: 画像のずれ調整を行いません。三脚使用時の設定をお勧めします。

■ HDRとは

High Dynamic Range(ハイダイナミックレンジ)の略で、幅広い明暗差を表現するための技術を表します。

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- [自動位置調整]を[ON]に設定時は、画角が僅かに狭くなります。
- フラッシュは  (発光禁止)に固定されます。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では動きません。
- 以下の場合、[HDR]は使えません。
 - [クオリティ]を[RAW ]、[RAW ]、[RAW]に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)

長秒露光時のノイズを低減する(長秒ノイズ除去)

使えるモード:        



夜景撮影など、遅いシャッタースピードでの撮影時に発生するノイズを、カメラが自動的に取り除き、きれいな画像を撮影することができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [長秒ノイズ除去]

設定: [ON]、[OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のためにシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。
- シャッタースピードを遅くして撮影する場合は、三脚の使用をお勧めします。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[長秒ノイズ除去]は動きません。
 - [連写速度]を[SH]に設定時
 - [電子シャッター]を[ON]に設定時

画面周辺の明るさを補正する(シェーディング補正)

使えるモード:        



レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影することができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [シェーディング補正]

設定: [ON]、[OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

こんなときは使えません

- 以下の場合は補正できません。
 - 動画撮影中の写真記録([ (動画優先)]) 設定時のみ
 - [連写速度]を[SH]に設定時
- 使用するレンズによっては補正できない場合があります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。

色空間を設定する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [色空間]

sRGB	sRGB色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
AdobeRGB	AdobeRGB色空間に設定します。 AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 動画撮影時は、[sRGB]に固定されます。

6.

被写体・目的に合わせた撮影

お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)

撮影モード: [P]

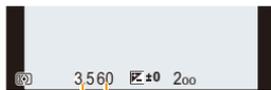


被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。



絞り値 シャッタースピード

→ 続く

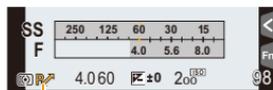
プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままですべて変更することができます。これをプログラムシフトといいます。プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする

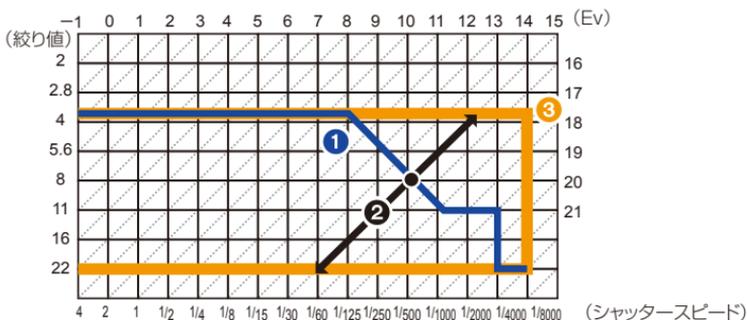
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、前後のダイヤルを回してください。
ファンクションボタンに[ワンプッシュAE]を設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。(P129)



プログラムシフト表示

<プログラムシフトの例>

交換レンズ(H-FS14140)装着時



- 1** プログラム線図
各EV値での、カメラが自動的に設定する絞り値とシャッタースピードを表しています。
- 2** プログラムシフト量
各EV値での、プログラムシフトで変えられる、絞り値とシャッタースピードの組み合わせの範囲を表しています。
- 3** プログラムシフト限界
本機でプログラムシフトすることで選べる絞り値とシャッタースピードの範囲を表しています。

● EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。



こんなときは使えません

- ISO感度を[ISO]に設定すると、プログラムシフトできません。

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード: **A** **S** **M**



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P128)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。

A: 絞り優先AEモード

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。背景までピントを合わせたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

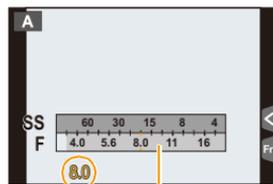
1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する



絞り値:小さくなる
背景をぼかしやすくなります。

絞り値:大きくなる
背景までピントが合った状態にやすくなります。



絞り値 露出メーター

- 前後のダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの位置を[A]にすると前後のダイヤルの設定が有効になり、[A]以外では絞りリングの設定が優先されます。

S: シャッター優先AEモード

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

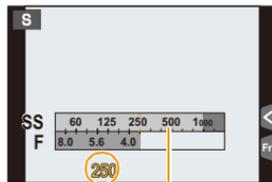
2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する



シャッタースピード:
遅くなる
動きを表現しやすくなります。



シャッタースピード:
速くなる
動きを止めやすくなります。



シャッター
スピード 露出メーター

- 前後のダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- ISO感度を[ISO]に設置時、ISO感度は[AUTO]に切り換わります。

こんなときは使えません

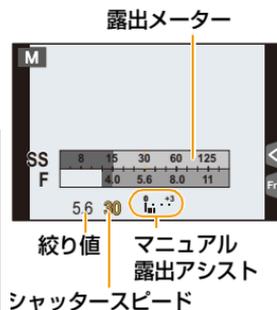
- フラッシュ発光時は、1/250秒より速いシャッタースピードには設定できません。(P150)
- [電子シャッター]を[ON]に設定時は、1秒より遅いシャッタースピードには設定できません。

M: マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示すマニュアル露出アシストが、画面下部に表示されます。

- 1 モードダイヤルを [M] に合わせる
- 2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを、前ダイヤルを回して絞り値を設定する

絞り値		
	小さくなる 背景をぼかしやすくなります。	大きくなる 背景までピントが合った状態にやすくなります。
シャッタースピード		
	遅くなる 動きを表現しやすくなります。	速くなる 動きを止めやすくなります。



💡 シャッタースピードと絞り値にISO感度を合わせる

ISO感度を [AUTO] に設定時、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるように、ISO感度をカメラが自動的に設定します。

- 撮影条件により、適正露出にならなかったり、ISO感度が高くなる場合があります。

💡 マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

➡ 続く

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約60分間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、画面に[B]が表示されます。
- バルブ撮影時は、十分に充電されたバッテリー(P28)を使用してください。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- ISO感度を[AUTO]または[ISO]設定時、ISO感度は[200]に切り換わります。
- [電子シャッター]を[ON]に設定時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。



- バルブ撮影時は、三脚やシャッターリモコン(別売: DMW-RSL1)の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、293ページをお読みください。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。(P120)



撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する / しない

MENU ボタン → fC[カスタム] → [常時プレビュー(Mモード)] → [ON]/[OFF]

- フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

- 前後のダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの設定が優先されます。
- ISO感度を[ISO]設定時、ISO感度は[AUTO]に切り換わります。



こんなときは使えません

- フラッシュ発光時は、1/250秒より速いシャッタースピードには設定できません。(P150)
- [電子シャッター]を[ON]に設定時は、1秒より遅いシャッタースピードには設定できません。

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する (プレビューモード)

使えるモード:



プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

- **絞り効果の確認**: 実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**: 実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

1 ファンクションボタンに [プレビュー] を設定する (P265)

- 次の手順は、[Fn4] に [プレビュー] を設定した場合の例です。

2 [Fn4] ボタンを押して確認画面を切り換える

- [Fn4] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	レンズの焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいときなど

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果確認のできる範囲は、8秒～1/8000秒です。

絞り/シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる (ワンプッシュAE)

使えるモード:

露出の設定が明るすぎたり、暗すぎたとき、ワンプッシュAEを使うと簡単に適正露出に合わせることができます。



適正露出でないときの見分け方

- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが 以外で表示されたとき。マニュアル露出アシストについて詳しくは 126 ページをお読みください。

赤色で点滅



1 ファンクションボタンに [ワンプッシュAE] を設定する (P265)

- 次の手順は、[Fn8]に[ワンプッシュAE]を設定した場合の例です。

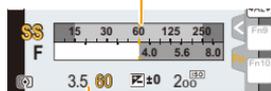
2 [Fn] をタッチする

3 (適正露出でないときに)[Fn8] をタッチする

赤色で点滅



露出メーター



適正露出に変更

- 露出メーターが表示され、絞り値やシャッタースピードが適正露出に合った設定に変わります。
- 以下の場合では、適正露出に合わせることができません。
 - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
 - フラッシュ撮影時
 - プレビューモード時 (P128)
 - 絞りリングのあるレンズを使用時

- プログラムAEモード時では、[ワンプッシュAE]を設定しているファンクションボタンを押すとプログラムシフトを解除することができます。

露出を補正して撮る

使えるモード：  **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 

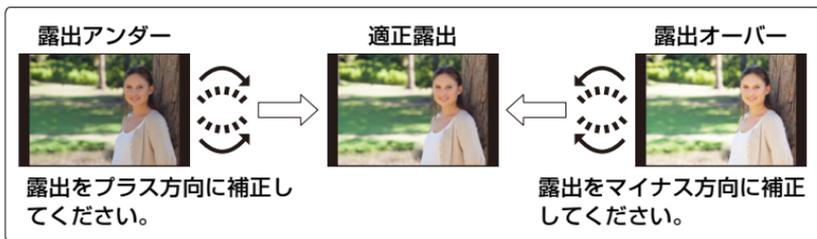


被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 [] ボタンを押す



2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して露出を補正する



- 露出補正值は -5 EV ~ +5 EV の範囲で設定可能です。動画撮影時は -3 EV ~ +3 EV の範囲で設定可能です。
- 露出を補正しない場合は、「±0」を選んでください。

3 [] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定時は、露出補正量に応じて内蔵フラッシュの発光量も自動的に調整されます。(P152)
- 露出量が -3 EV から +3 EV の範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。撮影画像の実際の明るさは、オートレビューや再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。([露出補正リセット](P59)を[OFF]に設定時)

露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード：       



被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

1 被写体に画面を合わせる

2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

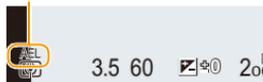
- [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。



3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK] 設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AE ロック表示



- マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックのみ有効です。
- 動画撮影中はAFロックのみ有効です。撮影中にAFロックを解除すると、新たにロック操作はできません。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

[AF/AE LOCK] ボタンの機能を設定する

MENU ボタン → **fC** [カスタム] → [AF/AEロック切換]

AE LOCK	露出だけを固定します。 ● 露出が合うと、[AEL]および絞り値とシャッタースピードが表示されます。
AF LOCK	ピントだけを固定します。 ● ピントが合うと、[AFL]およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードが表示されます。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。 ● ピントと露出が合うと、[AFL]と[AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードが表示されます。
AF-ON	オートフォーカスが作動します。

[AF/AE LOCK] ボタンを離してもロックを維持する/しない

MENU ボタン → **fC** [カスタム] → [AF/AEロック維持] → [ON]/[OFF]

明るさの測り方を選ぶ(測光モード)

使えるモード:   **P A S M**  **C1 C2 C3** 



明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [測光モード]

 (マルチ測光)	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
 (中央重点測光)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
 (スポット測光)	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  スポット測光ターゲット </div>

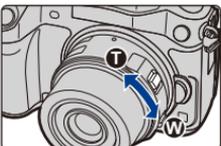
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

ズームを使って撮る

使えるモード:



風景などを広く(広角:W側)撮ったり人や物を大きく(望遠:T側)撮ることができます。

<p>パワースームに対応していない交換レンズ(H-FS14140)をお使いの場合</p>	<p>交換レンズのズームリング</p> 	<p>本機のカーソルボタン※2,3</p> 
<p>パワースーム(電動式ズーム)に対応した交換レンズをお使いの場合</p>	<p>交換レンズのズームレバー※1</p> 	<p>本機のカーソルボタン※2,4</p> 
<p>ズームに対応していない交換レンズをお使いの場合</p>	<p>本機のカーソルボタン※2,4</p> 	
<p>T側: 望遠、大きく撮る W側: 広角、広く撮る</p>		<p>▲/▶ボタン: 望遠、大きく撮る ▼/◀ボタン: 広角、広く撮る</p>

※1 動かす幅によって、ズームスピードが変わります。

※2 カーソルボタンでズーム操作する場合は、カスタムメニューの[Fn ボタン設定] (P265)で [ズーム操作] を設定したファンクションボタンを押してください。もう一度ファンクションボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。

※3 カーソルボタンで操作できるのは、撮影メニューの[EXテレコン(写真)]を[ZOOM]に設定時のみです。

※4 ▲/▼ボタンで早くズームし、◀/▶ボタンでゆっくりズームします。

望遠効果を上げる

EX テレコン(写真)/EX テレコン(動画)

使えるモード:



EXテレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

写真撮影時	[EX テレコン(写真)]	1.4 倍: [EX]M ([4:3], [3:2], [16:9], [1:1]) 2.0 倍: [EX]S ([4:3], [3:2], [16:9], [1:1])
動画撮影時	[EX テレコン(動画)]	2.4 倍 ([画質設定]のサイズが[FHD]の動画) 3.6 倍 ([画質設定]のサイズが[HD]の動画) 4.8 倍 ([画質設定]のサイズが[VGA]の動画)

- 記録画素数を [M] または [S] ([EX] 付きの記録画素数) に、クオリティを または に設定してください。



EXテレコンを段階的に拡大する

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [ZOOM]

- 写真撮影時のみ使えます。



EX テレコンの倍率

ズームレバーや ▲/▼/◀/▶ ボタンを使って操作ができます。

- パワースームに対応した交換レンズをお使いの場合は、光学ズーム領域のT端までズーム後に、EXテレコン領域に入ります。

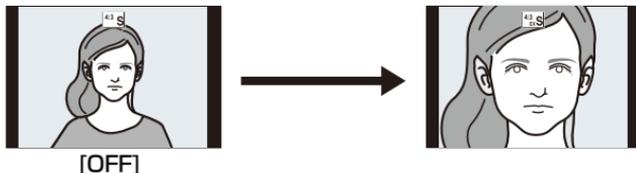


光学ズーム領域(焦点距離)[※] 写真時のEXテレコン領域(ズーム倍率)

[※]パワースームに対応した交換レンズをお使いの場合のみ表示されます。

- ズームスピードは一定になります。
- ズーム倍率は目安です。

続く

**EXテレコンを単純に拡大する****MENU** ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [TELE CONV.]**MENU** ボタン → [動画] → [EX テレコン(動画)] → [ON]

- EXテレコン使用時は、写真と動画のズーム倍率が異なるため、写真撮影画面と動画撮影画面の画角が変わります。[記録枠表示] (P260) の設定を撮影したいモードに合わせておくと、あらかじめ撮影時の画角を確認できます。

**こんなときは使えません**

- 以下の場合、EXテレコンは使えません。
 - [画質設定] をサイズが [4K] または [C4K] の動画に設定時
 - [バリエーションフレームレート] で 60 fps よりもフレーム数が多いフレームレートを設定時
 - [クオリティ] を [RAW]、[RAW]、[RAW] に設定時
 - [連写速度] を [SH] に設定時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - HDMI 出力時 (クリエイティブ動画モードを除く)

デジタルズーム使えるモード: **C1** **C2** **C3** 

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大4倍まで拡大できます。(段階的な拡大はできません)

MENU ボタン → [撮影] → [デジタルズーム] → [4×]/[2×]

- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー (P99) を使って撮影することをお勧めします。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

**こんなときは使えません**

- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
 - [多重露出] 設定時

パワーズームレンズの設定を変更する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



MENU ボタン → f_c [カスタム] → [パワーズームレンズ]

パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。
パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズをお使いの場合のみ選択できます。

- 交換レンズ(H-FS14140)はパワーズームに対応していません。
(対応レンズについては、ホームページをご覧ください)

焦点距離表示	ズーム操作をすると、焦点距離が表示され、ズーム位置を確認することができます。 [ON]、[OFF]	焦点距離表示  現在の焦点距離
ステップズーム	[ON]に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 ● 動画撮影時は動きません。 [ON]、[OFF]	ステップズーム表示 
ズーム位置メモリー	電源スイッチを[ON]にすると、電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置へ自動的に戻します。 [ON]、[OFF]	
ズーム速度	ズーム操作時のズームスピードを設定することができます。 ● [ステップズーム]を[ON]に設定すると、ズームスピードは変わりません。 [写真]: [H] (高速)、[M] (中速)、[L] (低速) [動画]: [H] (高速)、[M] (中速)、[L] (低速)	
ズームリング操作	ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応交換レンズを装着しているときのみ選択できます。[OFF]に設定すると、誤操作を防止するためにズームリングでの操作を無効にできます。 [ON]、[OFF]	

タッチ操作でズームを使う

タッチ操作でズーム操作を行うことができます。(タッチズーム)
(光学ズーム、写真時のEXテレコンのみ操作できます)

1 [Z] をタッチする

2 [T/W] をタッチする

- スライダーが表示されます。

3 スライダーをドラッグして、ズーム操作を行う

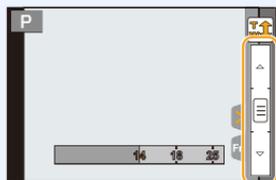
- タッチする位置により、ズームスピードは変わります。

[▲]/[▼]	ゆっくりズームする
[▲]/[▼]	速くズームする

- もう一度 [T/W] をタッチすると、タッチズーム操作を終了します。



- [ステップズーム] (P136) を [ON] に設定時は、ステップズーム用のスライダーが表示されます。



1枚の写真に複数回の露出をする(多重露出)

使えるモード: P A S M



1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [撮影] → [多重露出]

2 ▲/▼ ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 構図を決めて1枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が可能です。
 - [次の撮影]: 次の撮影に進む
 - [撮り直し]: 1枚目の撮影に戻る
 - [完了]: 1枚目の撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了する



4 2枚目、3枚目、4枚目を撮影する

- 撮影時に[Fn4]ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。

5 ▼ ボタンで[完了]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。



■ 自動ゲイン補正設定について

手順2の画面で[自動ゲイン補正]を選んで設定してください。

- [ON]: 撮影枚数に応じて明るさのレベルを調整して重ね合わせます。
- [OFF]: すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。

■ すでに撮影した画像に重ね合わせる

手順2の画面で[再生画像と多重]を[ON]に設定してください。[開始]後に、カード内の画像が表示されます。RAW画像を選んで[MENU/SET] ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 本機で撮影されたRAW画像にのみ[再生画像と多重]を行えます。
- 完了するまで画像は記録されません。
- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 多重露出撮影中は、メニュー画面にグレーで表示される項目は設定できません。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[多重露出]は使えません。
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ]時

操作音と発光の禁止を一括で設定する (サイレントモード)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使くと便利です。



メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → **f**c [カスタム] → [サイレントモード]

設定: [ON]、[OFF]

● 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。

- [電子シャッター]: [ON]
- [フラッシュモード]: [] (発光禁止)
- [AF 補助光]: [OFF]
- [電子音音量]: [] (OFF)
- [電子シャッター音音量]: [] (OFF)
- [スピーカー音量]: 0

● [ON] に設定していても、以下の機能は点灯 / 点滅します。

- 電源表示ランプ
- セルフタイマーランプ
- Wi-Fi 接続ランプ

● レンズの絞りの音などの動作音は消音されません。

● 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

シャッター音を鳴らさずに撮影する (電子シャッター)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



静かな環境での撮影時に、シャッター音を鳴らさずに撮影できます。また、メカニカルシャッターを使わないため、ブレを抑えた写真を撮影しやすくなります。撮影条件により被写体が曲がったり、横しまが撮影されることがありますので、事前に試し撮りをお勧めします。

メニューを設定する (P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [電子シャッター]

設定: [ON]、[OFF]

- フラッシュは [☹] (発光禁止) に固定されます。
- 蛍光灯や LED などの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 撮影時に手ブレが発生すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。三脚の使用をお勧めします。
- [電子音]の[電子シャッター音音量]で、撮影時のシャッター音を鳴らさないように設定できます。(P55)
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

こんなときは使えません

- [連写速度]を[SH]に設定時は、[電子シャッター]は [ON] に固定されます。
- [サイレントモード]を[ON]に設定時は、[電子シャッター]は [ON] に固定されます。

シャッターによるブレを抑える

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**     



手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと設定した時間が経過してからシャッターが切れます。

メニューを設定する (P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [シャッターディレイ]

設定: [8秒]、[4秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]

こんなときは使えません

- 以下の場合、[シャッターディレイ]は使えません。
 - [HDR]を[ON]に設定時

顔を登録してきれいに撮影する(個人認証)

使えるモード：  P A S M  C1 C2 C3 



個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。



メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [個人認証]

設定：[ON]、[OFF]、[登録]

● 顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。

● 個人認証機能では、以下の機能も働きます。

撮影時

– カメラが登録した顔を認識時、名前を表示*
(名前を設定している場合)

再生時

– 名前や月齢/年齢の表示(情報を登録している場合)
– 登録人物から選んだ人物の画像のみを再生([カテゴリー再生](P188))

※ 名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。



● [個人認証]は、オートフォーカスモードを[]に設定しているときのみ有効です。

● 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。

● グループ画像では、1枚目の画像の名前が表示されます。

● 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔・瞳認識よりも時間がかかります。

● 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。

● 個人認証情報を変更した場合(P144)でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されなくなります。

● 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え](P206)を行ってください。

こんなときは使えません

● 以下の場合は、[個人認証]を設定できません。

– インターバル撮影時

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)



■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P144)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

1 ▲/▼ ボタンで[登録]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで未登録の顔画像枠を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- すでに6人登録されているときは、[新規登録]が表示されません。
- 追加で登録する場合は、すでに登録されている人物を解除してください。



3 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- ▶ ボタンを押す、または[]をタッチすると、顔登録撮影の説明が表示されます。



 続く

4 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 顔画像は3枚まで登録できます。

名前	名前を設定します。 ① ▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ② 名前を入力する ●文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。
月齢/ 年齢	誕生日を設定します。 ① ▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ② ◀/▶ボタンで項目(年・月・日)を選んで▲/▼ボタンで設定し、 [MENU/SET]ボタンを押す
追加登録	追加登録 顔画像を追加登録します。 ① 未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ② 「顔画像を登録する」の手順 3を行う
	解除 顔画像を1枚消去します。 ◀/▶ボタンで解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ●画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。 ●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

- ▼ボタンで[登録]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼/◀/▶ボタンで編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 「顔画像を登録する」の手順 4を行う
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 ▲/▼/◀/▶ボタンで登録順を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。 ●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

赤ちゃんやペットのプロフィールを設定して画像に記録する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P195)で撮影画像に焼き込むことができます。



■ 名前、月齢/年齢を設定する

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [プロフィール設定]

設定: [ (赤ちゃん1)], [ (赤ちゃん2)], [ (ペット)], [OFF]、[設定]

2 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで [赤ちゃん1]、[赤ちゃん2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [月齢/年齢] または [名前] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[月齢/年齢] (誕生日) を入力する

◀/▶: 項目(年・月・日)選択

▲/▼: 設定

[MENU/SET]: 決定

[名前] を入力する

文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。

6 ▼ ボタンで [終了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する



■ 月齢/年齢や名前の表示を解除するには

手順 1 で [OFF] を設定してください。

● DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。

こんなときは使えません

● 動画撮影中に記録した写真([])(動画優先)(P162)には、月齢/年齢や名前は記録されません。

7.

フラッシュ撮影

フラッシュを使って撮る

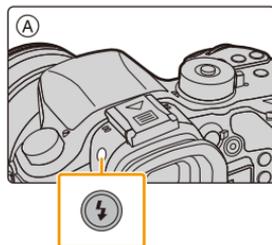
使えるモード：        



内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

① 開くとき

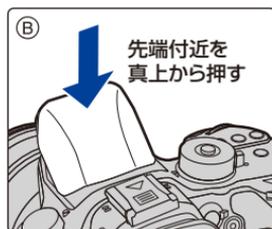
電源スイッチを[ON]にし、
フラッシュオープンボタンを押す



② 閉じるとき

内蔵フラッシュの先端付近を真上から押す

- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、に固定されます。
- フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。



発光禁止 () について

フラッシュを閉じているときや動画撮影時などフラッシュ撮影できない場合は、撮影画面に  (発光禁止) が表示され、フラッシュが発光しません。

- フラッシュ禁止の場所などで発光させないようにするには、フラッシュを閉じてください。

フラッシュを上手に使うには

- フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。カスタムメニューの[ハイライト表示]を[ON]に設定すると、オートレビュー時または再生時に白飛びの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。[フラッシュ光量調整](P152)をマイナス方向に設定するなどして、再度撮影することをお勧めします。
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

 続く

■ フラッシュ撮影可能範囲

使用するレンズによってはフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光がレンズの画角をカバーできないため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。

フラッシュ光が遮られる被写体との距離やフラッシュ光が届く距離は、使用するレンズによって異なります。



交換レンズ(H-FS14140)装着時

W端時	T端時
約50 cm～約13.7 m	約50 cm～約8.5 m

● ISO感度を [AUTO]、[ISO感度上限設定] (P110) を [OFF] に設定時の範囲です。

- 変形、変色や故障の原因となります。以下の点にお気をつけください。
 - フラッシュに物を近づけないでください。
 - 発光中にフラッシュを閉じないでください。
 - 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、289ページをお読みください。
- 以下の場合、フラッシュは [🚫] (発光禁止) に固定されます。
 - 動画撮影時
 - [電子シャッター] を [ON] に設定時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [サイレントモード] を [ON] に設定時

フラッシュの機能を設定する

発光モードを切り換える

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [発光モード]

2 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの光量比を手動で設定します。[TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。 ●外部フラッシュ使用時は設定できません。

●[マニュアル]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに光量比([1/1]など)が表示されます。

マニュアル発光の光量比を設定する

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [マニュアル発光量設定]

2 ◀/▶ ボタンで発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

●[1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3 段ごとに設定できます。

●[発光モード]を [マニュアル] に設定時のみ設定できます。

フラッシュモードを切り換える

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **C1** **C2** **C3**



撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

<p>⚡ : 強制発光 ⚡⊙ : 赤目軽減強制発光[※]</p>	<p>フラッシュを強制的に発光させます。 ● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。</p>	
<p>⚡S : スローシンクロ ⚡S⊙ : 赤目軽減スローシンクロ[※]</p>	<p>フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ● 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ● シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。</p>	

※ [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定し、[発光モード]を[TTL]に設定時のみ設定できます。

フラッシュは2回発光します。特に[⚡⊙]、[⚡S⊙]に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

● 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■ 赤目を補正する

赤目軽減([⚡⊙]、[⚡S⊙])選択時、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [撮影] → [デジタル赤目補正]

設定: [ON]、[OFF]

- [ON]に設定すると、アイコンにが表示されます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

続く

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(○：設定可、×：設定不可)

撮影モード	⚡	⚡👁	⚡S	⚡g👁	👁
IA インテリジェントオートモード	× ^{*1}	× ^{*1}	× ^{*1}	× ^{*1}	○
IA+ インテリジェントオートプラスモード	× ^{*1}	× ^{*1}	× ^{*1}	× ^{*1}	○
P プログラム AE モード	○	○	○	○	○
A 絞り優先 AE モード	○	○	○	○	○
S シャッター優先 AE モード	○	○	×	×	○
M マニュアル露出モード	○	○	×	×	○
M クリエイティブ動画モード	×	×	×	×	○
👁 クリエイティブコントロールモード	×	×	×	×	○

※1 撮影メニューによる設定はできません。フラッシュを開くと [IA] が設定されます。(P61)

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	フラッシュモード	シャッタースピード
⚡	1/60 ^{*2} ～1/250 秒	⚡S	1～1/8000 秒
⚡👁		⚡g👁	
		👁	60 ^{*3} ～1/8000 秒

※2 シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はB(バルブ)となります。

※3 マニュアル露出モード時はB(バルブ)となります。

- フラッシュ発光時は、シャッタースピードが 1/250 秒より速い設定には設定できません。
- インテリジェントオート (IA) または (IA+) モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

後幕シンクロに設定する

使えるモード: **P A S M** **C1 C2 C3**



後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュシンクロ]

2 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

さきまく 先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
あとまく 後幕	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

- 通常は[先幕]に設定してください。
- [後幕]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定時のみ設定できます。(P153)
- フラッシュシンクロの設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(ワイヤレスフラッシュを除く)(P289)
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕]設定時は、[], [] に設定できません。

フラッシュの発光量を調整する

使えるモード:   **P A S M**  **C1 C2 C3** 



フラッシュで撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュ光量調整]

2 ◀/▶ ボタンでフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- -3 EV から +3 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“±0”を選んでください。

- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面のフラッシュアイコンに[+]または[-]が表示されます。
- [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に、[発光モード]を[TTL]に設定時のみ設定できます。(P148, 153)
- [フラッシュ光量調整]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(ワイヤレスフラッシュを除く) (P289)

露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる

使えるモード:   **P A S M**  **C1 C2 C3** 



露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。

メニューを設定する (P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [露出補正連動]

設定: [ON]、[OFF]

- 露出補正については、130 ページをお読みください。
- [露出補正連動]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P289)

ワイヤレスでフラッシュ撮影する

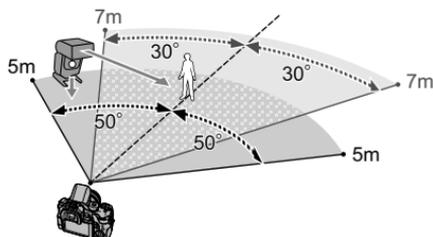
使えるモード： **P A S M** **C1 C2 C3**



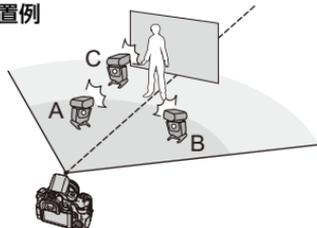
ワイヤレス撮影機能のあるフラッシュライト(別売:DMW-FL360L、DMW-FL580L)を使うと、3つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュ(または本機のホットシューに装着したフラッシュライト)を別々に発光制御できます。

■ ワイヤレスフラッシュの設置について

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は本機を横に構えて撮影する場合の設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。



設置例



- 設置例は、発光グループフラッシュA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合です。
- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディヒューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

1 ワイヤレスフラッシュの設定を RC モードにして、配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

2 フラッシュオープンボタンを押して、フラッシュを開く。または、本機にフラッシュライト(別売:DMW-FL360L、DMW-FL580L)を取り付ける

3 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレスモード]

4 ▲/▼ ボタンで [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [ワイヤレスモード]を[ON]に設定すると、撮影画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。

5 ▲/▼ ボタンで [ワイヤレスチャンネル] 選び、[MENU/SET] ボタンを押す

続く

6 ▲/▼ ボタンでチャンネルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 手順 1 で設定した外部フラッシュと同じチャンネルを選んでください。

7 ▲/▼ ボタンで [ワイヤレス設定] 選び、[MENU/SET] ボタンを押す

8 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [DISP.] ボタンを押すと、テスト発光を行います。



内蔵フラッシュ※1/ 外部フラッシュ※1	発光モード	TTL: カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO※2: 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル※2: 外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF: 本機側のフラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定時の本機側の発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定時の外部フラッシュの光量比を設定します。 • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。 • 本機にフラッシュライトを装着していない場合は内蔵フラッシュを、装着している場合はフラッシュライトを設定します。
Aグループ/ Bグループ/ Cグループ	発光モード	TTL: カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO※1: ワイヤレスフラッシュ側で自動的に発光量を設定します。 マニュアル: ワイヤレスフラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF: 設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定時のワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定時のワイヤレスフラッシュの光量比を設定します。 • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

※1 [ワイヤレスFP]を[ON]に設定時は設定できません。

※2 本機に外部フラッシュを装着時のみ設定できます。

ワイヤレスフラッシュ撮影の設定をする

ワイヤレスフラッシュをFP発光させる

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光(フラッシュが高速で発光を繰り返すこと)します。速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレスFP]

設定: [ON]、[OFF]

通信発光の強さを設定する

ワイヤレス撮影時の通信発光の強さを設定します。

メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレス通信光量]

設定: [強]、[中]、[弱]



8.

動画を撮影する

動画を撮る

使えるモード：

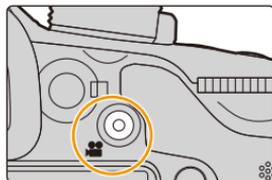


AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4、MOV形式で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

使用するレンズにより、動画撮影中に働く機能に差があります。また、レンズの動作音などが記録される場合があります。詳しくは、22ページをお読みください。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 何も操作しない場合、画面上の情報の一部が約10秒経過すると段階的に暗くなり、約1分経過すると表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。



記録経過時間 記録動作表示

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。(P162)



記録可能時間

撮影終了時の操作音について

動画は終了時に動画ボタンを押したときまでが記録されるため、操作音が目立つ場合があります。操作音が気になる場合は、以下をお試しください。

–再生メニューの[動画分割](P197)で動画の終わりの部分を分割してください。

最後のあたりでは分割できない場合があります。3秒ほど長めに撮影をしてください。

–クリエイティブ動画モードに設定し、シャッターリモコン(別売)を使って撮影してください。(P293)

 続く

- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。[記録枠表示] (P260)を[]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画撮影中、ISO感度は[AUTO] (動画用)の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は動きません。
- 動画撮影時は、[手ブレ補正]を[] (流し撮り)に設定していても、[] (通常)に固定されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター (別売: DMW-AC10) の使用をお勧めします。(P293)
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、撮影途中の動画は記録されません。
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
- プログラム AE モード - 絞り優先 AE モード - シャッター優先 AE モード - マニュアル露出モード	通常動画

こんなときは使えません

- 以下の場合、動画撮影できません。
 - クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ]時

4K 動画を撮る

使えるモード: P A S M C1 C2 C3

[画質設定]のサイズが[4K]または[C4K]の動画で記録することで、きめ細かい4K動画を撮影することができます。

- 4K動画はクリエイティブ動画モードに設定時のみ撮影できます。
- 4K動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P23)

4K 動画を撮影するには

- ① モードダイヤルを[M]に合わせる (P40)
- ② 動画撮影メニューの[記録方式]を[MP4]、[MP4(LPCM)]または[MOV]に設定する (P158)
- ③ 動画撮影メニューの[画質設定]をサイズが[4K]または[C4K]の動画に設定する (P158)

フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する

使えるモード:



1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [動画] → [記録方式]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

AVCHD	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
MP4	パソコンなどで再生する場合に適した MP4 のデータ形式です。
MP4(LPCM)	映像編集に適した MP4 のデータ形式です。
MOV	映像編集に適したデータ形式です。

- [MP4(LPCM)]、[MOV] 選択時は確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

3 ▲/▼ ボタンで [画質設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選べる項目は [記録方式]、[システム周波数] (P178) によって異なります。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ アイコンの見方

サイズ ALL-Intra

 ビットレート 記録フレームレート(センサー出力)

- 「ALL-Intra」とは1コマ単位で圧縮を行う方式で、ファイルサイズが大きくなりますが、編集時に再エンコードが不要なため画質劣化がありません。
- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate (可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間当たりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- 動画の [記録方式] や [画質設定] によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、23 ページの「動画撮影とスピードクラスについて」をお読みください。

続く

[AVCHD] を選んだ場合

項目	システム周波数 (○:選択可、×:選択不可)			サイズ	記録 フレーム レート	センサー 出力	ビット レート
	59.94Hz (NTSC)	50.00Hz (PAL)	24.00Hz (CINEMA)				
FHD/28M/60p ^{※1}	○	×	×	1920×1080	59.94p	59.94 コマ/秒	28 Mbps
FHD/28M/50p ^{※1}	×	○	×	1920×1080	50.00p	50.00コマ/秒	28 Mbps
FHD/17M/60i	○	×	×	1920×1080	59.94i	59.94コマ/秒	17 Mbps
FHD/17M/50i	×	○	×	1920×1080	50.00i	50.00コマ/秒	17 Mbps
FHD/24M/30p	○	×	×	1920×1080	59.94i	29.97コマ/秒	24 Mbps
FHD/24M/25p	×	○	×	1920×1080	50.00i	25.00コマ/秒	24 Mbps
FHD/24M/24p	○	×	×	1920×1080	23.98p	23.98コマ/秒	24 Mbps

※1 AVCHD Progressive

[MP4] を選んだ場合

項目	システム周波数 (○:選択可、×:選択不可)			サイズ	記録 フレーム レート	センサー 出力	ビット レート
	59.94Hz (NTSC)	50.00Hz (PAL)	24.00Hz (CINEMA)				
4K/100M/30p ^{※2}	○	×	×	3840×2160	29.97p	29.97コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/25p ^{※2}	×	○	×	3840×2160	25.00p	25.00コマ/秒	100 Mbps
FHD/28M/60p	○	×	×	1920×1080	59.94p	59.94コマ/秒	28 Mbps
FHD/28M/50p	×	○	×	1920×1080	50.00p	50.00コマ/秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	○	×	×	1920×1080	29.97p	29.97コマ/秒	20 Mbps
FHD/20M/25p	×	○	×	1920×1080	25.00p	25.00コマ/秒	20 Mbps
HD/10M/30p	○	×	×	1280×720	29.97p	29.97コマ/秒	10 Mbps
HD/10M/25p	×	○	×	1280×720	25.00p	25.00コマ/秒	10 Mbps
VGA/4M/30p ^{※3}	○	×	×	640×480	29.97p	29.97コマ/秒	4 Mbps
VGA/4M/25p ^{※3}	×	○	×	640×480	25.00p	25.00コマ/秒	4 Mbps

※2 クリエイティブ動画モード時のみ設定できます。

※3 撮影時での HDMI 出力中は、設定できません。

- [MP4]のサイズが[FHD]、[HD]、[VGA]の動画では、1つの動画として連続記録できるのは29分59秒まで、またはファイルサイズ4 GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。
 - [FHD] は、ファイルサイズが大きいので29分59秒より前に撮影を終了します。
- [MP4]のサイズが[4K]の動画では、ファイルサイズが4 GBを超える場合、撮影時は一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます。

[MP4(LPCM)]、[MOV] を選んだ場合

項目	システム周波数 (○:選択可、×:選択不可)			サイズ	記録 フレーム レート	センサー 出力	ビット レート
	59.94Hz (NTSC)	50.00Hz (PAL)	24.00Hz (CINEMA)				
C4K/100M/24p ^{※1}	×	×	○	4096×2160	24.00p	24.00 コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/30p ^{※1}	○	×	×	3840×2160	29.97p	29.97 コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/25p ^{※1}	×	○	×	3840×2160	25.00p	25.00 コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/24p ^{※1}	×	×	○	3840×2160	24.00p	24.00 コマ/秒	100 Mbps
	○	×	×	3840×2160	23.98p	23.98 コマ/秒	100 Mbps
FHD/ALL-I ^{※2} /200M/60p	○	×	×	1920×1080	59.94p	59.94 コマ/秒	200 Mbps
FHD/100M/60p	○	×	×	1920×1080	59.94p	59.94 コマ/秒	100 Mbps
FHD/50M/60p	○	×	×	1920×1080	59.94p	59.94 コマ/秒	50 Mbps
FHD/ALL-I ^{※2} /200M/50p	×	○	×	1920×1080	50.00p	50.00 コマ/秒	200 Mbps
FHD/100M/50p	×	○	×	1920×1080	50.00p	50.00 コマ/秒	100 Mbps
FHD/50M/50p	×	○	×	1920×1080	50.00p	50.00 コマ/秒	50 Mbps
FHD/ALL-I ^{※2} /200M/30p	○	×	×	1920×1080	29.97p	29.97 コマ/秒	200 Mbps
FHD/100M/30p	○	×	×	1920×1080	29.97p	29.97 コマ/秒	100 Mbps
FHD/50M/30p	○	×	×	1920×1080	29.97p	29.97 コマ/秒	50 Mbps
FHD/ALL-I ^{※2} /200M/25p	×	○	×	1920×1080	25.00p	25.00 コマ/秒	200 Mbps
FHD/100M/25p	×	○	×	1920×1080	25.00p	25.00 コマ/秒	100 Mbps
FHD/50M/25p	×	○	×	1920×1080	25.00p	25.00 コマ/秒	50 Mbps
FHD/ALL-I ^{※2} /200M/24p	×	×	○	1920×1080	24.00p	24.00 コマ/秒	200 Mbps
	○	×	×	1920×1080	23.98p	23.98 コマ/秒	200 Mbps
FHD/100M/24p	×	×	○	1920×1080	24.00p	24.00 コマ/秒	100 Mbps
	○	×	×	1920×1080	23.98p	23.98 コマ/秒	100 Mbps
FHD/50M/24p	×	×	○	1920×1080	24.00p	24.00 コマ/秒	50 Mbps
	○	×	×	1920×1080	23.98p	23.98 コマ/秒	50 Mbps

※1 クリエイティブ動画モード時のみ設定できます。

※2 ALL-Intra

- [MP4(LPCM)]、[MOV] でファイルサイズが4 GB を超える場合、撮影時は一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます。

■ 撮影した動画の互換性について

撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- [画質設定]の記録フレームレートが[24p]の動画で記録した動画の本機以外での再生、取り込みには、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたはPHOTOfunSTUDIOをインストールしたパソコンが必要です。
- [MP4(LPCM)]、[MOV]で記録した動画の本機以外での再生、編集には、高性能のパソコン環境や、PHOTOfunSTUDIOをインストールしたパソコンが必要です。

動画撮影時のピントの合わせ方(AF連続動作)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **C3** 



ピント合わせは、フォーカスモード(P80)と動画撮影メニューの[AF連続動作]の設定によって異なります。

フォーカスモード	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。(P80)
	OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。
MF	ON/OFF	手でピントを合わせることができます。(P90)

- フォーカスモードを[AFS]、[AFF]、[AFC]に設定時、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境や使用レンズによっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、動画撮影メニューの[AF連続動作]を[OFF]に設定するなどして撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

動画撮影中に写真を記録する

使えるモード:   P A S M    



動画撮影中でも写真を記録することができます。(同時記録)

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能(P77)を使って撮影することもできます。



■ 動画優先、写真優先を設定する

使えるモード:   P A S M    

動画撮影メニューの[写真撮影]で、動画撮影中の写真の記録方法を設定することができます。

 (動画優先)	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録画素数[S](2 M)で写真を記録します。通常の写真の[S](2 M)とは画質が異なる場合があります。 ● クオリティを[RAW ]、[RAW ]または[RAW]に設定時はJPEG画像のみ記録されます。([RAW]設定時はクオリティは[]で記録されます) ● 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大40枚までです。 ● クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、シャッターボタンを全押し時と多少ずれて記録される場合があります。
 (写真優先)	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 ● 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声は途切れます。 ● 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大10枚までです。

- 写真の画像横縦比は[16:9]に固定されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、同時記録はできません。
 - [画質設定]をサイズが[VGA]の動画に設定時
 - [画質設定]を記録フレームレートが[24p]の動画に設定時( [写真優先])設定時のみ)
 - [EX テレコン(動画)]を使用時( [写真優先])設定時のみ)

絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る(クリエイティブ動画モード)

撮影モード: 

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを  に合わせる

2 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [動画] → [動画露出設定]

3 ▲/▼ ボタンで [P]、[A]、[S]、[M] のいずれかを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- モードダイヤルを **P / A / S / M** のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。

 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



4 撮影を開始する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を開始できます。(写真は撮れません)

5 撮影を終了する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を終了できます。

●絞り値について

- 背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

●シャッタースピードについて

- 動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。
- 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、他の撮影モードで撮影するか、手動でシャッタースピードを1/60または1/100に調整してください。
[シンクロスキャン](P176)を使うと、さらに細かく軽減の設定ができます。

- [バリアブルフレームレート](P174)を設定すると、シャッタースピードが変わる場合があります。
- [動画露出設定]を[M]に設定時、ISO感度の[AUTO]は[200]に切り換わります。

動画撮影中の操作音を抑えて撮る

動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

- 動画撮影メニューの[タッチ静音操作]を[ON]に設定してください。

1 撮影を開始する

2 []をタッチする

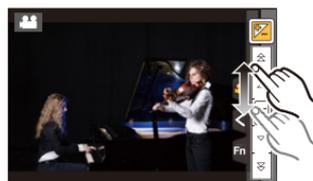
3 アイコンをタッチする

	ズーム(パワーズーム対応交換レンズ使用時)
	絞り値
	シャッタースピード
	露出補正
	ISO感度/ゲイン(dB)(P169)
	マイクレベル設定

4 スライダーをドラッグして設定する

- タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

	ゆっくり設定を変える
	速く設定を変える



5 撮影を終了する

動画の詳細な設定をする、応用撮影をする

映像の輝度を設定する

 P166

- 動画撮影メニュー: [マスターペDESTAL]/[輝度レベル設定]

輝度以外の映像の設定について

以下の機能は写真と動画のどちらにも働く機能です。詳しくは、106 ページの「画質・色合いの設定」をお読みください。

- ホワイトバランス/[フォトスタイル]/[ハイライトシャドウ]/[iDレンジコントロール]/[超解像]

動画用のガンマ設定 / 色相の調整について

動画撮影メニューの[フォトスタイル]を設定すると、編集時での処理に適したガンマカーブでの撮影や、色相の微調整などができます。詳しくは115 ページの「効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)」をお読みください。

音声を設定する、音声をモニターしながら撮る

 P167

- 動画撮影メニュー: [マイクレベル設定]/[マイクレベルリミッター]/[風音低減]/[レンズ動作音低減]
- 音声をモニターしながら撮る(動画撮影メニュー: [音声モニタリング])
- ステレオガンマイクrohon(別売: DMW-MS2)装着時のみ設定できる動画撮影メニューの[専用マイク設定]については、291 ページをお読みください。

動画撮影に適した画面・表示にする

 P169

- 動画撮影メニュー: [マイクレベル表示]/[SS/ゲイン操作]
- カスタムメニュー: [センターマーカー表示]/[ゼブラパターン表示]/[モノクロライブビュー]/[動画優先表示]

カメラの映像をモニターしながら撮る

 P172

- 動画撮影メニュー: [撮影時 HDMI 出力]

タイムコードの記録方法を設定する

 P173

- 動画撮影メニュー: [タイムコード設定]

スローモーション動画、クイックモーション動画を撮影する (バリエブルフレームレート)

 P174

- 動画撮影メニュー: [バリエブルフレームレート]

映像のちらつきや横しまを軽減する(シンクロスキャン)

 P176

- 動画撮影メニュー: [シンクロスキャン]

カラーバーを表示する/テストトーンを出力する

 P177

- 動画撮影メニュー: [カラーバー]

システム周波数を変更する

 P178

- セットアップメニュー: [システム周波数]

映像の輝度を設定する

黒となる輝度を調整する(マスターペDESTAL)

使えるモード: P A S M



クリエイティブ動画モードでの、映像の基準となる黒を31段階で設定します。輝度の信号の基準となるのが黒(ブラック)で、マスターペDESTALと呼ばれます。どの輝度から黒とするかを調整すると、黒の見え方だけでなく、全体の輝度バランスを設定できます。

- クリエイティブ動画モードに設定時のみ使えます。



－側

コントラストの高い、硬い霧
困気になります。



±0(標準)

標準の設定になります。



＋側

少しモヤがかかったような霧
困気になります。

1 メニューを設定する(P49)

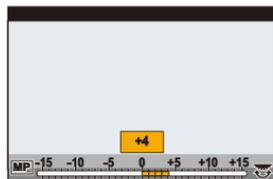
MENU ボタン → [動画] → [マスターペDESTAL]

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して調整する

- 調整をしない場合は、“0”を選んでください。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- 設定後はメニューを終了してください。



輝度レベル設定

使えるモード: P A S M



動画の輝度の範囲を設定します。複数の素材をまとめて一つの動画に仕上げるときに、他の素材に合わせて設定します。

MENU ボタン → [動画] → [輝度レベル設定]

設定: [0-255]、[16-235]、[16-255]

- 動画にのみ動きます。写真(動画撮影中の写真撮影を含む)は[0-255]で撮影されます。
- [記録方式]を[AVCHD]または[MP4]設定時、[輝度レベル設定]の[0-255]は[16-255]に切り換わります。

音声を設定する、音声をモニターしながら撮る

動画の音声に関する設定ができます。

- ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)装着時のみ設定できる動画撮影メニューの[専用マイク設定]については、291ページをお読みください。

マイクレベル設定

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 



音声入力レベルを19段階(-12 dB ~ +6 dB)に調整します。

MENU ボタン →  [動画] → [マイクレベル設定]

- 表示される dB 値は目安です。

音声入力レベルを自動で調整する(マイクレベルリミッター)

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 



音声入力レベルを自動的に調整します。音量が大きくなったときの、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

MENU ボタン →  [動画] → [マイクレベルリミッター]

設定: [ON]、[OFF]

風音低減

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 



音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。

MENU ボタン →  [動画] → [風音低減]

設定: [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

- 風音低減を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。

レンズ動作音低減

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 



パワーズームに対応した交換レンズの、動画撮影時に記録されるズーム動作音を低減します。

MENU ボタン →  [動画] → [レンズ動作音低減]

設定: [ON]、[OFF]

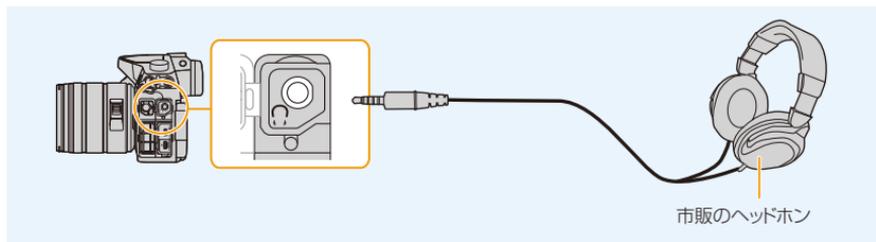
- パワーズームに対応した交換レンズ装着時のみ使えます。
- 設定時は通常と音質が変わる場合があります。

音声をモニターしながら撮る

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 



本機に市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影することができます。



- ヘッドホンケーブルは3 m 未満をご使用ください。
- ヘッドホン接続中は、電子音や電子シャッター音は鳴りません。

■ 音声出力方法を切り換える

MENU ボタン →  [動画] → [音声モニタリング]

リアルタイム	遅延のない音声。動画に記録される音声とは異なる場合があります。
記録音	動画に記録される音声。実際の音より、遅れて出力される場合があります。

- マイクレベル表示は設定されている音声のレベルが表示されます。
- 撮影時での HDMI 出力中は、[記録音]に固定されます。

動画撮影に適した画面・表示にする

本機で動画を扱うときに便利になる、画面や表示の設定ができます。

マイクレベル表示

使えるモード: P A S M C1 C2 C3

マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。

MENU ボタン → [動画] → [マイクレベル表示]

設定: [ON]、[OFF]

- [マイクレベルリミッター] を [OFF] に設定時、[マイクレベル表示] は [ON] に固定されます。

設定値の単位を切り換える (SS/ ゲイン操作)

使えるモード: P A S M C1 C2 C3

クリエイティブ動画モードでのシャッタースピードやゲイン(感度)の設定値の単位を切り換えることができます。

- クリエイティブ動画モードに設定時のみ使えます。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [動画] → [SS/ ゲイン操作]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

秒 / ISO	シャッタースピードを秒、 ゲインを ISO の単位で設定します。	
角度 / ISO	シャッタースピードを角度、 ゲインを ISO の単位で設定します。 ● シャッタースピードは以下の設定項目になります。(シンクロスキャン)を[OFF]に設定時 11 d ~ 360 d	
秒 / dB	シャッタースピードを秒、 ゲインを dB の単位で設定します。 ● ゲイン(感度)は以下の設定項目になります。 AUTO、-6 dB ~ 24 dB	

- 設定後はメニューを終了してください。

画面の中心を表示する(センターマーカ表示)

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 

撮影画面の中心を示す[+]を表示します。被写体を画面の中心にとらえたままズーム操作するとき便利な表示です。

MENU ボタン → **fC**[カスタム] → [センターマーカ表示]
設定: [ON]、[OFF]



白飛びのおそれがある部分を確認する(ゼブラパターン表示)

使えるモード:   P A S M  C1 C2 C3 

一定の輝度よりも明るい、白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示して確認できます。縞模様で表示する輝度(明るさ)を設定することもできます。

MENU ボタン → **fC**[カスタム] → [ゼブラパターン表示]

ゼブラ1	右側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
ゼブラ2	左側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
OFF	—	
設定	<p>それぞれの模様での縞模様で表示する明るさを設定します。 [ゼブラ1]/[ゼブラ2] ▲/▼ ボタンで明るさを選び、[MENU/SET] ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選べる明るさの範囲は[50 %]から[105 %]までです。[ゼブラ2]では、[OFF]に設定することができます。[100 %]または[105 %]を選択すると、白飛びを起こしている部分だけが縞模様で表示されます。数値を小さくすると、縞模様で表示する明るさの範囲が広くなります。 ● [輝度レベル設定]を[16-235]に設定時、選べる明るさは[95 %]までになります。 	

- 白飛びが起きている場合は、ヒストグラム(P258)を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P130)撮影することをお勧めします。
- 表示される縞模様は記録されません。
- カスタムメニューの[Fnボタン設定](P265)に[ゼブラパターン表示]を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに[ゼブラ1]→[ゼブラ2]→[OFF]の順に切り換わります。[ゼブラ2]を[OFF]に設定時は、[ゼブラ1]→[OFF]の順に切り換わり、素早く切り換えることができます。

撮影画面を白黒表示にする(モノクロライブビュー)

使えるモード: **P A S M**

撮影画面を白黒表示にすることができます。白黒で表示する方が、マニュアルフォーカスでピントを合わせやすい場合に便利な機能です。

MENU ボタン → **f**c[カスタム] → [モノクロライブビュー]

設定: [ON]、[OFF]

- 撮影時にHDMI出力する場合、接続した機器には動きません。
- 撮影画像に影響はありません。

動画優先表示

使えるモード: **P A S M**

撮影画面やモニター撮影情報画面などを動画撮影に適した画面に切り換えます。

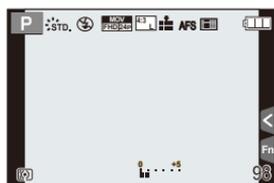
MENU ボタン → **f**c[カスタム] → [動画優先表示]

設定: [ON]、[OFF]

撮影時

[画質設定]の詳細と、記録可能時間が表示されます。モニター撮影情報画面は動画専用の画面になります。

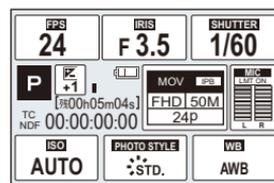
- 露出補正表示は動画で補正ができる範囲のみの表示に切り換わります。露出補正を設定時、写真にのみ設定できる範囲では が表示されます。
- フラッシュや記録画素数などの動画で使えない機能のアイコンが表示されなくなります。



[OFF]



[ON]



モニター撮影情報画面([ON])

再生時

[画質設定]の詳細が表示されます。



カメラの映像をモニターしながら撮る

使えるモード:



HDMI出力時は、動画を外部モニターやテレビなどでモニターしながら撮影することができます。

- HDMIマイクロケーブルでテレビと接続する方法については、271ページをお読みください。
- 撮影時にHDMI出力される画面は、動画撮影メニューの[画質設定]で設定された動画に合わせて出力されます。
- 再生時はセットアップメニューの[テレビ接続設定]の[再生時HDMI出力解像度]の設定で出力されます。(P57)



HDMI 出力中の制限事項

- オートフォーカスモードの[+]とMFアシストでの、画面の一部での拡大表示([PIP])はできません。
- EXテレコン(動画)は働きません。(クリエイティブ動画モードを除く)
- 撮影メニューの[画像横縦比]は、[16:9]に固定されます。
- 動画撮影メニューの[画質設定]をサイズが[VGA]の動画に設定できません。
- 動画撮影メニューの[音声モニタリング]は、[記録音]に固定されます。
- 電子音や電子シャッター音は鳴りません。

■ HDMI 出力時の出力のしかたを設定する

MENU ボタン → [動画] → [撮影時 HDMI 出力]

出力ビット数	<p>HDMI 出力時の画質を設定します。</p> <p>[4:2:2 8bit]: 動画の記録をしながら HDMI出力ができます。外部モニターで映像を確認しながら撮影するときに向いています。</p> <p>[4:2:2 10bit]: 高画質なHDMI出力ができます。HDMI出力を外部の機器で保存するときに向いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [4:2:2 10bit] はクリエイティブ動画モードのみ選択できます。 ● [出力ビット数]を[4:2:2 10bit]でHDMI出力中は、動画の撮影ができません。 ● [出力ビット数]を[4:2:2 10bit]でHDMI出力中は、Wi-Fi機能は使えません。
情報表示	<p>情報表示の有無を切り換えます。</p> <p>[ON]: カメラの表示をそのまま出力します。</p> <p>[OFF]: 映像のみを出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [出力ビット数]を[4:2:2 10bit]でHDMI出力中は、[OFF]に固定されます。
4K ダウンコンバート	<p>接続する機器に合わせて画質を切り換えます。</p> <p>[AUTO]: [画質設定]をサイズが[4K]または[C4K]の動画に設定時、接続する機器が対応していない場合、HDMI出力解像度を[1080p]に自動で切り換えます。</p> <p>[1080p]: [画質設定]をサイズが[4K]または[C4K]の動画に設定時、HDMI出力解像度を[1080p]に切り換えます。</p> <p>[OFF]: [画質設定]で設定した画質でHDMI出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [OFF]設定時は、接続する機器によっては、表示ができないことがあります。

- [画質設定]を[4K]または[C4K]のサイズの動画に設定してHDMI出力を行い[4Kダウンコンバート]が働いた場合、通常よりオートフォーカスでのピント合わせに時間がかかったり、連続したピント合わせの追従性が悪くなる場合があります。
- [出力ビット数]を[4:2:2 8bit]でHDMI出力中にWi-Fi機能を使用時、本機の画面には表示されません。
- 撮影時にHDMI出力する場合、遅れて表示される場合があります。

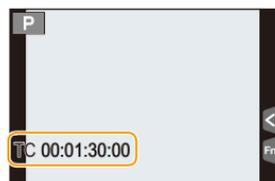
タイムコードの記録方法を設定する

使えるモード:

タイムコードは、時間、分、秒、フレームで記録時間を表示するもので、パソコンでの動画編集の際にタイムコードを基に編集を行うことができます。

本機では動画撮影時にタイムコードが自動的に記録されます。

- [記録方式]を[MP4]に設定して撮影した動画には、タイムコードは記録されません。



1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [動画] → [タイムコード設定]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

タイムコード表示	タイムコードを撮影画面/再生画面に表示するかしないかを設定します。 [ON]、[OFF]
カウントアップ方式	タイムコードのカウント方法を設定します。 [レックラン]: 動画記録中のみタイムコードをカウントします。 [フリーラン]: 動画記録停止中(電源OFF時を含む)もタイムコードをカウントします。
タイムコード値設定	タイムコードの起点(スタート時間)を設定します。 [リセット]: 00:00:00:00(時:分:秒:フレーム)に設定します。 [手動入力]: 時:分:秒:フレームを手動で入力します。 [現時刻]: 時:分:秒を現時刻に設定し、フレームを00に設定します。
タイムコードモード	タイムコードの記録方法を設定します。 [DF](ドロップフレーム): 記録時間とタイムコードの誤差を補正して記録します。時間を厳密に記録する必要のある番組制作などで用いられます。 ● 秒とフレームの間が"."で表示されます。(例:00:00:00.00) [NDF](ノンドロップフレーム): ドロップフレームを行わないでタイムコードを記録します。映像制作などで用いられます。 ● 秒とフレームの間が":"で表示されます。(例:00:00:00:00) ● 以下の場合、[NDF]に固定されます。 - [システム周波数]を[50.00Hz(PAL)]、[24.00Hz(CINEMA)]に設定時 - [システム周波数]を[59.94Hz(NTSC)]に設定し、[画質設定]を記録フレームレートが[24p]の動画に設定時

スローモーション動画、クイックモーション動画を撮影する(バリエャブルフレームレート)

使えるモード:   P A S M    



フレームレートを変えて撮影することで、スローモーション、クイックモーションの動画を撮影できます。[バリエャブルフレームレート]を使うと、撮影時のフレームレートを設定することができます。

スローモーション動画(オーバーラック撮影)

クライマックスシーンなどのドラマチックな演出に用いられるのがスローモーション効果です。画質設定の記録フレームレートよりフレーム数が多いフレームレートを設定してください。

例:[FHD/100M/24p]を[48 fps]で撮影すると、1/2倍速のスローモーション効果が得られます。

クイックモーション動画(アンダークラック撮影)

雲の流れや雑踏の中での人物などの演出に用いられるのがクイックモーション効果です。画質設定の記録フレームレートよりフレーム数が少ないフレームレートを設定してください。

例:[FHD/100M/24p]を[12 fps]で撮影すると、2倍速のクイックモーション効果が得られます。

- クリエイティブ動画モードに設定時のみ使えます。
- バリエャブルフレームレートで撮影ができる[記録方式]、[画質設定]は以下のとおりです。

[AVCHD]	システム周波数を [59.94Hz(NTSC)] 設定時 ● [FHD/24M/30p]、[FHD/24M/24p] システム周波数を [50.00Hz(PAL)] 設定時 ● [FHD/24M/25p]
[MP4(LPCM)]/ [MOV]	システム周波数を [59.94Hz(NTSC)] 設定時 ● [FHD/100M/30p]、[FHD/100M/24p] システム周波数を [50.00Hz(PAL)] 設定時 ● [FHD/100M/25p] システム周波数を [24.00Hz(CINEMA)] 設定時 ● [FHD/100M/24p]

※ [記録方式]を[MP4]に設定時は、バリエャブルフレームレートでの撮影はできません。

- オートフォーカスは動きません。
- 音声は記録されません。

 続く

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [動画] → [画質設定]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- バリエابلフレームレートで撮影ができる項目には画面に[VFR 可能]と表示されます。

3 ▲/▼ ボタンで [バリエابلフレームレート] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

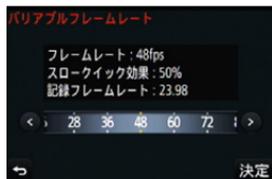
- [バリエابلフレームレート] の設定を [OFF] から [ON] に変更すると、フレームレートの設定画面が表示されます。

5 ◀/▶ ボタンで項目を撮影するフレームレートを選ぶ

- 選べる範囲は、[2 fps] から [96 fps] までです。
- 後ダイヤル、前ダイヤル、コントロールダイヤルを回すことでも、フレームレートを選べます。

6 [MENU/SET] ボタンを押す

- 設定後はメニューを終了してください。



■ [バリエابلフレームレート] を解除するには

手順 4 で [OFF] を設定してください。

■ フレームレートを変更するには

手順 4 で [設定] を設定してください。

- [記録方式] を [AVCHD] に設定時、60 fps よりもフレーム数が多いフレームレートに設定することはできません。
- [EXテレコン(動画)] を [ON] に設定時、60 fps よりもフレーム数が多いフレームレートに設定すると、[EX テレコン(動画)] が解除されます。
- 60fps よりもフレーム数が多いフレームレートに設定した場合、画質が劣化する場合があります。
- カスタムメニューの [Fn ボタン設定] (P265) に [バリエابلフレームレート] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すとフレームレートの設定画面が表示されます。([バリエابلフレームレート] を [ON] に設定時のみ)
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- フォーカスリングのない交換レンズ装着時、マニュアルフォーカスでのピント合わせができません。[バリエابلフレームレート] を設定する前にピントを合わせてください。
- [バリエابلフレームレート] で撮影した動画の本機以外での再生、取り込みには、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたは PHOTOfunSTUDIO をインストールしたパソコンが必要です。
- [バリエابلフレームレート] を設定時、動画撮影メニューの音声に関わるメニューは使えません。
- 三脚の使用をお勧めします。
- [バリエابلフレームレート] で撮影した動画再生時は、画面右上の動画記録時間の表示が通常の動画と異なります。

[▶ XXmXXs]: 実際の再生時間

[📹 XXmXXs]: 動画撮影をした実記録時間

映像のちらつきや横しみを軽減する(シンクロスキャン)

使えるモード:          



クリエイティブ動画モードでの、映像のちらつきや横しみを軽減することができます。テレビやパソコンの画面を撮影するときのちらつきや横しみを、シャッタースピードを微調整することで軽減します。

●クリエイティブ動画モードで [動画露出設定] を [S] または [M] に設定時のみ使えます。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン →  [動画] → [シンクロスキャン]

2 ▲/▼ ボタンで [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンでシャッタースピードを選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッタースピードが細かく設定できます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しみが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。
- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、シャッタースピードが速く変化します。
- 撮影画面でもシャッタースピードを通常より細かく設定できます。



シャッタースピード

■ [シンクロスキャン] を解除するには

手順 **2** で [OFF] を設定してください。

- [シンクロスキャン] を [ON] にすると、設定できるシャッタースピードの範囲が狭くなります。シャッタースピードの範囲は、[画質設定] や [バリアブルフレームレート] などの設定により異なります。

カラーバーを表示する/テストトーンを出力する

使えるモード:



外部モニターの画質調整などに便利なカラーバーを表示します。カラーバーを表示すると、テストトーンも出力されます。

- 本機のモニターやファインダーに表示される明るさや色合いは、外部モニターなどと異なる場合があります。最終的な画質の確認は、外部モニターなどで行ってください。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [動画] → [カラーバー]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

SMPTE	SMPTE 準拠のカラーバー	
EBU	EBU 準拠のカラーバー	
ARIB	ARIB 準拠のカラーバー	

- カラーバーが表示され、テストトーンの音声が出ます。
- コントロールダイヤルを回すと、テストトーンのレベルを3段階(-12 dB、-18 dB、-20 dB)から設定できます。
- 動画ボタンを押すと、カラーバーとテストトーンが動画に記録されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- カラーバーの表示とテストトーンの出力が終了します。
- 動画記録中に[MENU/SET]ボタンを押すと、動画記録を続けたままカラーバーの表示を終了できます。動画の初めにカラーバーを記録することができます。
- カスタムメニューの[Fnボタン設定](P265)に[カラーバー]を設定すると、設定したファンクションボタンを押すと、カラーバーの表示/非表示の操作ができます。その場合は、最後に使用していた種類のカラーバーが表示されます。

システム周波数を変更する

使えるモード:



本機で撮影・再生する動画のシステム周波数を切り換えます。お住まいの地域と異なる放送方式の動画を作成する場合や、映画用の動画を撮影する場合に切り換えます。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [セットアップ] → [システム周波数]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

59.94Hz(NTSC)	テレビの放送方式がNTSCの地域向けです。
50.00Hz(PAL)	テレビの放送方式がPALの地域向けです。
24.00Hz(CINEMA)	映画制作向けのシステム周波数です。

- 電源の入れ直しを促すメッセージが表示されます。電源スイッチを[OFF]にしたあと、電源スイッチを[ON]にしてください。
- お買い上げ時は、お買い上げいただいた地域の放送方式に合ったシステム周波数([59.94Hz(NTSC)]または[50.00Hz(PAL)])が設定されています。(日本の放送方式に合ったシステム周波数は[59.94Hz(NTSC)]です)
- [システム周波数]をお住まいの地域の放送方式と異なる方式に設定時、テレビで画像を正常に再生できない場合があります。
- 放送方式に詳しくない方や映画用の動画制作を行わない方は、お買い上げ時の設定で使用いただくことをお勧めします。
- 設定を変更後、お住まいの地域の放送方式に合ったシステム周波数がわからない場合は、セットアップメニューの[設定リセット] (P52) を行ってください。

■ システム周波数を変更すると

[システム周波数]の設定を変更後に、それまで使用していたカードをそのまま使用すると、動画の記録や再生ができなくなることがあります。別のカードに入れ換え、本機でフォーマット (P52) することをお勧めします。

- 変更前に使用していたカードをそのまま使用すると、以下の動作になります。

記録方式	撮影	再生
AVCHD	撮影できません	変更前に撮影した動画は再生できません。
MP4, MP4(LPCM), MOV	撮影できます	● [システム周波数]が異なる設定で記録した動画は再生できません。

9.

画像の再生・編集

写真を見る

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀:前の画像へ ▶:次の画像へ

- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- コントロールダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグ(P45)しても画像を送ることができます。
- ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)
- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。



■ 再生を終了するには

再度 [▶] ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする、または動画ボタンを押す

こんなときは使えません

- 本機は一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF (Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHD、MP4 または MOV です。

- 動画には動画アイコン([)が表示されます。

▲ ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
例)8分30秒のとき:8m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。
- 画面中央の[]をタッチしても動画を再生できます。



動画記録時間

■ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容	ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲		再生/一時停止	▼		停止
◀		早戻し再生*	▶		早送り再生*
		コマ戻し(一時停止中)			コマ送り(一時停止中)
		音量下げる			音量上げる

※ もう一度▶/◀ ボタンを押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

- 約2秒間何も操作しないとタッチアイコンなどの表示が消えます。画面をタッチしてタッチアイコンなどを表示させてください。
- 一時停止中に[MENU/SET]ボタンを押すと、動画から写真を作成できます。(P181)
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はDVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。

こんなときは使えません

- [システム周波数]が異なる設定で記録した動画は再生できません。(P178)

動画から写真を作成する

撮影した動画から、1枚の写真を作成できます。

- 1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [] をタッチしても同じ操作ができます。
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。



- [画像横縦比]は[16:9]で、[クオリティ]は[.s.]で保存されます。記録画素数は再生する動画により異なります。
 - [画質設定]のサイズが[C4K]の動画の場合 :4096 × 2160(9M)
 - [画質設定]のサイズが[4K]の動画の場合 :[M](8M)
 - [画質設定]のサイズが[FHD]、[HD]の動画の場合 :[S](2M)
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、再生時に[]が表示されます。

こんなときは使えません

- [MP4]の[画質設定]のサイズが[VGA]の動画で撮影された動画からは、写真を作成できません。

再生方法を切り換える

再生画面を拡大する(再生ズーム)

後ダイヤルを右側に回す

1倍 ⇄ 2倍 ⇄ 4倍 ⇄ 8倍 ⇄ 16倍

- 拡大したあと、後ダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンを押す、または画面をドラッグ(P45)すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大(2倍)することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。
- 拡大したい部分をピンチアウト/ピンチイン(P45)しても、画像を拡大/縮小することができます。
- 再生ズーム中にコントロールダイヤルを回すと、ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送ることができます。

ズーム位置表示



複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

後ダイヤルを左側に回す

1画面 ⇄ 12画面 ⇄ 30画面 ⇄ カレンダー画面表示

- 後ダイヤルを右側に回すと、1つ前に戻ります。
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

・[]: 1画面 ・[]: 12画面
 ・[]: 30画面 ・[]: カレンダー再生

- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

■ 1画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

- 1 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選ぶ
- 3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する
- 4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - カレンダー画面表示に戻すには、後ダイヤルを左側に回してください。



- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2014年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

グループ画像を見る

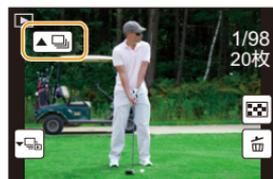
複数枚の画像を1つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1枚ずつ再生します。

- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

[]: 連写速度を [SH] に設定して連続撮影したグループ画像 (P95)

[]: インターバル撮影で撮影したグループ画像 (P100)

[]: コマ撮り撮影したグループ画像 (P103)



- 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

グループ画像を連続再生する

グループ画像アイコン([]、[]、[])が付いた画像を選び、▲ボタンを押す

- グループ画像アイコン([]、[]、[])をタッチしても同じ操作ができます。
- グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
[最初の画像から見る]: グループの先頭画像から連続再生されます。
[この画像から見る]: 再生中の画像から連続再生されます。

■ グループ画像再生中の操作

▲		連続再生/一時停止	▼		停止
◀		早戻し再生	▶		早送り再生
		前の画像に戻す(一時停止中)			次の画像へ送る(一時停止中)

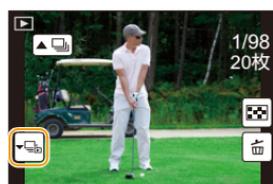
グループ画像を1枚ずつ再生する

1 グループ表示アイコン([]、[]、[])が付いた画像を選び、▼ボタンを押す

- グループ表示アイコン([]、[]、[])をタッチしても同じ操作ができます。

2 ◀/▶ ボタンを押して画像を送る

- もう一度▼ボタンを押す、または[]をタッチすると、通常の再生画面に戻ります。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)



画像を消去する

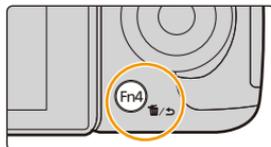
画像は一度消去すると元に戻すことができません。

- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像は、消去できません。

1 枚消去

- 1 再生状態で消去する画像を選び、[Fn/△] ボタンを押す

- [Fn] をタッチしても同じ操作ができます。



- 2 ▲ ボタンで [1 枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。



- 再生メニューの[消去確認画面]で、消去確認画面で[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます。お買い上げ時は [いいえ] が選ばれるように設定されています。(P207)
- [1 枚消去]を設定しているファンクションボタンを押すことで、直接 1 枚消去することができます。(P267)

複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

- 1 再生状態で [Fn/△] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで [複数消去] または [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [全画像消去] → 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。
- [全画像消去] 選択時、[お気に入り以外全消去] を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

- 3 ([複数消去] 選択時) ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に [Fn] が表示されます。もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。

- 4 ([複数消去] 選択時) ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと消去されます。



- 消去中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC10)(P293)を使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

再生メニューを使う

撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- [RAW現像]、[クリアタッチ]、[文字焼き込み]、[インターバル動画作成]、[コマ撮りアニメ作成]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをお勧めします。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

2D/3D切換

3D 画像の再生方法を切り換えることができます。

- 3D 再生が可能な場合のみ表示されるメニューです。詳しくは、[285](#) ページをお読みください。

スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、3D写真のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [再生] → [スライドショー]

2 ▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- [3D]の画像を3Dで再生する方法については、[285](#)ページをお読みください。
- [カテゴリ選択]時は、▲/▼/◀/▶ ボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。
カテゴリーの詳細については、[188](#)ページをお読みください。

3 ▲ ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



 続く

■ スライドショー中の操作

ボタン 操作	タッチ 操作	操作内容	ボタン 操作	タッチ 操作	操作内容
▲	▶/	再生 / 一時停止	▼	■	スライドショーを終了する
◀	◀◀	前の画像へ	▶	▶▶	次の画像へ
	—	音量下げる		+	音量上げる

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

【効果】

画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。

[おまかせ]、[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。
- [動画のみ]または[カテゴリー選択]の[]、[]、[]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- グループ画像のスライドショー時は、[効果]を設定していても無効になります。
- HDMIマイクロケーブルでテレビに表示するときや、縦向きに表示された画像を再生するとき、一部の[効果]は動作しません。

【設定】

再生間隔やリピートを設定できます。

再生間隔	[5 秒]、[3 秒]、[2 秒]、[1 秒]
リピート	[ON]、[OFF]
音設定	[AUTO]:写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声(動画のみ)を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
- 以下をスライドショー時、[再生間隔]の設定は無効になります。
 - － 動画
 - － グループ画像

再生モード

[通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ]、[3D]、[カテゴリ再生]または[お気に入り再生]を選び、再生することができます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [再生モード]

2 ▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [3D]の画像を3Dで再生する方法については、[285ページ](#)をお読みください。

上記手順2で[カテゴリ再生]選択時

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでカテゴリを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 分類されるカテゴリは以下のとおりです。

	- 個人認証※
	- 自動シーン判別の i人物 /i夜景&人物 /i赤ちゃん
	- 自動シーン判別の i風景 /i夕焼け
	- 自動シーン判別の i夜景&人物 /i夜景 /i手持ち夜景
	- 自動シーン判別の i料理
	- トラベル日付
	- 連写速度を [SH] で連続撮影した写真
	- インターバル撮影、インターバル動画作成
	- コマ撮りアニメ、コマ撮りアニメ作成

※ ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生したい人物を選び[MENU/SET] ボタンを押して再生してください。

グループ画像は、グループ全体が個人認証画像として扱われます。

- 撮影モードによっては動画の分類が写真と異なるため、再生されないことがあります。

位置情報記録

スマートフォン/タブレットから送信された位置情報(緯度・経度)を画像に書き込むことができます。

- 位置情報の送信と画像への書き込みは、スマートフォン/タブレットでの操作で行えます。(P221)
- お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」をインストールする必要があります。(P212)
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

準備: スマートフォン/タブレットから本機に位置情報を送信する

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [位置情報記録] → [位置情報データ付与]

2 ▲/▼ ボタンで位置情報を書き込む期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

■ 位置情報の書き込みを中断する

位置情報の書き込み中に [MENU/SET] ボタンを押す

- 中断した期間には [○] が表示されます。
- [○] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

■ 受信した位置情報を消去する

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [位置情報記録] → [位置情報データ消去]

2 ▲/▼ ボタンで位置情報を消去する期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 本機で撮影された画像にのみ、位置情報を書き込むことができます。

こんなときは使えません

- 位置情報の送信 (P221) 後に撮影した画像には、位置情報は書き込まれません。
- [記録方式] を [AVCHD] で撮影した動画には、位置情報は書き込まれません。
- カードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込めません。

RAW 現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真はJPEG形式で保存されます。効果を確認しながら調整して現像することができます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [RAW 現像]

2 ◀/▶ ボタンで RAW 画像を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。



ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[☑]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
露出補正	-1 EV ~ +1 EVの範囲で露出補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果([スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、[モノクローム]、[風景]、[人物])を選べます。
IDレンジコントロール	IDレンジコントロールの設定([強]、[中]、[弱]、[OFF])を選べます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]を選択している場合は、色調の調整になります)
色相 / フィルター効果	色相を調整できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]を選択している場合は、フィルター効果の選択になります)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定([強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF])を選べます。
シャープネス	解像感を調整できます。
設定	以下の設定ができます。 [調整前に戻す]: 撮影時の設定に戻すことができます。 [色空間]: 色空間を[sRGB]または[Adobe RGB]から選べます。 [記録画素数]: 保存時のJPEG画像のサイズ([L]、[M]、[S])を選べます。

4 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 項目により設定方法が異なります。詳しくは、191 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

5 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順3の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順3から5を繰り返してください。

6 ▲/▼ ボタンで [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

続く

■ 各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 (P113) ([ホワイトバランス]の[] 選択時のみ)
▼	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示 (P113) ([ホワイトバランス] 選択時のみ)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る

- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- 2回タッチすると拡大表示されます。拡大時に2回タッチすると元の表示に戻ります。

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



現在の設定

- 中央の写真をタッチすると拡大表示されます。[] をタッチすると元の表示に戻ります。

[設定] 選択時

項目を選ぶと、[調整前に戻る]、[色空間]、[記録画素数] の選択画面が表示されます。

- ▲/▼ ボタンで項目選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [調整前に戻る] を選択時、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行され、項目の選択画面に戻ります。
- ▲/▼ ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 設定が反映され、項目の選択画面に戻ります。

続く

- 本機で行うRAW現像の結果と、DVD(付属)のソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」で行うRAW現像の結果は完全には一致しません。
- 露出補正で設定できる範囲は、撮影時と異なります。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
- 撮影時に[デジタル赤目補正]が働いた場合、再生メニューの[RAW現像]では、補正が働いたJPEG形式の写真を書き出します。
- 複数の写真を同時にRAW現像することはできません。

こんなときは使えません

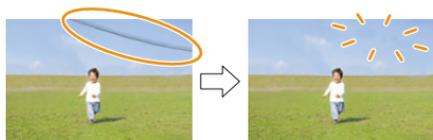
- AVケーブル(別売)やHDMIマイクロケーブル接続時、[RAW現像]は使えません。
- RAW現像できるのは本機で撮影したRAW画像のみです。他の機種で撮影された画像や、RAW形式以外の画像には[RAW現像]は使えません。



不要な部分を消去する(クリアタッチ)

撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。

- 消去操作はタッチでのみ行えます。[クリアタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [クリアタッチ]

2 ◀/▶ ボタンで写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 消去したい部分をなぞる

- 消去される部分に色が付きます。
- [1つ戻す]をタッチすると、色が付いた部分が1つ前の状態に戻ります。



🔦 細かい部分を消去するには(拡大表示)

- 1 [移動]をタッチする
 - 画面をピンチアウト/ピンチイン(P45)すると、拡大/縮小表示できます。
 - 後ダイヤルを回しても拡大/縮小できます。
 - 画面をドラッグする、またはカーソルボタンを押すと、拡大部分を移動することができます。
- 2 [消去]をタッチする
 - 消去したい部分を選ぶ操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分を選ぶことができます。



4 [決定]をタッチする

- プレビュー画面が表示されます。

5 [保存]をタッチする、または[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

- 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
- グループ画像は1枚ずつクリアタッチしてください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にクリアタッチを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

🚫 こんなときは使えません

- ファインダー表示時は使えません。
- 以下の画像はクリアタッチはできません。
 - 動画
 - クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
 - [画質設定]のサイズが[C4K]の動画で撮影した動画から作成した写真

タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み] (P195)で撮影画像に焼き込むことができます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [タイトル入力] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

- すでにタイトルが入力されている画像には が表示されます。

[1枚設定] 選択時

- ① / ボタンで画像を選ぶ
- ② [MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] 選択時

- ① / / / ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す(繰り返す)
 - もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。
- ② ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する



3 文字を入力する(P51)

- 設定後はメニューを終了してください。

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。

こんなときは使えません

- 以下の場合、タイトル入力できません。
 - 動画
 - クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。



1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [文字焼き込み] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に が表示されます。

[1枚設定] 選択時

- ボタンで画像を選ぶ
- [MENU/SET] ボタンを押す



[複数設定] 選択時

- ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
 - もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する



3 ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

続く

4 ▲/▼ ボタンで焼き込む項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼ ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

撮影日時	[日付]: 年月日を焼き込みます。 [日時]: 年月日時分を焼き込みます。 [OFF]
名前	[人] (個人認証): [個人認証]で登録された名前を焼き込みます。 [赤/犬] (赤ちゃん/ペット): [プロフィール設定]で登録された名前を焼き込みます。 [OFF]
旅行先	[ON]: [旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。 [OFF]
トラベル日付	[ON]: [トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。 [OFF]
タイトル	[ON]: [タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。 [OFF]

6 [⏪/⏩] ボタンを押す

7 ▲ ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなる場合があります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- グループ画像に文字焼き込みを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
 - 動画
 - 時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
 - [画質設定]のサイズが[C4K]の動画で撮影した動画から作成した写真

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。分割すると、元に戻すことができません。



1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [動画分割]

2 ◀/▶ ボタンで分割編集したい動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 分割したい位置で ▲ ボタンを押す

- 一時停止中に ◀/▶ ボタンを押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼ ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。



こんなときは使えません

- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

インターバル動画作成

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画はMP4の記録方式で保存されます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [インターバル動画作成]

2 ◀/▶ ボタンでインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 動画の作成方法を選び、動画化する

- インターバル撮影後に続けて動画化するのと同じ手順になります。
詳しくは 101 ページの手順 9 以降をお読みください。
作成した動画については、102 ページのお知らせもお読みください。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[インターバル動画作成]は使えません。
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時

コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画はMP4の記録方式で保存されます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [コマ撮りアニメ作成]

2 ◀/▶ ボタンでコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 動画の作成方法を選び、動画化する

- コマ撮りアニメの撮影後に続けて動画化するのと同じ手順になります。
詳しくは 105 ページの手順 11 以降をお読みください。
作成した動画については、105 ページのお知らせもお読みください。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[コマ撮りアニメ作成]は使えません。
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時

リサイズ(縮小) 画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。



1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [再生] → [リサイズ(縮小)] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定] 選択時

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。



[複数設定] 選択時

- 1 ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)
 - もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- 3 ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する
 - 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。



- [複数設定] で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。

こんなときは使えません

- 以下の画像はリサイズ(縮小)できません。
 - 動画
 - グループ画像
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像
 - [画質設定]のサイズが[C4K]の動画で撮影した動画から作成した写真

トリミング(切抜き) 画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。



1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [トリミング(切抜き)]

2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 後ダイヤルと ▲/▼/◀/▶ ボタンで切り抜く部分を選ぶ

後ダイヤル(右回し): 拡大

後ダイヤル(左回し): 縮小

▲/▼/◀/▶: 移動

- / をタッチしても拡大 / 縮小できます。
- 画面をドラッグしても移動できます。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- グループ画像は 1 枚ずつトリミング(切抜き)してください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にトリミング(切抜き)を行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

こんなときは使えません

- 以下の画像はトリミング(切抜き)できません。
 - 動画
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを [RAW] または [RAW] または [RAW] にして撮影された画像
 - [画質設定] のサイズが [C4K] の動画で撮影した動画から作成した写真

画像回転 / 縦位置自動回転

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

画像回転(画像を手動で回転する)

- [縦位置自動回転] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [画像回転]

2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

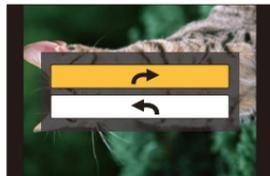
- グループ画像は回転できません。

3 ▲/▼ ボタンで回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[▶] : 時計回りに90° 回転します。

[◀] : 反時計回りに90° 回転します。

- 設定後はメニューを終了してください。



縦位置自動回転(画像を自動で回転して表示する)

メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [縦位置自動回転] → [ON]

- [OFF] に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

こんなときは使えません

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです]
- 複数消去など設定時のマルチ再生画面では、縦位置自動回転されない場合があります。

お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくこと、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([お気に入り以外全消去])

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [お気に入り] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

[1枚設定] 選択時

- ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。



[複数設定] 選択時

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する (繰り返す)
- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。



■ [お気に入り] 設定を全解除する

メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [お気に入り] → [全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。
 - [再生モード]を設定中は、[全解除] を選択できません。
- 999枚まで設定できます。
- グループ内の画像に[お気に入り]設定すると、先頭画像のお気に入りアイコンに設定枚数が表示されます。

こんなときは使えません

- [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。グループ画像に[プリント設定]を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [プリント設定] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

[1枚設定] 選択時

◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] 選択時

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲/▼ ボタンでプリント枚数を設定し、

[MENU/SET] ボタンで決定する

- [複数設定] 選択時は、手順 **2, 3** を繰り返してください。(一括設定することはできません)
- グループ画像に対して [プリント設定] を行ったとき、合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

続く

■ [プリント設定]を全解除する

メニューを設定する(P49)

MENU ボタン →  [再生] → [プリント設定] → [全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、▶ ボタンを押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- グループ内の画像に[プリント設定]すると、先頭画像のプリント設定アイコンに設定枚数と合計枚数が表示されます。

こんなときは使えません

- 以下の画像はプリント設定できません。
 - 動画
 - クオリティを[RAW]にして撮影された画像
 - DCF規格に準拠していないファイル

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [プロテクト] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ

[1枚設定] 選択時

- ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[複数設定] 選択時

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。



■ [プロテクト] 設定を全解除する

メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [プロテクト] → [全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。



画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

- [プロテクト] 設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- グループ内の画像に [プロテクト] 設定すると、先頭画像のプロテクトアイコンに設定枚数が表示されます。

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [認証情報編集] → [入換え] または [解除]

- 2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ◀/▶ ボタンで人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ([入換え] 選択時) ▲/▼/◀/▶ ボタンで入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生] の個人認証に分類されません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。(1枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は1枚目の画像のみ編集できます。

画像表示順

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → [再生] → [画像表示順]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

ファイル名	フォルダ名 / ファイル名の順番で表示します。カード内での画像の位置がわかりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 設定後はメニューを終了してください。

- 別のカードを入れたときなどでは、[撮影日時] の順で表示できない場合があります。しばらくすると、[撮影日時] の順で表示されます。

消去確認画面

画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。



1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン → □ [再生] → [消去確認画面]

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

「はい」がはじめ	最初に[はい]が選ばれるため、素早く消去操作を行えます。
「いいえ」がはじめ	最初に[いいえ]が選ばれます。誤って画像を消去するのを防ぎます。

- 設定後はメニューを終了してください。

Wi-Fi[®] 機能 / NFC 機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID^{*}) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

* SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■ ご使用の前に

- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。

■ 本機はNFCに対応しています

NFC (Near Field Communication : 近距離無線通信) 機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間で Wi-Fi 接続に必要な情報を簡単に受け渡すことができます。



対応機種について

本機能は、Android (OS バージョン 2.3.3 以上) で、おサイフケータイ[®] FeliCa、または NFC に対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ[®]機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。
- NFC対応スマートフォン/タブレットには、[N]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォン/タブレットの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- おサイフケータイ[®]Felicaでご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。

■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



Wi-Fi接続ランプ

青色点灯: Wi-Fi接続の待機中
青色点滅: Wi-Fi接続の送受信中

■ [Wi-Fi] ボタンについて

[Wi-Fi]/[Fn1] ボタンは、[Wi-Fi]と[Fn1] (ファンクション1) の2とおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[Wi-Fi]が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは [265ページ](#)をお読みください。



Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを長めに押す (スマートフォン/タブレットと接続時)

- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID、パスワード) が表示されます。 ([P213](#))



Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを押す

- 以下の項目を選択できます。

新規に接続

履歴から接続する ([P247](#))

お気に入りから接続する ([P247](#))

- 本書では [新規に接続] を選んだ場合の手順で説明します。

Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押すと

- 以下の項目を選択できます。

接続を終わる	Wi-Fi接続を終了します。
接続先を変える	Wi-Fi接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。
画像の送信設定を変える*	詳しくは 250 ページをお読みください。
今の接続先をお気に入りに入れる	現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続することができます。
ネットワークアドレス表示	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。

- * [スマートフォンとつないで使う]、[TVで見る]または[カメラ内の画像を選んで送る]の送信先が[プリンター]の場合は、表示されません。

→ 続く

■ 操作の記載方法について

手順で「**履歴から接続する**」を選ぶなどと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。

ボタン操作： カウンシルボタンで[履歴から接続する]を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作： [履歴から接続する] をタッチする



- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11gまたは IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかつたり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。
- **通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。**
- 通信中にモニターの表示が一瞬乱れることがありますが、送信される画像に影響はありません。
- [撮影時HDMI出力]の[出力ビット数]を[4:2:2 10bit]に設定し、撮影時にHDMI出力中は、Wi-Fi機能は使えません。

Wi-Fi 機能でできること

スマートフォンとつないで使う (P212)

スマートフォンで撮影する (P218)

カメラの画像を再生する (P219)

カメラの画像を保存する (P219)

画像を SNS へ送信する (P221)

位置情報をカメラの画像に書き込む (P221)



かんたん接続、かんたん転送

[Wi-Fi] ボタンを長めに押ししたり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に使えます。



または



テレビに写真を映す (P226)

ワイヤレスでプリントする (P227)

AV 機器に画像を送る (P228)

写真や動画を家の中にある AV 機器 (宅内 AV 機器) に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器 (宅外 AV 機器) にも、LUMIX CLUB (PicMate) を経由することで送れます。

パソコンに画像を送る (P230)

Web サービスを利用する (P233)

LUMIX CLUB (PicMate) を経由することで、写真や動画を SNS などに送れます。クラウド同期サービスを利用すると、パソコンやスマートフォンで写真や動画を受信できます。

以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と記載します。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

スマートフォンを使って、カメラで撮影したり、画像を保存したりできます。

お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。



スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

●対応 OS (2014年3月現在)

Android™: Android 2.3.3 以上※

iOS: iOS 5.0 以上

※ [Wi-Fi Direct] で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™に対応している必要があります。

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App StoreSM」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」 を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。
- 以降の画面・手順は本機の発売時でのバージョンになります。バージョンアップにより、画面・手順が変更される場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「Image App」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットと接続する

[Wi-Fi] ボタンを長めに押ししたり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。

準備:

- [Image App] をインストールしておく (P212)

1 カメラの [Wi-Fi] ボタンを長めに押す

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID、パスワード) が表示されます。
- カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試しください。
- 接続方法を切り換えたい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続方法を選んでください。(P216)
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。



Wi-Fi ボタン → [新規に接続する] →
[スマートフォンとつないで使う]

2 スマートフォンを操作する

- 接続が完了すると、スマートフォンの画面に本機の画像が表示されます。
(操作後、接続が完了するまでにしばらくかかる場合があります)
- お使いのスマートフォンによって接続方法が異なります。



SSID、
QR コード
パスワード

iOS 端末をお使いの場合

QR コードを読み取って接続する場合

(再接続する場合は手順 ① ~ ⑤ は不要です)

- ① [Image App] (P212) を起動する



- ② [QR コード] を選び、[OK] を選ぶ
- ③ 本機の画面に表示されている QR コードを [Image App] で読み取る
 - カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試しください。



→ 続く

- ④ 「IMAGE APP」のプロファイルをインストールする
[インストール]※を選び、[インストール]※→
[完了]※を選んでください。
 - ブラウザにメッセージが表示されます。
 - スマートフォンのロック解除のパスコードを設定されている場合は、パスコードの入力が必要です。
- ⑤ ホームボタンを押してブラウザを終了する
- ⑥ [設定]※の[Wi-Fi]を選ぶ



- ⑦ [Wi-Fi]をオンにして、本機の画面に表示されているSSIDを選ぶ



- ⑧ ホームに戻り、「Image App」(P212)を起動する
- ※ お使いの言語設定によって表示が異なります。

SSID とパスワードで接続する場合

- ① [設定]※の[Wi-Fi]を選ぶ
- ② [Wi-Fi]をオンにして、本機の画面に表示されているSSIDを選ぶ



- ③ 本機の画面に表示されているパスワードを入力する
(初回接続時のみ)
 - ④ 「Image App」(P212)を起動する
- ※ お使いの言語設定によって表示が異なります。

→ 続く

Android 端末をお使いの場合

QR コードを読み取って接続する場合

- 1 「Image App」(P212) を起動する



- 2 [QRコード] を選ぶ
- 3 本機の画面に表示されている QR コードを「Image App」で読み取る
 - カメラの[MENU/SET] ボタンを押すと、QRコードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試しいください。



SSID とパスワードで接続する場合

- 1 「Image App」(P212) を起動する
- 2 [Wi-Fi] を選ぶ
- 3 本機の画面に表示されている SSID を選ぶ



- 4 本機の画面に表示されているパスワードを入力する (初回接続時のみ)
 - パスワードを表示する項目にチェックを入れると、入力中のパスワードを確認できます。

→ 続く

■ 接続方法を変える

接続方法を切り換えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。



[ネットワーク経路]で接続する場合

カメラ側

1 [ネットワーク経路]を選ぶ

- 244 ページの接続方法に従って、本機を無線アクセスポイントに接続してください。

スマートフォン側

- 2 Wi-Fi機能をONにする
- 3 本機を接続した無線アクセスポイントに接続する
- 4 「Image App」を起動する(P212)

[直接接続]の[WPS 接続]※で接続する場合

カメラ側

1 [直接接続]を選ぶ

- 246 ページの接続方法に従って、本機をスマートフォンに接続してください。

スマートフォン側

2 「Image App」を起動する(P212)

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォンが対応しているかどうかは、スマートフォンの説明書をご覧ください。

■ 接続を終了する

使用後はスマートフォンとの接続を終了してください。

- 1 カメラの [Wi-Fi] ボタンを押す(P209)
- 2 スマートフォンで「Image App」を終了する

(iOS 端末をお使いの場合)

「Image App」の画面でホームボタンを押してアプリを終了する

(Android 端末をお使いの場合)

「Image App」の画面で戻るボタンを2回押してアプリを終了する

NFC機能を使って、スマートフォン/タブレットと接続する

NFC(Near Field Communication:近距離無線通信)機能を使用して、本機とスマートフォンとの間でWi-Fi接続に必要な情報を簡単に受け渡すことができます。

■ 対応機種について

本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)で、おサイフケータイ[®]、FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ[®]機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。

準備:

(カメラ側)

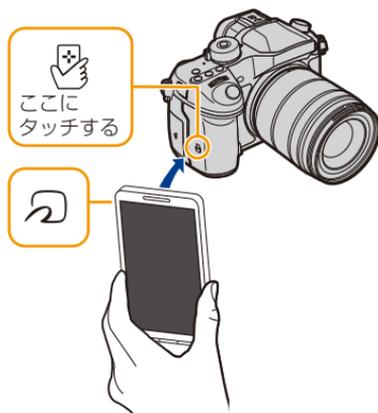
- [NFC動作]を[ON]にする(P252)

(スマートフォン側)

- スマートフォンが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi機能をONにする
- 「Image App」をインストールしておく(P212)

- 1 スマートフォンで「Image App」を起動する
- 2 スマートフォンの画面にが表示されている状態で、カメラのにスマートフォンのをタッチする
- 3 カメラに接続確認画面が表示されたら[はい]を選ぶ
- 4 もう一度、カメラのにスマートフォンのをタッチする

- 手順 3、4 は2回目以降は不要です。
- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続が完了すると、スマートフォンの画面に本機の映像が表示されます。
- 接続されたスマートフォンは本機に登録されます。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 1 の画面を表示してください。
- 1枚再生時に接続すると、スマートフォンに画像が転送されます。(P220)



→ 続く

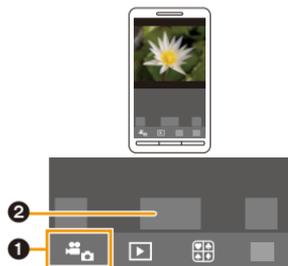
- 最大20件までスマートフォンを登録できます。20件を超えた場合は、最も古くタッチされた順に登録を消去します。
- [Wi-Fi設定リセット]を行うとスマートフォンの登録は消去されます。
- おサイフケータイ®Felicaをご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。
- すぐに反応しないときは、位置を少しずらしてください。
- スマートフォンを本機に強く当てないでください。
- NFC対応スマートフォンには、[🔗]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォンの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- 本機とスマートフォンとの間に金属物があると、読み取れない場合があります。また、[🔗]マーク付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性があります。
- 以下の場合 NFC機能は使えません。
 - パソコンまたはプリンター接続時
 - 動画撮影時
 - インターバル撮影時

スマートフォン/タブレットで撮影する (リモート撮影)

- 1 スマートフォンと接続する(P213)
- 2 スマートフォンを操作する

- ① [📷]を選ぶ
- ② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

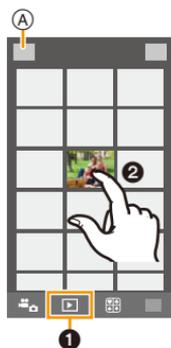


カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する(P213)

2 スマートフォンを操作する

- ① [▶]を選ぶ
 - 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。
- ② 画像をタッチして拡大する



カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する(P213)

2 スマートフォンを操作する

- ① [▶]を選ぶ
 - 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。
- ② 画像を長めにタッチし、ドラッグして保存する

- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てるができます。
- RAW形式の写真、[AVCHD]、[MP4] ([画質設定]のサイズが[4K]の動画で撮影した動画のみ)、[MP4 (LPCM)]、[MOV]の動画は保存できません。
- 3D 写真(MPO 形式)は、2D 写真(JPEG 形式)で保存されます。



カメラの画像を簡単に転送する

スマートフォンを本機にタッチすることで、NFC 機能を使って Wi-Fi 接続ができ、表示中の画像を簡単に転送することができます。撮ったその場で画像を転送できるので、ご家族やご友人のスマートフォン[※]にも簡単に転送できます。

※ご利用には、「Image App」をインストールする必要があります。

準備:

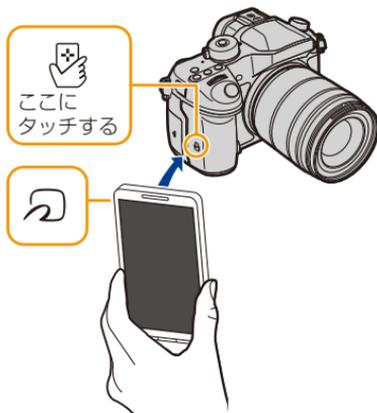
(カメラ側)

- [NFC 動作] を [ON] にする (P252)
- [タッチシェアリング] を [ON] にする (P252)

(スマートフォン側)

- スマートフォンが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi 機能を ON にする
- 「Image App」をインストールしておく (P212)

- 1 カメラで画像を再生する
- 2 スマートフォンで「Image App」を起動する
- 3 「Image App」の接続画面に [📷] が表示されている状態で、カメラの [📷] にスマートフォンの [🔄] をタッチする
 - 接続完了までに時間がかかる場合があります。
 - タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 2 の画面を表示してください。
 - 複数の画像を転送する場合は、手順 1、3 を繰り返してください。(一括で転送することはできません)



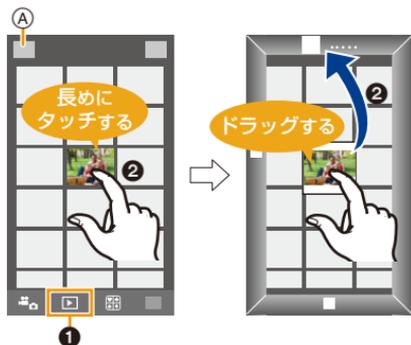
- 使用環境によっては、画像の転送完了までに数分かかる場合があります。

カメラの画像を SNS へ送信する

- 1 スマートフォンと接続する (P213)
- 2 スマートフォンを操作する

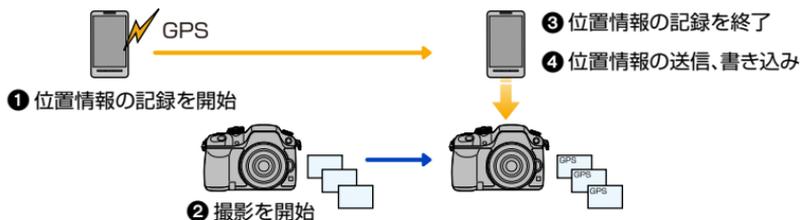
- 1 [] を選ぶ
 - 画面左上のアイコン(Ⓐ)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。
- 2 画像を長めにタッチし、ドラッグして SNS などに送信する
 - SNS などの Web サービスに画像が送信されます。

- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。



スマートフォン/タブレットから、カメラの画像に位置情報を追加する

スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。送信後にカメラの画像に書き込むこともできます。



- 撮影時と異なる位置情報が書き込まれるおそれがあります。以下についてご注意ください。
 - カメラの [ワールドタイム] の [ホーム] の設定をお住まいの地域に設定してください。
 - スマートフォンで位置情報の記録開始後、カメラの [ワールドタイム] の [ホーム] の設定を変更しないでください。
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込みません。

→ 続く

■ 位置情報の記録を開始

スマートフォンを操作する

- 1 []を選ぶ
- 2 [ジオタギング]を選ぶ
- 3 []を選ぶ



■ 位置情報の記録を終了

スマートフォンを操作する

- 1 []を選ぶ
- 2 [ジオタギング]を選ぶ
- 3 []を選ぶ



■ 位置情報の送信、書き込み

1 スマートフォンと接続する(P213)

2 スマートフォンを操作する

- 1 []を選ぶ
- 2 [ジオタギング]を選ぶ
- 3 []を選ぶ



- 画面のメッセージに従って、操作してください。
- [記録方式]を[AVCHD]で撮影した動画には、位置情報は書き込まれません。
- カメラのカードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
- 送信した位置情報の画像への書き込みは、再生メニューの[位置情報記録]でもできます。

●使用上のお願い:

本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

- スマートフォンで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。詳しくは「Image App」のメニューの中のヘルプをお読みください。
- (iOS向けの「Image App」をお使いの場合)
位置情報を記録中にスマートフォンのホームボタンまたはオン/オフボタンを押すと、位置情報の記録が中止されます。

こんなときは使えません

- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近で、スマートフォンの位置情報取得機能が働かない場合があります。(2014年3月現在)

カメラを操作してスマートフォン/タブレットに画像を送る



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	MP4 (LPCM)	MOV	3D
撮るたびに画像を送る(〔撮影中に画像を送る〕)	○	×	×	×	×	×	×
画像を選んで送る(〔カメラ内の画像を送る〕)	○	×	○*	×	×	×	×

※ [画質設定]のサイズが[4K]の動画で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[249](#) ページをお読みください。

準備:

- 「Image App」をインストールしておく([P212](#))

撮るたびに画像を送る(〔撮影中に画像を送る〕)  [P224](#)

画像を選んで送る(〔カメラ内の画像を送る〕)  [P225](#)

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[スマートフォン]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P243)

スマートフォン側

[ネットワーク経由]で接続する場合

- 1 Wi-Fi機能をONにする
- 2 無線アクセスポイントを選び、設定する
- 3 「Image App」を起動する(P212)

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS 接続]で接続する場合

- 1 「Image App」を起動する(P212)

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

- 1 Wi-Fi機能をONにする
- 2 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- 3 「Image App」を起動する(P212)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。(P250)

4 写真を撮る

- 撮影後、自動的に写真が送信されます。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P209)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[スマートフォン]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P243)

スマートフォン側

[ネットワーク経由]で接続する場合

- ① Wi-Fi機能をONにする
- ② 無線アクセスポイントを選び、設定する
- ③ 「Image App」を起動する(P212)

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS 接続]で接続する場合

- ① 「Image App」を起動する(P212)

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

- ① Wi-Fi機能をONにする
- ② 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- ③ 「Image App」を起動する(P212)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。(P250)

4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P209)

[1枚選択]選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [決定]を選ぶ

[複数選択]選択時

- ① 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ② [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



テレビに写真を映す

DLNA規格のデジタルメディアレンダラー(DMR)機能に対応したテレビに写真を表示することができます。

- Wi-Fi機能を使って表示する場合は、4Kの出力解像度で出力できません。4Kの出力解像度で出力したい場合は、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続してください。(P271)



準備:

テレビを DLNA 待ち受けモードにする

- お使いのテレビの説明書をお読みください。

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[TVで見る]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P243)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。

4 本機で撮影または写真を再生する

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P209)

●本機との接続中に、一時的に接続前の状態に戻ることがありますが、撮影もしくは再生を行うと再びテレビに写真が表示されます。

- スライドショー再生時、[効果]と[音設定]を設定していても無効になります。

こんなときは使えません

- 動画は再生できません。
- マルチ再生、カレンダー再生中に本機に表示されている画像はテレビに表示されません。

ワイヤレスでプリントする

対応したプリンターに写真を送り、ワイヤレスでプリントすることができます。



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	MP4 (LPCM)	MOV	3D
画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])	○	×	×	×	×	×	×

- お使いの機器によっては、送信できない場合があります。
- 画像の送信方法について詳しくは、[249](#) ページをお読みください。

準備:

- 撮影した写真をワイヤレスでPictBridge (ワイヤレスLAN) * 対応のプリンターから印刷することができます。
※ DPS over IP 規格準拠
PictBridge (ワイヤレスLAN) 対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [プリンター]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P243)

3 接続したいプリンターを選ぶ

4 画像を選んでプリントする

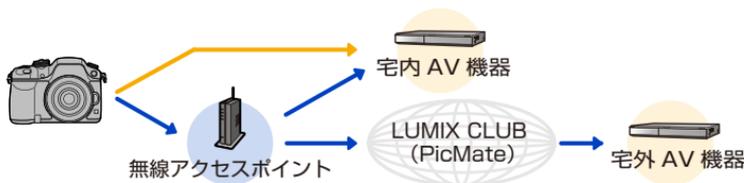
- 画像の選び方は USB ケーブルで接続時と同じになります。詳しくは [281](#) ページをお読みください。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P209)

こんなときは使えません

- 動画はプリントできません。

AV機器に画像を送る

写真や動画を家の中にあるDLNAに対応したレコーダーなどのAV機器(宅内AV機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人のAV機器(宅外AV機器)にも、LUMIX CLUB (PicMate)を経由することで送れます。



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	MP4 (LPCM)	MOV	3D
撮るたびに画像を送る(〔撮影中に画像を送る〕)	○	×	×	×	×	×	○
画像を選んで送る(〔カメラ内の画像を送る〕)	○	×	×	×	×	×	○

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[249](#) ページをお読みください。

準備:

[宅内AV機器]に画像を送る場合、お使いの機器をDLNA待ち受けモードにする

- お使いの機器の説明書をお読みください。

[宅外AV機器]に画像を送る場合、以下が必要になります。

- LUMIX CLUB (PicMate)への登録([P238](#))
- 送信先の宅外AV機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号([P242](#))

撮るたびに画像を送る(〔撮影中に画像を送る〕)

[P229](#)

画像を選んで送る(〔カメラ内の画像を送る〕)

[P229](#)

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] → [AV 機器]

2 [宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ

3 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する (P243)

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

4 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P250)

5 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P209)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [AV 機器]

2 [宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ

3 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する (P243)

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

4 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P250)

5 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P209)

[1枚選択] 選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [決定]を選ぶ

[複数選択] 選択時

- ① 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
 - ② [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。



■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD ※	MP4 (LPCM)	MOV	3D
撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])	○	○	×	×	×	×	○
画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])	○	○	○	○	○	○	○

※ [AVCHD] で撮影された動画を送信することができるのは、ファイルサイズが4 GBまでです。4 GBを超える場合、送信できません。

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[249](#) ページをお読みください。

準備:

(カメラ側)

- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する必要があります。[\(P251\)](#)

(パソコン側)

- パソコンの電源を入れておく。
- パソコンに画像を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。[\(P231\)](#)

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

[P231](#)

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

[P232](#)

画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント(アカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内))は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用する場合

1 PHOTOfunSTUDIO をインストールする

- 動作環境やインストールについて、詳しくは [275](#) ページの「付属のソフトウェアを使う」をお読みください。

2 PHOTOfunSTUDIO で受信するフォルダーを作成する

- 受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIO の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用しない場合

(Windows をお使いの場合)

対応 OS: Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1
例) Windows 7

1 受信するフォルダーを選択し、右クリックする

2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

(Mac をお使いの場合)

対応 OS: OS X v10.5 ~ v10.9
例) OS X v10.8

1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする

「ファイル」→「情報を見る」

2 フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

撮るたびに画像を送る(「撮影中に画像を送る」)

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[PC]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P243)

3 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、「マニュアル入力」を選び、パソコンのコンピュータ名(Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名)を入力してください。

4 送信するフォルダーを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには、[DISP.]ボタンを押してください。(P250)

5 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P209)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン→**[新規に接続する]**→**[カメラ内の画像を送る]**→**[PC]**

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する (P243)

3 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピュータ名(Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS名)を入力してください。

4 送信するフォルダーを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P250)

5 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P209)

[1枚選択]選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [決定]を選ぶ

[複数選択]選択時

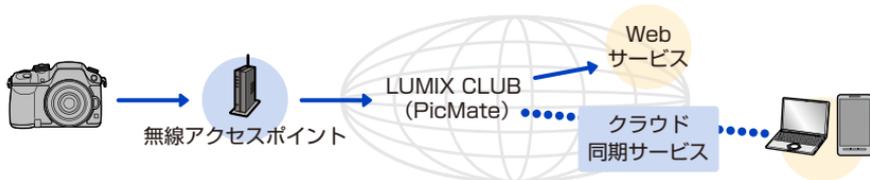
- ① 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ② [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
 - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



- 設定されたフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名(Apple社製Macパソコンの場合は NetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名(Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS名)に変更することをお勧めします。

Webサービスを利用する

LUMIX CLUB (PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信することができます。



準備:

Webサービス、またはクラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録(P238)が必要です。

LUMIX CLUB (PicMate)以外のWebサービスに画像を送信するには、そのWebサービスを登録しておく必要があります。(P234)

Webサービスに画像を送る

 P234

クラウド同期サービスに画像を送る

 P236

Webサービスに画像を送る

■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	MP4 (LPCM)	MOV	3D
撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])	○	×	×	×	×	×	○
画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])	○	×	○*	×	×	×	○

※ [画質設定]のサイズが[4K]の動画で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先の Web サービスをご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[249](#) ページをお読みください。

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])  [P235](#)

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])  [P235](#)

- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去したりすることはできません。スマートフォンやパソコンで Web サービスにアクセスして、画像を確認してください。
- 画像の送信に失敗すると、LUMIX CLUB (PicMate) に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。
- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

- Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外の Web サービスへ画像を送信する場合は、利用する Web サービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」で登録しておくことが必要です。([P238](#))

- 対応する Web サービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。
http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備：利用する Web サービスにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

- 1 スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトへアクセスする
<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>
- 2 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDとパスワードを入力し、ログインする ([P238](#))
- 3 メールアドレスを登録する
- 4 利用する Web サービスを選び、登録する
 - 画面の指示に従って、登録の操作をしてください。

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[Web サービス]

2 [ネットワーク経由]を選び、接続する (P243)

3 接続したいサービスを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P250)

4 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P209)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[Web サービス]

2 [ネットワーク経由]を選び、接続する (P243)

3 接続したいサービスを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P250)

4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P209)

[1枚選択] 選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [決定]を選ぶ



[複数選択] 選択時

- ① 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
 - ② [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



クラウド同期サービスに画像を送る

■ [クラウド同期サービス]を利用するには(2014年3月現在)

準備:

クラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録(P238)とクラウド同期設定が必要です。

クラウド同期設定は、パソコンの場合はPHOTOfunSTUDIOで、スマートフォン/タブレットの場合は「Image App」で設定してください。

- 画像の送信先を[クラウド同期サービス]に設定した場合、送信された画像はクラウドフォルダに一時保存され、パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期させることができます。
- クラウドフォルダに送信された画像は30日間(最大1000枚まで)保存されます。送信後30日を超えた画像は、自動的に消去されます。また、送信後30日以内でも1000枚を超えた場合は、[クラウド上限枚数動作](P250)の設定により画像が消去される場合があります。
- クラウドフォルダに送信された画像が指定した機器すべてにダウンロードされると、送信後30日以内の画像でもクラウドフォルダから消去される場合があります。

■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	MP4 (LPCM)	MOV	3D
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	○	×	×	×	×	×	○
画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])	○	×	○*	×	×	×	○

※ [画質設定]のサイズが[4K]の動画で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、249ページをお読みください。

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])

 P237

画像を選んで送る([カメラ内の画像を送る])

 P237

撮るたびに画像を送る ([撮影中に画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[クラウド同期サービス]

2 [ネットワーク経由]を選び、接続する (P243)

3 送信設定を確認する

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P250)

4 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P209)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

画像を選んで送る ([カメラ内の画像を送る])

1 メニューを設定する

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[クラウド同期サービス]

2 [ネットワーク経由]を選び、接続する (P243)

3 送信設定を確認する

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P250)

4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P209)

[1枚選択]選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [決定]を選ぶ

[複数選択]選択時

- ① 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
 - ② [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



LUMIX CLUB (PicMate) への登録

LUMIX CLUB (PicMate) を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録(無料)をして、ログインIDを取得します。「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録すると、画像をお使いの機器間で同期したり、Web サービスに画像を転送するなど、画像の整理・共有・公開ができます。

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWeb サービスや宅外のAV機器に画像を転送する際にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して利用します。

- すでにパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDを取得済みの場合は、取得済みのログインIDを本機に入力して同じログインIDを使用することができます。
- 本機とスマートフォンのLUMIX CLUB (PicMate)のログインIDを合わせることができます。(P240)

■ 「LUMIX CLUB (PicMate)」について

デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

また、本機との連携サービスを利用する場合は、下記のページにアクセスしてください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>

本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

新規でログインIDを取得する(「新規登録」)

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → **⌂** [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [ログイン・新規登録] を選ぶ



3 [新規登録] を選ぶ

- ネットワークに接続します。[次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。
- すでに本機でログインIDが取得されている場合は確認画面が表示されます。取得し直すときは[はい]を、取得し直さないときは[いいえ]を選んでください。

4 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する

- 詳しくは、244 ページをお読みください。
- 初回接続時のみ設定画面が表示されます。一度設定した接続方法は、本機に保存され、次回接続時に利用されます。接続する無線アクセスポイントを変更したい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続先を変更してください。
- [次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。

5 LUMIX CLUB (PicMate)の利用規約を読み、[同意する]を選ぶ

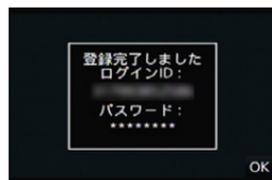
- ▲/▼ ボタンでページを切り換えることができます。
- 後ダイヤルを右側に回すと、拡大表示(2倍)することができます。
- 拡大したあと後ダイヤルを左側に回すと、元の大きさ(1倍)に戻ります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンで拡大部分の位置を移動させることができます。
- [⏪/⏩] ボタンを押すと、サービスユーザー登録せずに中止することができます。

6 パスワードを入力する

- 英数字交じり 8~16桁で任意のパスワードを入力してください。
- 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。

7 ログインIDを確認し、[OK]を選ぶ

- ログインID(数字12桁)は自動的に表示されます。
パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインする場合は、数字のみを入力してください。
- 接続が完了するとメッセージが表示されます。
[OK]を選んでください。
- ログインIDとパスワードは必ず控えを取っておいてください。
- 設定後はメニューを終了してください。



取得済みのログインIDを使う/ログインIDやパスワードを確認したり変更する([ログインID 設定])

準備: 取得済みのログインIDを使う場合、IDとパスワードを確認しておく。

パスワードを変更する場合、スマートフォンまたはパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更しておく。

- 本機では、LUMIX CLUB (PicMate)に登録されているログインIDやパスワードの変更はできません。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [ログイン・新規登録]を選ぶ

3 [ログインID 設定]を選ぶ

- ログインID とパスワードが表示されます。
- パスワードは「★」で表示されます。
- ログインIDの確認のみをする場合は、メニューを終了してください。

4 変更したい項目を選ぶ

5 ログインIDまたはパスワードを入力する

- 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- パスワードはスマートフォンまたはパソコンで変更したものを入力してください。異なるパスワードを入力すると、画像をアップロードすることができなくなります。
- 設定後はメニューを終了してください。



本機とスマートフォン/タブレットのログイン ID を合わせる

- 本機とスマートフォン/タブレットのログインIDを合わせておくと、本機の画像を他の機器やWebサービスに送信するときに便利です。

本機またはスマートフォン/タブレットのどちらか一方がログインIDを取得している場合

- 1 本機とスマートフォンを接続する(P213)
- 2 「Image App」のメニューからログイン ID を合わせる
 - 本機とスマートフォンのログイン ID が同じログイン ID になります。
 - 本機とスマートフォンの接続後、再生画面に切り換えたときにログイン ID を合わせる画面が表示される場合があります。画面に従って操作してログイン ID を合わせることもできます。
 - [Wi-Fi Direct]で接続時は使用できません。

本機とスマートフォン/タブレットがそれぞれ別のログイン ID を取得している場合

(スマートフォンのログイン ID に合わせる場合)

本機のログインID とパスワードを、スマートフォンで取得したログイン ID とパスワードに変更する

(本機のログイン ID に合わせる場合)

スマートフォンのログイン ID とパスワードを、本機で取得したログイン ID とパスワードに変更する

「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合などに内容を確認することができます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [利用規約確認]を選ぶ

- ネットワークに接続し、利用規約が表示されます。確認後はメニューを終了してください。

ログインIDの消去と「LUMIX CLUB (PicMate)」を退会する

本機を譲渡/廃棄などする場合に、本機のログインIDを消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。

1 メニューを設定する (P49)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [消去・退会] を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

3 ログインID消去の確認画面で [はい] を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

4 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で [はい] を選ぶ

- 退会をしない場合は、[いいえ] を選ぶとログインIDの消去のみが実行されます。実行後はメニューを終了してください。

5 [次へ] を選ぶ

- ログインIDの消去が実行され、退会完了のメッセージが表示されます。[OK] を選んでください。
- 実行後はメニューを終了してください。

• ログインIDの変更などは、本機で取得したログインIDに対してのみ行えます。

宅外 AV 機器を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、親戚や知人が所有しているAV機器に画像を送ることができます。

準備:

送信先のAV機器から「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録をして、発行されたアドレス番号(数字16桁)とアクセス番号(数字4桁)を確認しておく。(詳しくは、AV機器の説明書をお読みください)

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → ⏪ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外AV機器設定]

2 [追加登録]を選ぶ

3 アドレス番号を入力する

4 アクセス番号を入力する

5 任意の名前を入力する

- 入力できる文字数は最大28文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。
- 設定後はメニューを終了してください。

• 文字の入力方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。

登録したAV機器の情報を変更または消去する

すでに登録しているAV機器の情報を変更または消去することができます。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → ⏪ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外AV機器設定]

2 編集または消去したいAV機器を選ぶ

3 [編集]または[消去]を選ぶ

編集	すでに登録しているAV機器の情報を変更します。 「宅外 AV 機器を設定する」の手順3～5を行う
消去	すでに登録しているAV機器の情報を消去します。 • 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

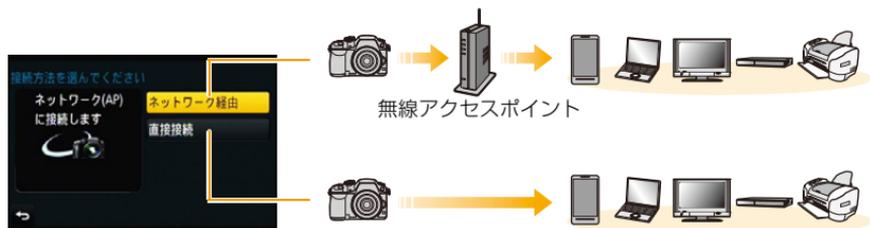
- 設定後はメニューを終了してください。

接続について

Wi-Fi 機能や送信先を選択後、接続する方法を選びます。

無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合などでは、直接接続を行うと便利です。

以前と同じ設定で接続する場合、[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]で接続すると、素早く Wi-Fi 機能が使えます。



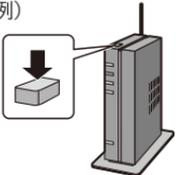
ネットワーク経由	無線アクセスポイントを経由して接続します。	P244
直接接続	お使いの機器が本機に直接接続します。	P246

自宅で接続する (ネットワーク経由)

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。



<p>WPS (プッシュボタン)</p>	<p>WPSマークがあり、プッシュボタン方式のWi-Fi Protected Setup™対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <p>無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 <p>(例)</p> 
<p>WPS (PINコード)</p>	<p>WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 接続する無線アクセスポイントを選ぶ 本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する [MENU/SET] ボタンを押す <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。
<p>一覧から選ぶ</p>	<p>WPS に対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは 245 ページをお読みください。

WPS に対応しているかわからない場合 ([一覧から選ぶ] で接続する)

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力] で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ

- [DISP.] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力] で接続する場合」をお読みください。



2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。

■ [マニュアル入力] で接続する場合

1 「WPS に対応しているかわからない場合 ([一覧から選ぶ] で接続する)」の手順 1 の画面で、[マニュアル入力] を選ぶ

2 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して [決定] を選ぶ

- 文字の入力方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。

3 ネットワークの認証方式を選ぶ

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

4 暗号化方式を選ぶ

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
WPA2-PSK	[TKIP]/[AES]
WPA-PSK	[TKIP]/[AES]
共通キー	[WEP]
オープン	[暗号化なし]/[WEP]

5 ([暗号化なし] 以外選択時)暗号化キーを入力する

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P302)、「Q&A 故障かな? と思ったら」(P326)をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

外出先で接続する (直接接続)

お使いの機器との接続方法を選択できます。
お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。



Wi-Fi Direct	<ol style="list-style-type: none"> 1 機器を Wi-Fi Direct™ モードにする 2 [Wi-Fi Direct] を選ぶ 3 接続する機器を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> • 詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
WPS 接続	<p>[WPS (プッシュボタン)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [WPS (プッシュボタン)] を選ぶ 2 機器を WPS モードにする <ul style="list-style-type: none"> • 本機の [DISP.] ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	<p>[WPS (PIN コード)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [WPS (PIN コード)] を選ぶ 2 機器の PIN コードを本機に入力する
手動接続	<p>機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードを機器に入力する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続先が[スマートフォン]の場合は、スマートフォンでQRコードを読み取って接続することもできます。(P213, 215) • カメラの[MENU/SET]ボタンを押すと、QRコードが拡大表示されます。読み取りにくい場合は、拡大表示でお試してください。



以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する]/[お気に入りから接続する])

Wi-Fi 機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気に入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

1 [Wi-Fi] ボタンを押す



2 [履歴から接続する] または [お気に入りから接続する] を選ぶ

履歴から接続する	以前と同じ設定で接続します。
お気に入りから接続する	お気に入りに登録された設定で接続します。



3 接続したい項目を選ぶ



履歴をお気に入りに登録する

- 1 [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 [履歴から接続する] を選ぶ
- 3 登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す
- 4 登録名を入力する

- 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

お気に入り登録した項目を編集する

- 1 [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 [お気に入りから接続する] を選ぶ
- 3 編集したいお気に入り項目を選び、▶ ボタンを押す
- 4 項目を選ぶ

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選ぶ
登録名を変える	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。



よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておく

履歴に保存される数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておくことをお勧めします。(P247)



履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示させることができます。

- [Wi-Fi 設定リセット] を行うと履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。
- 多くのパソコンが接続されているネットワークに、[履歴から接続する] や [お気に入りから接続する] で接続する場合、多くの機器の中から前回接続した機器を探すため接続されにくくなる場合があります。接続できない場合は、[新規に接続する] で接続し直してください。

画像の送信設定について

画像を送信する場合、[新規に接続する]を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。接続が完了したあと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することもできます。



■ 本機で送信できる画像について

送信先	JPEG	RAW	MP4※ ¹	AVCHD※ ^{1,2}	MP4(LPCM)※ ¹	MOV※ ¹	3D
[スマートフォン]	○	×	○※ ³	×	×	×	×
[PC]	○	○	○	○	○	○	○
[クラウド同期サービス]	○	×	○※ ³	×	×	×	○
[Web サービス]	○	×	○※ ³	×	×	×	○
[AV機器]	○	×	×	×	×	×	○
[プリンター]※ ¹	○	×	×	×	×	×	×

※¹ [撮影中に画像を送る]時は送信できません。

※² [AVCHD]で撮影された動画を送信することができるのは、ファイルサイズが4 GBまでです。4 GBを超える場合、送信できません。

※³ [画質設定]のサイズが[4K]の動画で撮影された動画を除く

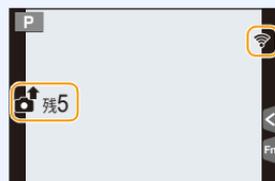
- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書、または Web サービスをご確認ください。

撮影中に画像を送る

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送れます。

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。

- [撮影中に画像を送る]で接続中は、撮影画面に[Wi-Fi]が表示され、ファイルを送信中は[送信]が表示されます。
- 送信完了前に電源スイッチを[OFF]にしたり、Wi-Fi接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や再生メニューの使用はできない場合があります。



🔒 こんなときは使えません

- 動画は送信できません。

カメラ内の画像を送る

撮影後に画像を選んで送信できます。

- 再生メニューの[お気に入り]または[プリント設定]の設定内容は送信されません。

こんなときは使えません

- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

画像の送信設定を変更する

接続が完了したあとに[DISP.]ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

送信サイズ	<p>送信する画像のサイズを変更します。 [元画像]、[自動]^{※1}、[変更]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●[自動]の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。 ●[変更]の画像サイズは[M]、[S]または[VGA]を選択できます。 画像の横縦比は変わりません。
送信ファイル形式 ^{※2}	[JPG]、[RAW+JPG]、[RAW]
位置情報データ消去 ^{※3}	<p>送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。 [ON]: 位置情報を消去して送信します。 [OFF]: 位置情報を消去せずに送信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置情報が消去されるのは送信した画像のみです。(本機の画像から位置情報は消去されません)
クラウド上限枚数動作 ^{※4}	<p>クラウドフォルダの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。 [ON]: 画像を送信しません。 [OFF]: 古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。</p>

※1 送信先が[Web サービス]の場合のみ設定できます。

※2 送信先が[PC]の場合のみ設定できます。

※3 送信先が[クラウド同期サービス]、[Web サービス]または[AV 機器]の[宅外 AV 機器]の場合のみ設定できます。

※4 送信先が[クラウド同期サービス]の場合のみ設定できます。

Wi-Fi 設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定を行います。

Wi-Fi接続中は設定の変更はできません。

メニューを設定する (P49)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → 設定したい項目

項目	設定内容
PicMate 設定 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDの取得や変更を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、238ページをお読みください。
PC接続設定 ワークグループを設定することができます。	<p>パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 (お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています)</p> <p>[変更する]: 接続するパソコンのワークグループを入力してください。 [標準に戻す]: お買い上げ時の状態に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字入力の方法については、51ページの「文字を入力する」をお読みください。 パソコンを標準の設定でお使いの場合は、ワークグループを変更する必要はありません。
機器名称 本機の名前を変更することができます。	<ol style="list-style-type: none"> [DISP.] ボタンを押す 任意の機器名称を入力する <ul style="list-style-type: none"> 文字入力の方法については、51ページの「文字を入力する」をお読みください。 入力できる文字数は最大32文字です。
宅外AV 機器設定 「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、親戚や知人が所有しているAV機器に画像を送ることができます。	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、242ページをお読みください。

項目	設定内容
NFC動作 NFC機能の設定をします。	[ON]: NFC 機能が働きます。 [OFF]
タッチシェアリング NFC機能で接続したときの動作を設定します。	[ON]: 1枚再生時に NFC機能を使って Wi-Fi 接続すると、画像(1枚)を転送できます。 [OFF]
Wi-Fi パスワード 誤操作や第三者による Wi-Fi 機能の使用を防止したり、設定した個人情報を守るため、Wi-Fi 機能をパスワードで保護することをお勧めします。	パスワードを設定しておく、Wi-Fi 機能使用時、自動的にパスワード入力画面が表示されるようになります。 [設定]: 数字4桁で任意のパスワードを入力してください。 [解除] <ul style="list-style-type: none"> ● 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● パスワードは必ず控えを取っておいてください。忘れてしまった場合、セットアップメニューの [Wi-Fi 設定リセット] を行うとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべてリセットされます。([PicMate 設定] は除く)
ネットワークアドレス表示 本機の MAC アドレスと IP アドレスを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「MAC アドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。 ● 「IP アドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどの DHCP 機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例: 192.168.0.87)
認証情報 電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。	—

カスタムメニューを使う

画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。

カスタムモードについて

 P254

[カスタムセット登録]

静音操作について

 P254

[サイレントモード]

AF/AE ロックについて

 P254

[AF/AEロック切換]

[AF/AEロック維持]

シャッターボタンについて

 P254

[シャッター半押しAF]

[シャッター半押しリリース]

オートフォーカスについて

 P255

[クイックAF]

[アイセンサーAF]

[ピンポイントAF時間]

[AF補助光]

[ダイレクトフォーカス移動]

[フォーカス/リリース優先]

[AF+MF]

マニュアルフォーカスについて

 P257

[MFアシスト]

[MFガイド]

[ピーキング]

画面表示について

 P258

[ヒストグラム表示]

[ガイドライン表示]

[センターマーカー表示]

[ハイライト表示]

[ゼブラパターン表示]

[モノクロライブビュー]

[常時プレビュー(Mモード)]

[露出メーター]

[LVF表示スタイル]

[モニター表示スタイル]

[モニター撮影情報画面]

[記録枠表示]

[動画優先表示]

[オートレビュー]

ボタン / ダイヤルについて

 P257

[Fn ボタン設定]

[Q.MENU]

[ダイヤル設定]

[動画ボタン]

タッチ操作 / その他

 P261

[パワースームレンズ]

[フォーカスリング無しレンズ]

[アイセンサー]

[タッチ設定]

[タッチ再生送り速度]

[メニューガイド]

[レンズ無しリリース]

📍 カスタムメニューの設定方法は

👉 P49

カスタムモードについて

お好みのメニュー設定を登録する

[カスタムセット登録]

- 詳しくは、[268](#)ページをお読みください。

静音操作について

操作音と発光の禁止を一括で設定する

[サイレントモード]

- 詳しくは、[140](#)ページをお読みください。

AF/AE ロックについて

[AF/AE LOCK] ボタンの機能を設定する

[AF/AEロック切換]

- 詳しくは、[131](#)ページをお読みください。

[AF/AE LOCK] ボタンを離してもロックを維持する / しない

[AF/AEロック維持] → [ON] / [OFF]

- 詳しくは、[131](#)ページをお読みください。

シャッターボタンについて

シャッターボタン半押し時にピントを合わせる / 合わせない

[シャッター半押しAF] → [ON] / [OFF]

シャッターボタン半押しでシャッターを切る / 切らない

[シャッター半押しリリース] → [ON] / [OFF]



📍 カスタムメニューの設定方法は

🔗 P49

オートフォーカスについて

事前にピントを合わせる/合わせない

[クイックAF] → [ON] / [OFF]

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを見逃したくないときなどに有効です。

- バッテリーの消費が早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 以下の場合は [クイックAF] は動きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時
 - オートフォーカスのできないレンズおよびコントラストAF非対応フォーサーズマウント規格レンズ装着時

アイセンサーが働くとカメラが自動的にピントを合わせる/合わせない

[アイセンサーAF] → [ON] / [OFF]

カスタムメニューの [アイセンサーAF] を [ON] に設定しているときには、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピント合わせを行います。

- [アイセンサーAF] でピントが合っても電子音は鳴りません。
- 低照度時は、[アイセンサーAF] が動かない場合があります。
- [アイセンサーAF] は、オートフォーカスのできないレンズおよびフォーサーズマウント規格レンズでは動きません。

画面が拡大表示される時間を設定する

[ピンポイントAF時間]

[LONG] (約 1.5 秒) / [MID] (約 1.0 秒) / [SHORT] (約 0.5 秒)

🔍 カスタムメニューの設定方法は

🔗 P49

AF補助光ランプを光らせる/光らせない

[AF補助光] → [ON]/[OFF]

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。(撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます)

- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。
 - 交換レンズ(H-FS14140)装着: 約1.0 m～約3.0 m
- AF補助光は、画面中央部の被写体に対してのみ有効です。被写体を画面中央に配置してご使用ください。
- レンズフードは外してください。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- 交換レンズ(H-FS14140)装着時、AF補助光が少し遮られますが、性能には問題ありません。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、フォーカスが合いにくくなる場合があります。
- 以下の場合は、[OFF]に固定されます。
 - [サイレントモード]を[ON]に設定時

カーソルボタンでAFエリアを移動させる/させない

[ダイレクトフォーカス移動] → [ON]/[OFF]

[]、[]、[]選択時ではAFエリアを、[+]のときは拡大位置を移動することができます。

- []などの[カスタムマルチ]選択時は、AFエリア設定画面を表示します。
- クリエイティブコントロールモード時は、[ダイレクトフォーカス移動]は[OFF]に固定されます。

ピントが合わなくても撮影する/しない

[フォーカス/レリーズ優先]

[フォーカス]: ピントが合うまで撮影できません。

[レリーズ]: シャッターチャンス優先させるため、シャッターボタンを全押しすると撮影されます。

- [レリーズ]に設定すると、フォーカスモードを[AFS]、[AFF]または[AFC]に設定していても、ピントが合っていない場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影時は動きません。

AF後に手でピントを調整する/しない

[AF+MF] → [ON]/[OFF]

AFロックしている間(フォーカスモードが[AFS]時のシャッターボタン半押し、または[AF/AE LOCK]でのAFロック)に手でピントを微調整することができます。

 カスタムメニューの設定方法は

 P49

マニュアルフォーカスについて

MFアシストを表示するための操作を設定する

[MFアシスト]

- 設定項目は、使用するレンズによって異なります。

フォーカスリングのある交換レンズ(H-FS14140)装着時	
	レンズのフォーカスリングやフォーカスレバーを操作する、または [] ボタン [※] を押すと拡大表示されます。
	レンズのフォーカスリングやフォーカスレバーを操作すると拡大表示されます。
	[] ボタン [※] を押すと拡大表示されます。
OFF	レンズのフォーカスリングやフォーカスレバーを操作することや、 [] ボタン [※] を押すことでは、拡大表示できません。

- [] または [OFF] 設定時、 [] ボタン[※]を押すと拡大位置の設定画面が表示されます。

フォーカスリングのない交換レンズ装着時	
ON	[] ボタン [※] を押したときに、拡大位置の設定画面を表示してから、ピント合わせができます。
OFF	[] ボタン [※] を押したときに、拡大位置の設定画面を表示させずに、ピント合わせができます。

※ [Fn ボタン設定] (P265) で [AF モード / MF] を設定したファンクションボタン(お買い上げ時は []/[Fn3] ボタンに設定)を押してください。

MFガイドを表示する/しない

[MFガイド] → [ON]/[OFF]

[ON]に設定時は、手でピントを合わせると画面にMFガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。



∞(無限)を示す目安

ピントが合っている部分に色を付けて表示する/しない

[ピーキング]

- 詳しくは、93ページをお読みください。

 カスタムメニューの設定方法は

 P49

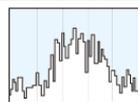
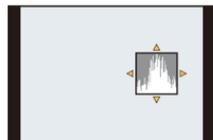
画面表示について

ヒストグラムを表示する/しない

[ヒストグラム表示]→[ON]/[OFF]

▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定することができます。

● 撮影画面でも直接タッチ操作できます。



暗い ← → 明るい

● ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

● 撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。

- 露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが“0”以外のとき
- フラッシュが発光するとき

- フラッシュを閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで画面の明るさが正確に表示できないとき

● 撮影時のヒストグラムは目安です。

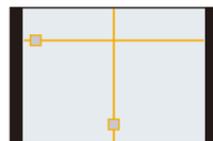
● パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

ガイドラインを表示する/しない

[ガイドライン表示]→[罫]/[罫]/[罫]/[OFF]

[罫]にすると、▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定することができます。

● 撮影画面でも、ガイドライン上の [罫] を直接タッチ操作できます。



画面の中心を表示する

[センターマーカ表示]

● 詳しくは、170ページをお読みください。

 カスタムメニューの設定方法は

 P49

白飛びしている箇所を表示する / しない

[ハイライト表示] → [ON] / [OFF]

オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。撮影画像には影響されません。

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム(P258)を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P130)再度撮影することをお勧めします。
- マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は動きません。



白飛びのおそれがある部分を表示する

[ゼブラパターン表示]

- 詳しくは、170ページをお読みください。

撮影画面を白黒表示にする

[モノクロライブビュー]

- 詳しくは、171ページをお読みください。

撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する / しない

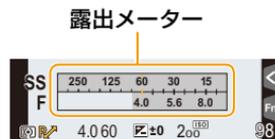
[常時プレビュー(Mモード)] → [ON] / [OFF]

- 詳しくは、127ページをお読みください。

露出メーターを表示する / しない

[露出メーター] → [ON] / [OFF]

- [ON]に設定すると、露出補正、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.]ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。(P42)
- 約4秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。



📍 カスタムメニューの設定方法は  P49

ファインダーの表示方法を切り換える

[LVF表示スタイル] → [□]:ファインダースタイル/[]:モニタースタイル

モニターの表示方法を切り換える

[モニター表示スタイル] → [□]:ファインダースタイル/[]:モニタースタイル

モニターの撮影情報画面を表示する/しない

[モニター撮影情報画面] → [ON]/[OFF]

写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換える

[記録枠表示] → [] (写真)/[] (動画)

- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。
[記録枠表示]を[]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 記録枠表示は目安です。

動画撮影に適した画面に切り換える

[動画優先表示]

- 詳しくは、171 ページをお読みください。

写真撮影後に撮影画像を表示する

[オートレビュー]

時間	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 [ホールド]:シャッターボタン半押しまで表示 [5秒]、[4秒]、[3秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]	
再生操作優先	ON	オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。
	OFF	オートレビュー中は、撮影時と同様のボタン操作になります。

- [時間]を[ホールド]設定時、[再生優先]は[ON]に固定されます。

 カスタムメニューの設定方法は

 P49

ボタン / ダイヤルについて

ファンクションボタンに機能を割り当てる

[Fnボタン設定]

- 詳しくは、265ページをお読みください。

クイックメニューの設定方法を切り換える

[Q.MENU]

[プリセット]: あらかじめ決められた項目を設定できます。

[カスタム]: 項目をお好みで変更し、設定できます。(P264)

後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を設定する

[ダイヤル設定]

F/SSダイヤルの割当	<p>マニュアル露出モード時の、絞り値とシャッタースピードの操作を割り当てます。</p> <p>[ F  SS]: 前ダイヤルに絞り値、後ダイヤルにシャッタースピードの操作を割り当てます。</p> <p>[ SS  F]: 前ダイヤルにシャッタースピード、後ダイヤルに絞り値の操作を割り当てます。</p>
F/SSダイヤルの回転	<p>絞り値とシャッタースピードを操作する際の、ダイヤルの回転方向を変更します。</p> <p>[], []</p>
露出補正のダイヤル割当	<p>前後いずれかのダイヤルで、露出補正を直接操作できるように割り当てます。</p> <p>[] (前ダイヤル)、[] (後ダイヤル)、[OFF]</p>

動画ボタンの有効 / 無効を設定する

[動画ボタン] → [ON] / [OFF]

- ボタンの誤操作を防ぐための機能です。

 カスタムメニューの設定方法は

 P49

タッチ操作 / その他

パワースームレンズの設定を変更する

[パワースームレンズ]

- 詳しくは、136ページをお読みください。

フォーカスリングのない交換レンズでのマニュアルフォーカスの表示や操作を設定する

[フォーカスリング無しレンズ]

- フォーカスリングのない交換レンズ装着時のみ設定できます。

[コントロールダイヤル(MF操作)]

[表示]: コントロールダイヤルを回すと、拡大表示(画面の一部/画面全体)の切り換えができます。

[フォーカス]: コントロールダイヤルを回すと、ピント調整できます。

[MFアシスト表示]

[全画面]: 画面全体に拡大表示されます。

[PIP]: 画面の一部に拡大表示されます。

アイセンサーの感度やモニター表示/ファインダー表示の切り換えを設定する

[アイセンサー]

感度	アイセンサーの感度を設定します。 [強],[弱]
LVF/モニター切換	モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。(P44) [LVF/...]([MON _{Auto}])(ファインダー/モニター自動切換)、 [LVF](ファインダー表示)、[MON](モニター表示) ● [LVF]ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換]の設定も切り換わります。

 カスタムメニューの設定方法は

 P49

タッチ操作の有効/無効を設定する

[タッチ設定]

- [OFF]に設定時は画面に該当のタッチタブやタッチアイコンは表示されません。

タッチパネル	すべてのタッチ操作。[OFF]に設定すると、ボタンやダイヤルでの操作のみになります。 [ON]、[OFF]
タッチタブ	画面右に表示される[]などのタブをタッチして、タッチアイコンを表示するための操作。 [ON]、[OFF]
タッチ AF	タッチした被写体にピント、またはピントと明るさを合わせる操作。 [AF] (P86)、[AF+AE] (P89)、[OFF]
タッチパッド AF	ファインダー表示中にモニターをタッチしてAFエリアを移動させる操作。 (P88) [絶対位置]、[相対位置]、[OFF]

画像を連続して送るときの速さを切り換える

[タッチ再生送り速度] → [H] (高速) / [L] (低速)

モードダイヤルを *み* に切り換えたときに選択画面を表示する/しない

[メニューガイド]

[ON]: クリエイティブコントロールモードの選択画面を表示

[OFF]: 現在選択されているクリエイティブコントロールモードの撮影画面を表示

レンズがなくてもシャッターが切れるようにする/しない

[レンズ無しリリース]

[ON]: レンズの装着にかかわらず、シャッターが切れます。

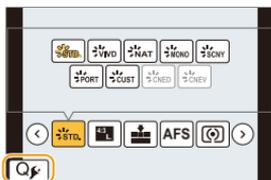
[OFF]: 本体にレンズを取り付けていないときやレンズが正しく取り付けられていないときには、シャッターが切れません。

- ライカレンズ用マウントアダプター (別売: DMW-MA2M、DMW-MA3R) 使用時は [ON] に設定してください。

クイックメニューをお好みの項目に変更する

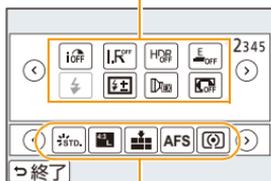
カスタムメニューの[Q.MENU](P261)を[カスタム]に設定時は、クイックメニューをお好みで変更できます。クイックメニューは15項目まで設定しておくことができます。

- 1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する
- 2 ▼ ボタンで [Q.] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ◀/▶ ボタンで下段の空き項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

クイックメニューとして設定できる項目



- 上段から下段へ項目をドラッグしても設定できます。
- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選びと入れ替えて設定することができます。
- 設定を解除するには、▼ ボタンで下段に入り、解除する項目を選んで[MENU/SET]ボタンを押してください。
- 設定できる項目は、以下のとおりです。

クイックメニュー画面に表示できる項目

撮影メニュー/撮影機能	
- フォトスタイル(P115)	- 超解像(P118)
- 画像横縦比(P107)/記録画素数(P107)	- HDR(P119)
- クオリティ(P108)	- 電子シャッター(P140)
- AFS/AFF(P80)	- フラッシュモード(P149)
- 測光モード(P132)	- フラッシュ光量調整(P152)
- 連写速度(P95)	- EX テレコン(写真・動画)(P134)
- オートブラケット(P98)	- デジタルズーム(P135)
- セルフタイマー(P99)	- 手ブレ補正(P46)
- iD レンジコントロール(P118)	- オートフォーカスモード(P79)

動画撮影メニュー	
- 動画記録方式(P158)	- 写真撮影(P162)
- 動画画質設定(P159)	- シンクロスキャン(P176)
- バリアブルフレームレート(P174)	- タイムコード表示(P173)

カスタムメニュー	
- サイレントモード(P139)	- 記録枠表示(P260)
- ピーキング(P93)	- 動画優先表示(P171)
- ヒストグラム表示(P258)	- ステップズーム(P136)
- ガイドライン表示(P258)	- ズーム速度(P136)
- ゼブラパターン表示(P170)]	- タッチパネル(P263)
- モノクロライブビュー(P171)	

- 5 [◀/▶] ボタンを押す
 - 上記手順1の画面に戻ります。撮影画面にするには[MENU/SET]ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、よく使う機能を割り当てることができます。

1 メニューを設定する(P49)

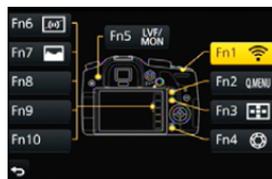
MENU ボタン → **fC**[カスタム] → [Fnボタン設定]

2 ▲/▼ ボタンで [撮影時設定] または [再生時設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで割り当てる機能を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
- [撮影時設定] については下記を、[再生時設定] については [267](#) ページをお読みください。



撮影時のファンクションボタンを設定する

撮影時にファンクションボタンを押すことで、割り当てた機能を使えます。

- [Fn1]、[Fn2]、[Fn3]、[Fn4]、[Fn5]のボタンと、[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9]、[Fn10]のアイコンに以下の機能が割り当てられます。

撮影メニュー/ 撮影機能

- Wi-Fi(P209) : [Fn1] ※	- AFS/AFF (P79)
- Q.MENU (P48) : [Fn2] ※	- 測光モード (P132)
- L.V.F/ モニター切換 (P44) : [Fn5] ※	- 連写速度 (P95)
- AF/AE LOCK (P131)	- オートブラケット (P98)
- AF-ON (P92, 131)	- セルフタイマー (P99)
- プレビュー (P128) : [Fn4] ※	- ハイライトシャドウ (P117)
- ワンプッシュAE (P129)	- iD レンジコントロール (P118)
- タッチAE (P78)	- 超解像 (P118)
- 水準器表示 (P43) : [Fn6] ※	- HDR (P119)
- フォーカスエリア選択 (P266)	- 電子シャッター (P140)
- ズーム操作 (P133)	- フラッシュモード (P149)
- ワンショット RAW+JPG	- フラッシュ光量調整 (P152)
- ワンショット スポット測光	- EXテレコン(写真・動画) (P134)
- カーソルボタンロック	- デジタルズーム (P135)
- フォトスタイル (P115)	- 手ブレ補正 (P46)
- 画像横縦比 (P107)	- AFモード/MF (P79) : [Fn3] ※
- 記録画素数 (P107)	- デフォルトに戻す (P266)
- クオリティ (P108)	

動画撮影メニュー	
- 動画記録方式(P158)	- シンクロスキャン(P176)
- 動画画質設定(P159)	- タイムコード表示(P173)
- バリアブルフレームレート(P174)	- マイク指向性調整(P291)
- 写真撮影(P162)	- カラーバー(P177)

カスタムメニュー	
- サイレントモード(P139)	- 記録枠表示(P260)
- ピーキング(P257)	- 動画優先表示(P171)
- ヒストグラム表示(P258): [Fn7] ※	- ステップズーム(P136)
- ガイドライン表示(P258)	- ズーム速度(P136)
- ゼブラパターン表示(P170)	- タッチパネル(P263)
- モノクロライブビュー(P171)	

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

([Fn8]、[Fn9]、[Fn10])はお買い上げ時にファンクションボタン設定されていません)

■ モニター撮影情報画面からファンクションボタンの設定を行う

モニター撮影情報画面(P42)で[Fn]をタッチしても、手順3の画面を表示することができます。

■ タッチ操作でファンクションボタンを使う

[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9]、[Fn10]はタッチ操作でファンクションボタンを使うことができます。

1 [Fn]をタッチする

2 [Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9]、[Fn10]をタッチする

- 割り当てられた機能が働きます。



- モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。
- [フォーカスエリア選択]設定時は、AFエリアまたはMFアシストの位置設定画面を表示することができます。
- [ワンショット RAW+JPG]設定時は、1度だけRAW画像とファイン相当のJPEG画像を同時に撮影します。撮影後は元のクオリティに戻ります。
- [ワンショット スポット測光]設定時は、1度だけ[測光モード]を[☐](スポット)で撮影します。撮影後は元の測光モードに戻ります。
- [カーソルボタンロック]設定時は、カーソルボタン、[MENU/SET]ボタン、コントロールダイヤルの操作を無効にします。もう一度ファンクションボタンを押すと有効になります。
- [デフォルトに戻す]設定時は、ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[Fn4] は使えません。
 - インテリジェントオートモード
 - インテリジェントオートプラスモード
 - クリエイティブコントロールモード
 - 多重露出撮影時
- インターバル撮影時は [Fn1] は使えません。
- ファインダー表示時は、[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9]、[Fn10] は使えません。

再生時のファンクションボタンを設定する

再生時にファンクションボタンを押すことで、選んだ画像に割り当てた機能を直接設定できます。

- [Fn1]、[Fn2]、[Fn5] のボタンに以下の機能が割り当てられます。

再生メニュー/再生機能	
– お気に入り (P202) : [Fn2] ※	– 1 枚消去 (P185)
– プリント設定 (P203)	– OFF : [Fn1] ※、[Fn5] ※
– プロテクト (P205)	– デフォルトに戻す

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

- [デフォルトに戻す] 設定時は、ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

■ 再生時にファンクションボタンを使う

例) [お気に入り] を [Fn2] に設定した場合

- 1 ◀▶ ボタンで画像を選ぶ
- 2 [Fn2] ボタンを押し、画像に [お気に入り] 設定する
 - [プリント設定] 時は、続けてプリント枚数を設定してください。
 - [1 枚消去] 時は、確認画面で [はい] を選んでください。



お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

●お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で5つまで登録しておくことができます。(C1、C2、C3-1、C3-2、C3-3)

準備: あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → **f** [カスタム] → [カスタムセット登録]

2 ▲/▼ ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

C1	モードダイヤルの C1 に登録されます。 ●モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。
C2	モードダイヤルの C2 に登録されます。 ●モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。
C3-1	モードダイヤルの C3 に登録されます。 ●3つまでカスタムセットを登録できますので、状況に合わせて使い分けいただけます。
C3-2	
C3-3	

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

●以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

撮影メニュー	セットアップメニュー	カスタムメニュー	再生メニュー
- [個人認証]で登録されたデータ - [プロフィール設定]の設定内容	- すべてのメニュー	- [タッチ再生送り速度] - [メニューガイド]	- [縦位置自動回転] - [画像表示順] - [消去確認画面]

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

モードダイヤルを[C1]、[C2]または[C3]に合わせる

- カスタムセットが呼び出されます。[C3]の場合は、最後に使ったカスタムセット([C3-1]、[C3-2]または[C3-3])が呼び出されます。

■ [C3]のカスタムセットを変更する場合は

- 1 モードダイヤルを[C3]に合わせる
- 2 [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する
- 3 ◀/▶ ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- 選択されているカスタムセット表示が画面に出ます。



■ 設定を変更した場合は

モードダイヤルをC1、C2またはC3に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

4K 動画を楽しむ

4K 動画を見る

■ テレビで見る

本機と4K動画対応テレビを接続して、[画質設定]のサイズが[4K]または[C4K]の動画で記録した動画を再生すると、きめ細かい4K動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。



準備: サイズが [4K] の場合、[再生時HDMI 出力解像度] (P57) を[AUTO]または [4K]に設定する。

サイズが[C4K]の場合、[再生時HDMI出力解像度] (P57) を[AUTO]または[C4K]に設定する。

- [システム周波数] を [59.94Hz (NTSC)] に設定し、[画質設定] を記録フレームレートが24pの動画に設定し記録した動画を再生時は [再生時 HDMI 出力解像度] を [AUTO] に設定してください。[AUTO]以外に設定していると、24コマ/秒では出力できません。

HDMI マイクロケーブルで本機と4K動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する (P271)

- [ピエラリンク] を [ON] に設定してピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切り替えが自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、272 ページをお読みください。
- [システム周波数] をお住まいの地域の放送方式と異なる方式に設定時、画像を正常に再生できない場合があります。
- [記録方式] が [MP4] で [画質設定] のサイズが [4K] の動画は、4K 動画対応の SD カードスロット付きテレビにカードを入れて再生することもできます。
- テレビの説明書もお読みください。



■ パソコンで見る

[画質設定]のサイズが[4K] または [C4K]の動画で記録した動画をパソコンで再生する場合は、DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。

- 4K 動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。



4K 動画を残す

■ パソコンに残す

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。詳しくは、274 ページをお読みください。

■ DVDやCDに残す

[画質設定]のサイズが[4K]または[C4K]の動画は、当社製レコーダーでブルーレイディスクやDVDへのダビングはできません。(2014年3月現在)

DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと、サイズの小さい動画に変換したり、DVDやCDにコピーしたりできます。

- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。

テレビで見る

本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

準備: 本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

- お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。

高画質

HDMI端子

映像端子

1 本機とテレビをつなぐ

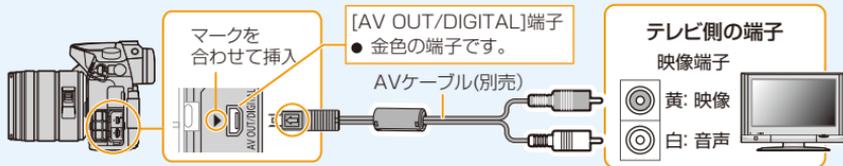
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMIマイクロケーブルで接続する場合



- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。
- [再生時HDMI出力解像度] (P57)を確認してください。
- [システム周波数]を[59.94Hz(NTSC)]に設定し、[画質設定]を記録フレームレートが24pの動画に設定して記録した動画を再生時は[再生時HDMI出力解像度]を[AUTO]に設定してください。[AUTO]以外に設定していると、24コマ/秒では出力できません。
- 音声はステレオで再生されます。
- 本機の画面に画像は表示されません。

AVケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製 AVケーブル(別売)をお使いください。
- 品番: DMW-AVC1
- [テレビ画面タイプ] (P57)を確認してください。
- 音声はモノラルで再生されます。
- AVケーブル接続時はファインダー表示はできません。
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時、AVケーブルで接続してテレビで再生することはできません。

→ 続く

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- [ビエラリンク]を[ON]に設定して、HDMIマイクロケーブルでビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P272)

- [システム周波数]をお住まいの地域の放送方式と異なる方式に設定時、画像を正常に再生できない場合があります。
- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AVケーブル(別売)とHDMIマイクロケーブルを同時に接続しているときは、HDMIマイクロケーブルからの出力が優先されます。
- USB接続ケーブル(付属)とHDMIマイクロケーブルを同時に接続しているときは、USB接続ケーブル(付属)での接続が優先されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- 本機のスピーカーからは音声は出ません。
- テレビの説明書もお読みください。



SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

- 本機とHDMIマイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

→ 続く

準備: [ビエラリンク] (P58) を [ON] に設定する。

- 1 HDMIマイクロケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P271)
- 2 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す
- 3 テレビのリモコンで操作する

●画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをお勧めします。
- 本機のボタンを使っでの操作は制限されます。

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIマイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶] ボタンを押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)が正しく動かない場合は、338ページをご確認ください。
- お使いのテレビがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは、テレビの取扱説明書をお読みください。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。
- ビエラリンク動作時、本機の[再生時HDMI出力解像度]は自動的に判別されます。

写真や動画をパソコンに残す

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/

■ 使用できるパソコン

マスタストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windowsの場合: Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1
- Macの場合: OS X v10.5～v10.9



AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windowsの場合、AVCHD動画は必ずDVD(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。ただし、画質設定によっては、取り込みできません。(iMovieの詳細は、Appleにお問い合わせください)

付属のソフトウェアを使う

付属のDVDには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.5 PE (Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio 4.1 SE (Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1、 Mac OS X v10.5/v10.6/v10.7/v10.8/v10.9)

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボトリーのサポートサイト
<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>
をご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版 (Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1)

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Web サイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。

使い方 Web サイト：<http://loilo.tv/product/20>

→ 続く

■ ソフトウェアをインストールする

- DVDを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

- 「PHOTOfunSTUDIO」の動作環境

対応OS	Windows® XP(32 bit) SP3 Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1 Windows® 8(32 bit/64 bit) Windows® 8.1(32 bit/64 bit)	
CPU	Windows® XP	Pentium® III 500 MHz以上
	Windows Vista®	Pentium® III 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® III 1 GHz以上
	Windows® 8	
Windows® 8.1		
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows® XP	512 MB以上
	Windows Vista®	
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
	Windows® 8	
Windows® 8.1		
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

- 「SILKYPIX Developer Studio」の動作環境は、[275](#) ページのサポートサイトをお読みください。

2 DVDを入れる

3 インストールメニューが表示されたら、[アプリケーション]をクリックする

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8/Windows 8.1 ではDVDを入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exeの実行]を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター]内の[VFF○○○○](○○○○は機種によって異なる)をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。

4 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

- お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
- Mac では、SILKYPIXを手動でインストールすることができます。

- ① DVDを入れる
- ② DVDの「Application」フォルダーをダブルクリックする
- ③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
- ④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

こんなときは使えません

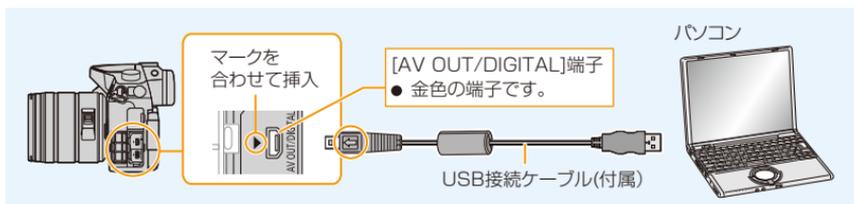
- 「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

■ パソコンに画像を取り込む

準備: お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 本機のモニター面を表にしてください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売: DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで [USBモード] (P57) を [PC] に設定しておくこと、[USBモード] の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。
- [USBモード] を [PictBridge (PTP)] にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。メッセージを閉じ、安全にUSB接続ケーブルを取り外し、[USBモード] を [PC] に設定し直してください。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

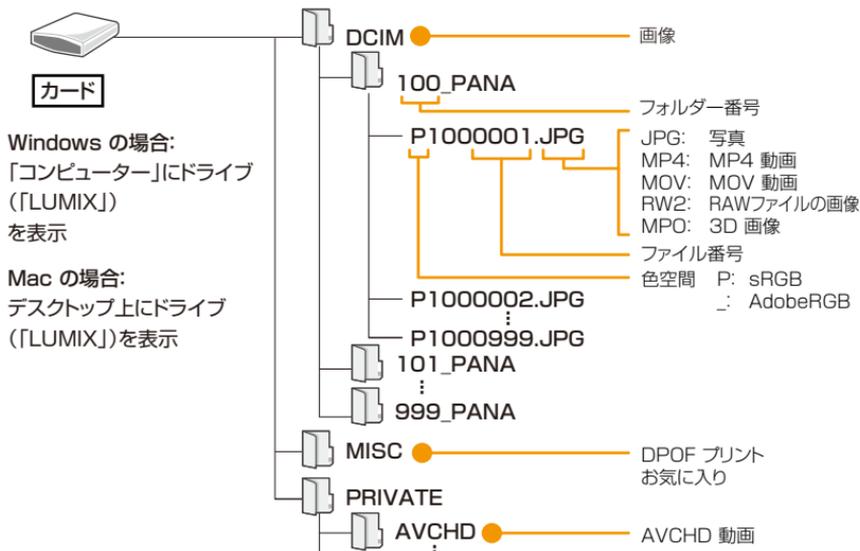
- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC10) (P293) を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。
USB接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。
- ACアダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

➡ 続く

■ 「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

●本機のカードの中(フォルダー構造)は以下のようになります。



- 以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
 - セットアップメニューの[番号リセット] (P59) 実行後
 - 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合 (他社のカメラで撮影した場合など)
 - フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

■ PTPモードで接続する

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。

- カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードで、動画は再生できません。

写真や動画をレコーダーに残す

当社製レコーダーに本機で記録したカードを入れるとブルーレイディスクやDVDなどにダビングすることができます。本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、MPQ、AVCHD、MP4、MOV)によって他の機器への取り込み方法が異なります。



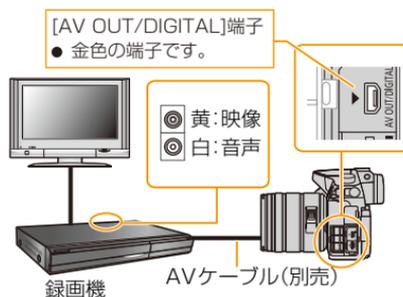
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

■ 対応機器以外にダビングする

本機をAVケーブル(別売)で対応機器以外のレコーダーやビデオなどの録画機につなぎ、本機で再生した映像をダビングします。対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

- 1 本機と録画機をAVケーブル(別売)で接続する
- 2 本機で再生を始める
- 3 録画機で録画を始める

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。



- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[テレビ画面タイプ](P57)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- [システム周波数]をお住まいの地域の放送方式と異なる方式に設定時、画像を正常に再生できない場合があります。
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時、AVケーブルで接続してテレビで再生することはできません。
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機のモニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

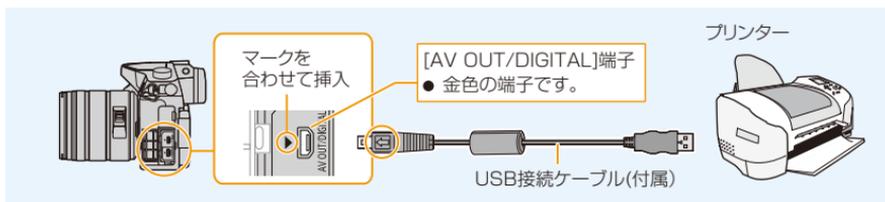
- グループ画像は、グループ単位ではなく1枚ずつ表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。

あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とプリンターをつなぐ

- 本機のモニター面を表にしてください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC10) (P293) を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外の場合は、USB接続ケーブルを抜いてください。
- [警告] (ケーブル切断禁止アイコン) 表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。(プリンターによって表示されない場合があります)
- ACアダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。

こんなときは使えません

- 動画はプリントできません。

画像を選んで 1 枚ずつプリントする

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲ ボタンで [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - プリント開始前に設定できる項目については [282](#) ページをお読みください。
 - プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。



複数の画像を選んでプリントする

- 1 ▲ ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数選択	<p>複数の画像を選んでプリントします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す。 (もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定 (DPOF)	[プリント設定] で設定 (P203) された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り] 設定 (P202) された画像のみをプリントします。

- 3 ▲ ボタンで [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - プリント確認画面が表示された場合は、[はい] を選んでプリントしてください。
 - プリント開始前に設定できる項目については [282](#) ページをお読みください。
 - プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機用の紙サイズ、レイアウト設定を[]にして、プリンター側で設定してください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください)
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

■ 日付プリント

ON	日付プリントされます。
OFF	日付プリントされません。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。
- 使用するプリンターによっては、画像横縦比を[1:1]に設定して撮影した画像の日付が、縦方向にプリントされる場合があります。

■ プリント枚数

プリントする枚数(最大999枚まで)を設定できます。

■ 用紙サイズ

	プリンターの設定が優先されます。	A3	297 mm×420 mm
L/3.5"×5"	89 mm×127 mm	10×15cm	100 mm×150 mm
2L/5"×7"	127 mm×178 mm	4"×6"	101.6 mm×152.4 mm
はがき	100 mm×148 mm	8"×10"	203.2 mm×254 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm	レター	216 mm×279.4 mm
A4	210 mm×297 mm	カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

■ レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

	プリンターの設定が優先されます。		2面印刷
	1面縁なし印刷		4面印刷
	1面縁あり印刷		

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

 続く

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4枚]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4枚]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAWファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像がない場合はプリントできません。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に▶ ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。(P203)

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証]または[プロフィール設定]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

3D写真を楽しむ

3D写真を撮る

本機に3D交換レンズ(別売:H-FT012)を取り付けると、迫力ある3D写真を撮影することができます。3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。

- 1 本機に3D交換レンズを取り付ける
- 2 被写体に画面を合わせ、シャッターボタンを全押しして撮影する
 - 3D撮影時は、ピントを合わせる操作は不要です。
 - 3D交換レンズを装着して撮影した写真はMPO形式(3D)で保存されます。

3Dの写真を安全に見るために、撮影時には以下の点にお気をつけください。

- できるだけ本機を水平にして撮影してください。
- 被写体に近づきすぎないでください。[3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時は、被写体から0.6 m以上離れて撮影してください]
- 乗車中や歩行中などは手ブレにお気をつけください。



安定した写真を撮影するために、三脚やフラッシュの使用をお勧めします。

- 3D写真の記録可能枚数は、2 GBのカードを使用の場合、約490枚です。(画像横縦比[4:3]、クオリティ[3D]に設定時)
- 3D交換レンズの取扱説明書もお読みください。



こんなときは使えません

- 3D写真の縦撮影には対応していません。
- 被写体までの距離が0.6 m～約1 mでは、左右の視差が大きくなり、画面の両端では立体効果が得られない場合があります。

[→ 続く](#)

3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。

3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真を再生することもできます。

準備: [再生時HDMI出力解像度] (P57) を[AUTO]、[1080p]または[1080i]に設定する。
[3Dテレビ出力] (P58) を[3D]に設定する。

HDMIマイクロケーブルで本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(P271)

- [ピエラリンク]を[ON]に設定してピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切替が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、272ページをお読みください。
- 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

■ 3D記録した写真のみを選んで3D再生する

再生メニューの[再生モード]で[3D]を選んでください。(P188)

■ 3D記録した写真のみをスライドショーで3D再生する

再生メニューの[スライドショー]で[3D]を選んでください。(P186)

■ 3D記録した写真の再生方法を切り換える

- 1 3D記録した写真を選ぶ
- 2 再生メニューから[2D/3D切替]を選ぶ(P49)

- 2D(従来の画像)で再生されている場合は3Dに、3Dで再生されている場合は2Dに再生方法が切り換わります。
- 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。
- 3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- 3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)
- 3D写真は、パソコンや当社製機器に保存することができます。(P274、279)

3D写真の制限事項

■ 3D撮影時の制限事項

3D交換レンズ(別売:H-FT012)を使つての撮影時には、以下の機能が使えません。

(撮影機能)

- オートフォーカス/マニュアルフォーカス操作
- 絞り値設定
- ズーム操作
- 動画撮影^{※1}
- クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[インプレッシブアート]/[ハイダイナミック]/[トイフォト]/[トイポップ]/[クロスフィルター]/[ワンポイントカラー]/[サンシャイン]
- ボケ味コントロール機能

※1 動画ボタン、クリエイティブ動画モード、動画撮影メニューは無効または使用できなくなります。

(撮影メニュー)

- [記録画素数]^{※2}/[クオリティ]^{※3}/[連写速度]の[SH]/[iDレンジコントロール]/[超解像]/[i手持ち夜景]/[iHDR]/[HDR]/[多重露出]/[デジタル赤目補正]/[シェーディング補正]/[EXテレコン(写真)]/[デジタルズーム]/[手ブレ補正]

※2 以下のように固定されます。

画像横縦比	記録画素数
4:3	1824×1368
3:2	1824×1216
16:9	1824×1024
1:1	1712×1712

※3 3D交換レンズ装着時は、以下のアイコンが表示されます。

- [](3D+ファイン): MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。
- [](3D+スタンダード): MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。

(カスタムメニュー)

- [AF/AEロック切替]/[シャッター半押しAF]/[クイックAF]/[アイセンサーAF]/[ピンポイントAF時間]/[AF補助光]/[ダイレクトフォーカス移動]/[フォーカス/リリース優先]/[AF+MF]/[MFアシスト]/[MFガイド]/[記録枠表示]/[動画ボタン]/[パワースームレンズ]/[フォーカスリング無しレンズ]/[タッチ設定]の[タッチAF]、[タッチパッドAF]

■ 3D写真再生時の制限事項

3D対応テレビで3D写真を3D再生中は、以下の機能が働きません。

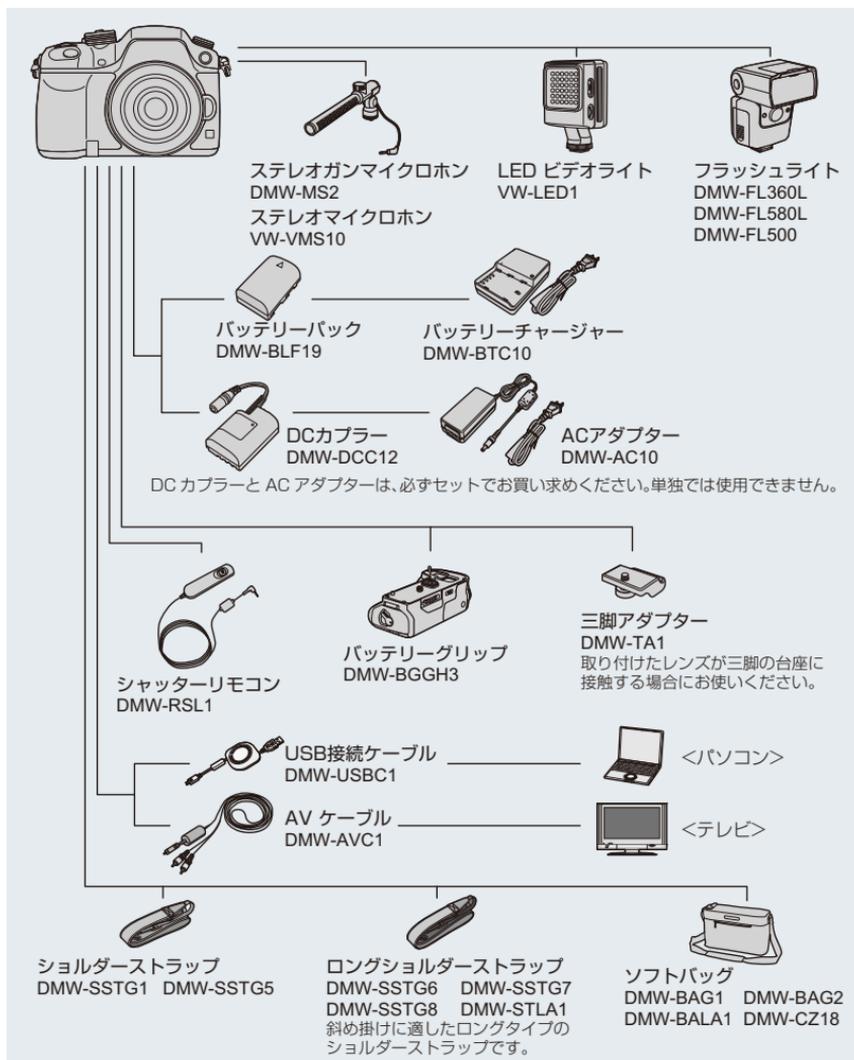
- カスタムメニューの[ハイライト表示]
- 再生ズーム

(再生メニュー)

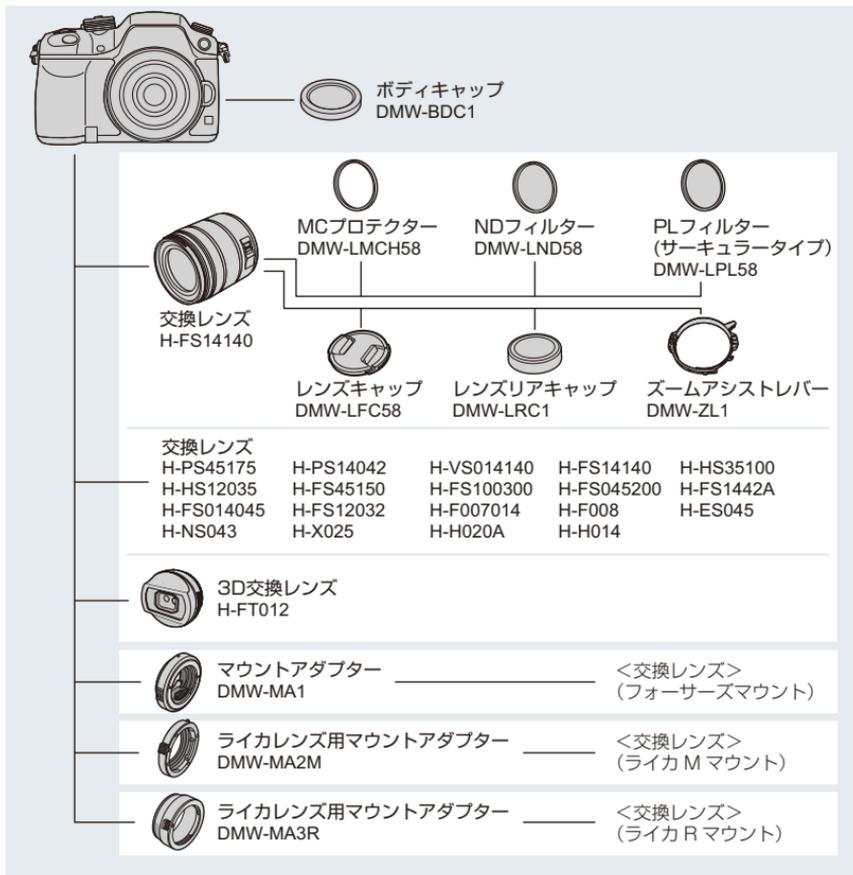
- [位置情報記録]/[RAW現像]/[クリアレタッチ]/[タイトル入力]/[文字焼き込み]/[動画分割]/[インターバル動画作成]/[コマ撮りアニメ作成]/[リサイズ(縮小)]/[トリミング(切抜き)]/[画像回転]/[縦位置自動回転]/[お気に入り]/[プリント設定]/[プロテクト]/[認証情報編集]/[画像表示順]/[消去確認画面]

13. その他・Q&A

別売品のご紹介



➡ 続く



●別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
記載の品番は2014年3月現在のものです。変更されることがあります。

パナソニックグループの
ショッピングサイト



Panasonic Store

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけ
るものもあります。

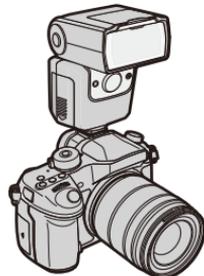
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご
覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

外部フラッシュ(別売)

フラッシュライト(別売: DMW-FL360L、DMW-FL580L、DMW-FL500)を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備: 本機の電源スイッチを[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じてください。

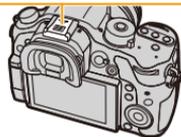
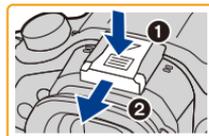


ホットシューカバーを取り外す

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。

ホットシューカバーを矢印①の方向に押しながら、矢印②の方向に引いて取り外す

- ご使用にならないときは、必ずホットシューカバーを取り付けてください。
- ホットシューカバーの紛失にお気をつけください。



■ 専用フラッシュライト(別売: DMW-FL360L)を使う場合

- 1 ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる
- 2 メニューを設定する(P49)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定]

- 3 ▲/▼ ボタンで [フラッシュモード] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 外部フラッシュ接続中は以下のアイコンが表示されます。
 - ⚡: 外部フラッシュ強制発光
 - ⚡S: 外部フラッシュスローシンクロ
 - ⊘: 外部フラッシュ発光禁止
 - ワイヤレスフラッシュとの通信発光もできません。

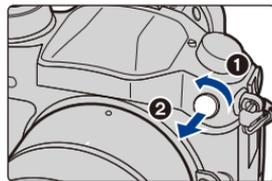
→ 続く

**本体(DMC-GH4)との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合**

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値と ISO 感度に合わせることでできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。(シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。)

■ フラッシュシンクロ端子で外部フラッシュを使う場合

- フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続して、外部フラッシュを使用できます。端子には、ケーブルの抜け落ちを防止するロックねじが付いています。
- フラッシュシンクロ端子キャップは、矢印の方向に回して外してください。
- フラッシュシンクロ端子キャップの紛失にお気をつけください。
- フラッシュシンクロ端子には極性は有りません。シンクロケーブルの極性にかかわらず、そのまま使用できます。
- シンクロ電圧が 400 V 以下のフラッシュをご使用ください。
- シンクロケーブルは 3 m 未満をご使用ください。



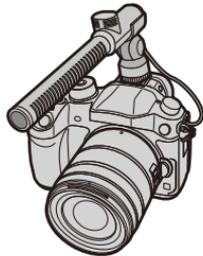
- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をお勧めします。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを[☑]に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。(P113)
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- ワイヤレスフラッシュの設定については 153 ページをお読みください。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

外部マイク(別売)

ステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声が録音できます。

ステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)を使用すると、ガン(鋭い指向性)收音と広い範囲のステレオ收音を切り換えて收音することができます。

準備: 内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源スイッチを[OFF]にしてください。本体に取り付けられているホットシューカバーを取り外してください。(P289)



■ ステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)の收音する範囲を設定する

- 1 本機に専用ステレオガンマイクロホンを取り付け、本機の電源を入れる
- 2 動画撮影メニューから[専用マイク設定]を選ぶ(P49)
 - ステレオガンマイクロホン接続中にのみメニュー項目が表示されます。
- 3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

ステレオ	広い範囲の音をステレオで收音することができます。
レンズ運動	レンズの画角に合わせて自動で設定された範囲の音を收音することができます。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を收音することができます。
スーパーガン	[ガン]よりもさらに狭い範囲の方向の音を收音することができます。
マニュアル	範囲を手動で設定し、收音することができます。

4 ([マニュアル]選択時) ◀/▶ ボタンで範囲を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 動画に記録される音声をヘッドホンで聞きながら、範囲を選ぶことをお勧めします。
- 外部マイク接続中は、画面に[🔊]が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[マイクレベル表示](P169)が自動的に[ON]になり、画面にマイクレベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、脱落のおそれがありますので、外部マイクのみを持たないようにしてください。
- 動画撮影メニューの[風音低減]を設定すると、風雑音を効果的に低減することができます。
- 外部マイク装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- ACアダプター(別売)使用時にノイズなどが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- ステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を装着時は、[専用マイク設定]は[ステレオ]に固定されます。
- [専用マイク設定]を[レンズ運動]、[スーパーガン]、[マニュアル]に設定時、動画撮影メニューの[音声モニタリング]は[記録音]に固定されます。
- [専用マイク設定]を[マニュアル]設定時に、カスタムメニューの[Fnボタン設定](P265)で[マイク指向性調整]を設定したファンクションボタンを押すと、範囲の設定画面が表示されます。
- マイクロフォーサーズマウント規格/フォーサーズマウント規格に対応したレンズ装着時のみ、[レンズ運動]は使えます。本体と通信機能のない一部のマイクロフォーサーズマウント規格/フォーサーズマウント規格のレンズ装着時は、[レンズ運動]は使えません。
- 詳しくは、外部マイクの説明書をお読みください。

バッテリーグリップ(別売)

バッテリーグリップ(別売:DMW-BGGH3)を使用すると、縦撮影時の操作性やホールド感が向上します。予備のバッテリーを装着し、長時間撮影することができます。



■ 予備のバッテリーの優先使用順を設定する

本機とバッテリーグリップのそれぞれにバッテリーを入れたときは、どちらのバッテリーから先に使うかを設定できます。

準備:本機の電源スイッチを[OFF]にし、接点カバーを外す。

- 1 本機にバッテリーグリップを取り付け、本機の電源を入れる
- 2 セットアップメニューから[バッテリー使用順序]を選ぶ(P49)
- 3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[本体優先]: カメラ側のバッテリーから先に使用します。

[BG 優先]: バッテリーグリップ側のバッテリーから先に使用します。

- バッテリーグリップ側のバッテリーを使用時は、画面に [BG] が表示されます。
- バッテリーグリップの [Fn] ボタンに、お好みの機能を割り当てることができます。(P265)
- 接点カバーが外れにくいときは、カメラの溝があるほうの角を中央へ向けてめくってください。
- 詳しくは、バッテリーグリップの説明書をお読みください。

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、B(バルブ)撮影時や連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。



- 動画撮影に使用する場合は、クリエイティブ動画モード(P163)に設定してください。シャッターリモコンで動画撮影開始/終了をすることができます。
- 詳しくは、シャッターリモコンの説明書をお読みください。

こんなときは使えません

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
-スリープモードを解除するとき

ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC10)を接続し、電源コンセントにつなぐと、本機をパソコンやプリンターに接続するときに、バッテリーの消耗を気にせず使うことができます。ACアダプターを使用するには、DCカプラー(別売:DMW-DCC12)が必要です。

- DCカプラー装着時、DCカプラー扉が開くため、防じん防滴構造ではなくなります。砂やほこり、水滴などが付着、侵入しないようにお気をつけください。使用後は、カプラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉じてください。
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

フィルター(別売)

MCプロテクターは、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。

NDフィルターは、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8(3絞り分)に減少させることができます。

PLフィルターは、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

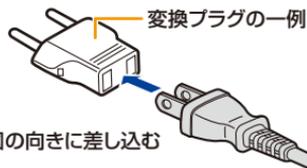
- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを付けたまま、レンズキャップやレンズフードを取り付けることができます。
- 詳しくは、各種フィルターの説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V~240 V)、電源周波数(50 Hz, 60 Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。
変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、チャージャーと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

■ 変換プラグの付け方



■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE	ギリシャ	AB,B3,C(C2),SE	スイス	AB,C(C2),SE
スウェーデン	B,C(C2),SE	スペイン	A,C(C2),SE	デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2),SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2),SE	ベルギー	B,C(C2),SE	ロシア	A,C(C2),SE				
アジア											
インド	B,BF,B3,C(C2)	インドネシア	B,B3,C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF,C(C2)	大韓民国	A,C(C2),SE	台湾	A,C(C2),0
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,0	ベトナム	A,BF,C(C2),SE	香港特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マカオ特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マレーシア	B,BF,B3,C(C2)
オセアニア											
オーストラリア	0	グアム島	A	サイパン島	A	トンガ	0	ニュージーランド	0	フィジー	AB,C(C2),0
中南米											
アルゼンチン	BF,C(C2),SE	ペルー	A,BF,C(C2)	ブラジル	A,C(C2),SE	メキシコ	A,C(C2),SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF,B3	エジプト	BF,B3,C(C2),SE	クウェート	B,B3,C(C2)	トルコ	A,B,C(C2),SE	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C(C2)	モロッコ	A,C(C2),SE
タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	0				
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロッパタイプ		オーストラリアンタイプ				
コンセント形状											
プラグ形状	不要です										



時計を海外旅行先の時刻に合わせる

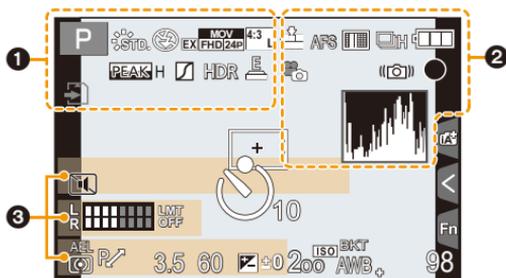
セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

モニター/ファインダーの表示

モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

●画面はモニターで表示画面を [] (モニタースタイル) に設定時の例です。

撮影時



1

	撮影モード(P40)
C 1	カスタムセット(P268)
	フォトスタイル(P115)
	クリエイティブコントロール調整表示(P68)
	フラッシュモード(P149)
	フラッシュ設定(P151、153)
	EXテレコン(動画時)(P134)
	画質設定(P158)
	記録方式/画質設定* ¹ (P158)/バリアブルフレームレート* ¹ (P174)
	記録画素数/画像横縦比(P107)
	EXテレコン(写真時)(P134)
	カード(記録時のみ表示)(P34)
XXhXXmXXs	記録経過時間* ² (P156)
	同時記録表示(P162)
	ファインダー/モニター自動切換(P44)
	ピーキング(P93)
	ハイライトシャドウ(P117)
	HDR(P119)/iHDR(P63)
	多重露出(P138)
	デジタルズーム(P135)
	電子シャッター(P140)
100%	バリアブルフレームレート(P174)

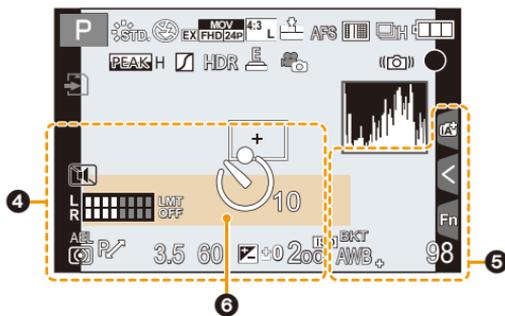
2

	RAW	クオリティ(P108)
	AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P80、90)
		オートフォーカスモード(P79)
		個人認証(P142)
	AFL	AFロック(P131)
		連写(P95)
		オートブラケット(P97)
		セルフタイマー(P99)
		インターバル撮影(P100)
		コマ撮りアニメ(P103)
		バッテリー残量(P29)
		バッテリーグリップ(P292)
		写真撮影(写真優先)(P162)
		手ブレ補正* ³ (P46)
		手ブレ警告(P46)
		記録動作(赤点減)(P156)/フォーカス(緑点灯)(P39)
		フォーカス(低照度時)(P79)
		Wi-Fi 接続状態
		ヒストグラム表示(P258)

3

名前* ⁴ (P145)
トラベル経過日数* ⁵ (P55)
月齢/年齢* ⁴ (P145)
旅行先* ⁵ (P55)
現在日時/旅行先設定* ⁵ : (P54)

撮影時



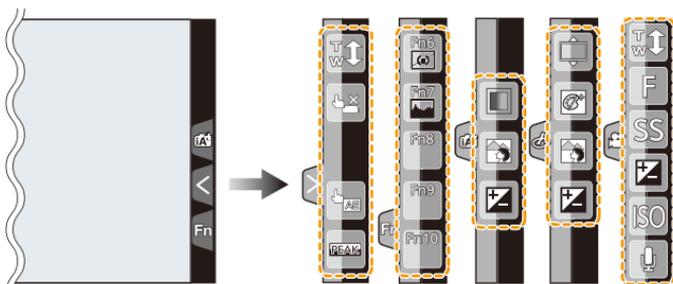
4		AFエリア(P79,86)
		スポット測光ターゲット(P132)
		セルフタイマー*6(P99)
		サイレントモード(P139)
		外部マイク(P291)
		マイクレベル表示(P169)
		マイクレベルリミッター(OFF) (P167)
	TC 00:00:00:00	タイムコード(P173)
		AEロック(P131)
		測光モード(P132)
		プログラムシフト(P123)
	3.5	絞り値(P39)
	60	シャッタースピード(P39)
	11d	シャッタースピード(角度)(P169)
		露出補正值(P130)
		明るさ(P65,68) マニュアル露出アシスト(P126)
		ISO感度(P109)
	0dB	ゲイン(dB)(P169)

5		ホワイトバランスブラケット (P114) ホワイトバランス微調整(P113)
		ホワイトバランス(P111)
		色合い(P65)
	98	記録可能枚数(P323)
	r20	連続撮影可能枚数(P96)
	残XmXXs	記録可能時間*1,2(P323)
		タッチタブ*7(P263)
		タッチタブ*7(P263,266)
		タッチタブ*7(P65,263)
		タッチタブ*7(P68,263)
		タッチタブ*7(P164,263)

6		露出メーター(P259)
		焦点距離表示(P136)
		ステップズーム(P136)

- ※1 カスタムメニューの[動画優先表示](P171)を[ON]に設定時、表示されます。
- ※2 hは「hour(時間)」, mは「minute(分)」, sは「second(秒)」を省略した表示です。
- ※3 手ブレ補正機能対応レンズ装着時のみ表示されます。
- ※4 [プロフィール設定]を設定時、電源を入れた場合に約5秒間表示されます。
- ※5 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
- ※6 カウントダウン中に表示されます。
- ※7 モニターにのみ表示されます。

撮影時

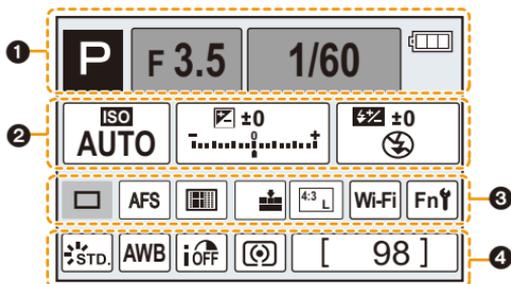


- モニターにのみ表示されます。

	タッチズーム (P137)		色合い (P65)
	タッチシャッター (P77)		ボケ味コントロール (P64, 68)
	タッチ AE (P78)		明るさ (P65, 68)
	ピーキング (P93)		ぼかし方 (ジオラマ) (P73)
	Fn6 (ファンクションボタン) (P266)		ワンポイントカラー (P75)
	Fn7 (ファンクションボタン) (P266)		光源の位置 (P76)
	Fn8 (ファンクションボタン) (P266)		クリエイティブコントロール調整 (P68)
	Fn9 (ファンクションボタン) (P266)		絞り値 (P39)
	Fn10 (ファンクションボタン) (P266)		シャッタースピード (P39)
			ISO感度 (P109)
			ゲイン (dB) (P169)
			マイクレベル設定 (P167)

撮影時

モニター撮影情報画面



1

IA iA [*] P A S M	撮影モード(P40)
F3.5	絞り値(P39)
1/60	シャッタースピード(P39)
11d	シャッタースピード(角度) (P169)
	バッテリー残量(P29)

2

AUTO	ISO感度(P109)
0dB	ゲイン(dB)(P169)
	露出補正值(P130)
	明るさ(P65) マニュアル露出アシスト(P126)
	フラッシュモード(P149)
	フラッシュ設定(P151、155)

3

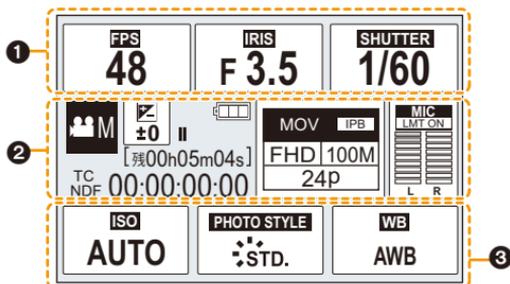
	単写(P94)
	連写(P95)
	オートブラケット(P97)
	セルフタイマー(P99)
	インターバル撮影(P100)
	コマ撮りアニメ(P103)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P80、90)
	オートフォーカスモード(P79)
	クオリティ(P108)
	記録画素数/画像縦横比(P107)
Wi-Fi	Wi-Fi(P209)
Fn	ファンクションボタン設定(P265)

4

	フォトスタイル(P115)
	ホワイトバランス(P111)
	iDレンジコントロール(P118)
	測光モード(P132)
98	記録可能枚数(P323)
r20	連続撮影可能枚数(P96)
残XXmXXs	記録可能時間(P323)

撮影時

モニター撮影情報画面(動画優先表示)

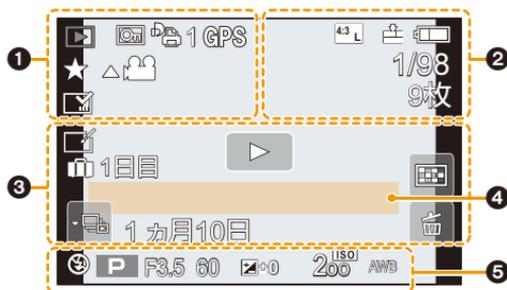


1	FPS 48	記録フレームレート(P158)/ バリエーションフレームレート (P174)
	IRIS F 3.5	絞り値(P39)
	SHUTTER 1/60	シャッタースピード(P39)
	SHUTTER 11d	シャッタースピード(角度) (P169)

3	ISO AUTO	ISO感度(P109)
	0dB	ゲイン(dB)(P169)
	STD. VIVID NAT MONO SCNY PORT CUST CNED CNEV	フォトスタイル(P115)
	AWB 2500K	ホワイトバランス(P111)

2	IA IA* P A S M	撮影モード(P40)
	±0	露出補正值(P130) 明るさ(P65) マニュアル露出アシスト(P126)
	BATT	バッテリー残量(P29)
	 	動画記録表示(停止中)
	●	動画記録表示(記録中)
	☐	カードなし
	残XXhXXmXXs	記録可能時間(P323)
	98	記録可能枚数(P323)
	TC NDF 00:00:00:00	タイムコード(P173)
	MOV FHD 100M 24P	記録方式/画質設定(P158)
	MIC LMT ON	マイクレベル表示(P169)/ マイクレベルリミッター (P167)

再生時



	再生モード(P188)
	プロテクト(P205)
	プリント枚数(P203)
	GPS 位置情報(P189)
	お気に入り表示(P202)
	ケーブル切断禁止アイコン(P280)
	動画再生(P180)
	連写グループ連続再生(P184)
	インターバル撮影グループ連続再生(P184)
	コマ撮りグループ連続再生(P184)
	文字焼き込み済み表示(P195)
XXhXXmXXs	再生経過時間*1(P180)

	記録画素数/画像横縦比(P107)
	画質設定(P158)
100%	バリアブルフレームレート(P174)
MOV FHD 100m IPB 1224.00P	記録方式/画質設定*2(P158)/バリアブルフレームレート*2(P174)
	クオリティ(P108)
	バッテリー残量(P29)
	バッテリーグリップ(P292)
1/98	画像番号/トータル枚数
9枚	連写枚数
XXhXXmXXs	動画記録時間*1(P180)

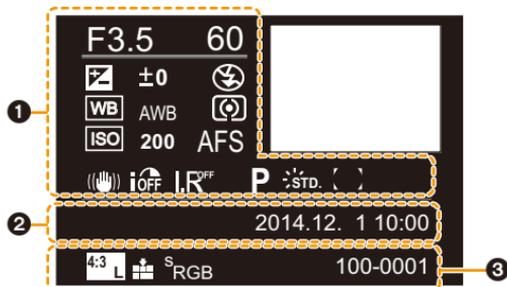
	クリアタッチ済み表示(P193)
	情報取得中アイコン(P304)
	再生(動画)(P180)
	トラベル経過日数(P55)
	連写グループ表示(P184)
	インターバル撮影グループ表示(P184)
	コマ撮りグループ表示(P184)
	サイレントモード(P139)
1 ヵ月10日	月齢/年齢(P144、145)
	マルチ再生(P182)
	消去(P185)

	名前*3(P144、145)
	旅行先*3(P55)
	タイトル*3(P194)

	撮影情報*4
--	--------

再生時

詳細情報表示



①

撮影情報

iOFF	iレンジコントロール※ ⁴ (P118)
HDR ON	HDR※ ⁵ (P119)/iHDR※ ⁵ (P63)
LR OFF	超解像(P118)
[]	シェーディング補正※ ⁵ (P120)

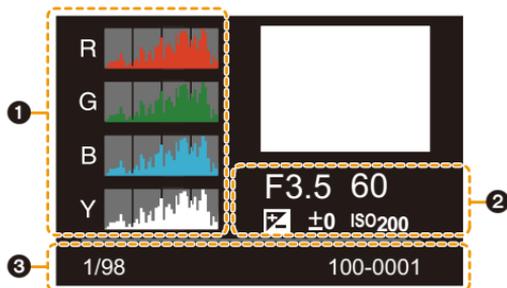
②

撮影日時/ワールドタイム(P54)

③

4:3 L	記録画素数/画像縦横比(P107)
RAW	クオリティ(P108)
S RGB	色空間※ ⁴ (P121)
100%	画質設定(P158)
MOV FHD 100m 12/24.00p	記録方式/画質設定※ ² (P158)/ バリアブルフレームレート※ ² (P174)
100-0001	フォルダー・ファイル番号※ ⁴ (P278)

ヒストグラム表示



①

ヒストグラム(P43)

②

撮影情報※⁴

③

1/98	画像番号/トータル枚数
100-0001	フォルダー・ファイル番号※ ⁴ (P278)

※1 hは「hour(時間)」, mは「minute(分)」, sは「second(秒)」を省略した表示です。

※2 カスタムメニューの[動画優先表示](P171)を[ON]に設定時、表示されます。

※3 [タイトル],[旅行先],[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。

※4 [AVCHD]で撮影した動画には表示されません。

※5 撮影した動画には表示されません。

メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

この画像はプロテクトされています

画像のプロテクトを解除してから(P205)消去をしてください。

消去できない画像があります/この画像は消去できません

DCF規格に準拠していない画像は消去できません。
パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。

この画像には設定できません

DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]などができません。

メモリーカードエラー/フォーマットしますか？

本機では使用できないフォーマットです。

- 別のカードを入れてお試しください。
- パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)し直してください。データは消去されます。

レンズが確認できません。またはカスタムメニューのレンズ無しリリースがオフになっています。

ライカレンズ用マウントアダプター(別売:DMW-MA2M、DMW-MA3R)使用時は、カスタムメニューの[レンズ無しリリース](P263)を[ON]に設定してください。

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに再度付け直してください。(P24)
再度電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

レンズを本体から取り外し、レンズ側と本体側の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。再度レンズを取り付け、電源を入れ直し、それでも表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズが正しく動作しませんでした。電源を入れ直してください。

レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メモリーカードエラー/このカードは使用できません

本機に対応したカードをお使いください。(P23)

カードを入れ直してください/別のカードでお試してください

- カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試してください。

リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。
- カードが破壊されている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試してください。

放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません。

- [システム周波数](P178)を変更し同じカードのまま使用すると、動画撮影できない場合があります。同じカードで撮影したい場合は、[システム周波数]をもとの設定に戻してください。現在の設定で動画を撮影したい場合は、以下を試してください。
 - パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。
 - 別のカードを入れてお試してください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画の[記録方式]や[画質設定]によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、23 ページの「動画撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- 指定されたスピードクラスのカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているため、バックアップをとりフォーマット(P52)することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。

フォルダーを作成できません

使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。

パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P52)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P59)

16:9TV用で出力します/4:3TV用で出力します

- [テレビ画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P57)
- USB接続ケーブルが本機のみ接続された場合も、メッセージが表示されます。USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P277、280)

情報取得中のため、編集操作はできません

画像ファイルが多いときに再生画面にすると、情報取得中アイコン[]、[]が長時間表示されることがあります。一部の再生メニューの使用はできません。

- 情報取得中に電源スイッチを[OFF]にした場合、それまでに情報を取得できた画像のみがグループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- 無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。
 - 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P245)
 - 無線アクセスポイントの電源が入っていません。
 - 本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。
- 接続先のネットワーク設定をご確認ください。
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHzの周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

送信できる画像がありません

送信先の制限によって、送信できる画像が 1 つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。(P249)

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。しばらくしてから再度実行してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。もう一度接続し直してください。

クラウドフォルダに画像をアップロードするには、他に PC やスマートフォン等のダウンロードできる機器をクラウド同期設定する必要があります。

- クラウドフォルダから画像をダウンロードする機器が登録されていません。
- クラウド同期設定は、パソコンの場合は PHOTOfunSTUDIO で、スマートフォン/タブレットの場合は「Image App」で設定してください。クラウド同期サービスについては 236 ページをご参照ください。

通信できませんでした

接続先のスマートフォン/タブレットについて、以下をご確認ください。

- スマートフォン/タブレットが動作していません。
- スマートフォン/タブレット側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。
- スマートフォン/タブレットの保存容量に空きがありません。

ログインできませんでした。ID とパスワードを確認ください。

「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインID、パスワードが間違っています。入力し直してください。ログインID、パスワードを忘れてしまった場合は、「LUMIX CLUB (PicMate)」のホームページのログイン画面に案内があります。

送信先の制限のため、送信されないファイルがあります /

送信完了しました。送信先の制限により、未送信のファイルがあります。

- 送信する画像のファイル形式を確認してください。(P249)
- 動画を送信する場合、ファイルサイズが大きいと送信できない場合があります。[動画分割]で動画を分割してください。(P197)

選択できません。PicMateのウェブページでログイン設定してください。

スマートフォン/タブレットやパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、送信先 Web サービスのログイン処理を行ってください。

写真専用と動画専用のウェブサービスは、同時に選択できません

写真専用の Web サービスと、動画専用の Web サービスを同時に選択することはできません。どちらかの選択を解除してください。

IP アドレスが取得できません。アクセスポイントのIPアドレス設定をDHCPにしてください。

接続する無線アクセスポイントの IP アドレスの DHCP 設定を有効にしてください。

サーバと接続できませんでした

ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。

メニュー一覧

撮影 (P308)	<ul style="list-style-type: none"> — フォトスタイル — 画像横縦比 — 記録画素数 — クオリティ — AFS/AFF — 測光モード — 連写速度 — オートブラケット — セルフタイマー — インターバル/コマ撮り撮影 — ハイライトシャドウ — iD レンジコントロール — 超解像 — i手持ち夜景 — iHDR — HDR — 多重露出 — 電子シャッター — シャッターダイレイ — フラッシュ設定 — デジタル赤目補正 — ISO感度上限設定 — ISO感度ステップ — 拡張 ISO 感度 — 長秒ノイズ除去 — シェーディング補正 — EX テレコン(写真) — デジタルズーム — 色空間 — 手ブレ補正 — 個人認証 — プロフィール設定 	動画 (P310)	<ul style="list-style-type: none"> — フォトスタイル — 記録方式 — 画質設定 — 動画露出設定 — バリアブルフレームレート — AFS/AFF — 写真撮影 — AF 連続動作 — 測光モード — ハイライトシャドウ — iD レンジコントロール — 超解像 — マスターベデスタル — 輝度レベル設定 — シンクロスキャン — EX テレコン(動画) — デジタルズーム — タイムコード設定 — 撮影時 HDMI 出力 — 音声モニタリング — タッチ静音操作 — マイクレベル表示 — マイクレベル設定 — 専用マイク設定 — マイクレベルリミッター — 風音低減 — レンズ動作音低減 — SS/ゲイン操作 — カラーバー
--------------	---	--------------	---

- [フォトスタイル]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

 続く

カスタム

(P312)

- カスタムセット登録
- サイレントモード
- AF/AEロック切換
- AF/AEロック維持
- シャッター半押しAF
- シャッター半押しリリース
- クイックAF
- アイセンサーAF
- ピンポイントAF時間
- AF補助光
- ダイレクトフォーカス移動
- フォーカス/リリース優先
- AF+MF
- MFアシスト
- MFガイド
- ビーキング
- ヒストグラム表示
- ガイドライン表示
- センターマーカー表示
- ハイライト表示

- ゼブラパターン表示
- モノクロライブビュー
- 常時プレビュー(Mモード)
- 露出メーター
- LVF表示スタイル
- モニター表示スタイル
- モニター撮影情報画面
- 記録枠表示
- 動画優先表示
- オートレビュー
- Fn ボタン設定
- Q.MENU
- ダイヤル設定
- 動画ボタン
- パワーズームレンズ
- フォーカスリング無しレンズ
- アイセンサー
- タッチ設定
- タッチ再生送り速度
- メニューガイド
- レンズ無しリリース

セットアップ

(P315)

- 時計設定
- ワールドタイム
- トラベル日付
- Wi-Fi
- 電子音
- スピーカー音量
- ヘッドホン音量
- ライブビューモード
- モニター調整 /LVF 調整
- モニター輝度
- エコモード
- バッテリー使用順序
- USBモード
- テレビ接続設定
- メニュー位置メモリー
- メニュー背景色
- メニューインフォメーション
- バージョン表示
- 露出補正リセット
- 番号リセット
- 設定リセット
- Wi-Fi 設定リセット
- システム周波数
- ピクセルリフレッシュ
- センサークリーニング
- フォーマット

再生

(P317)

- 2D/3D 切換
- スライドショー
- 再生モード
- 位置情報記録
- RAW 現像
- クリアレタッチ
- タイトル入力
- 文字焼き込み
- 動画分割
- インターバル動画作成
- コマ撮りアニメ作成
- リサイズ(縮小)
- トリミング(切抜き)
- 画像回転
- 縦位置自動回転
- お気に入り
- プリント設定
- プロテクト
- 認証情報編集
- 画像表示順
- 消去確認画面

 撮影

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。 ● [スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、 [モノクローム]、[風景]、[人物]、[カスタム]	P115
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。 ● [4:3]、[3:2]、[16:9]、[1:1]	P107
記録画素数	記録画素数を設定します。 ● [L]、[M]、[S]	P107
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。 ● [FINE]、[L-FINE]、[RAW FINE]、[RAW L-FINE]、[RAW]	P108
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てます。 ● [AFS]、[AFF]	P80
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。 ● [M]、[A]、[S]	P132
連写速度	連写時の連写速度を設定します。 ● [SH]、[H]、[M]、[L]	P95
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。 ● [単写/連写設定]、[補正幅]、[ブラケット順序]	P97
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。 ● [10]、[2]、[0]	P99
インターバル/ コマ撮り撮影	インターバル撮影とコマ撮りアニメの撮影時の設定を行います。	P100、 P103
ハイライトシャドウ	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。 ● [ON]、[OFF]、[ON]、[OFF]、[ON]、[OFF]、[ON]、[OFF]	P117
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。 ● [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]	P118
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。 ● [強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]	P118
i手持ち夜景	夜景を高速連写で撮影し1枚の画像に合成します。 ● [ON]、[OFF]	P62

iHDR	背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。 ● [ON]、[OFF]	P63
HDR	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。 ● [ON]、[OFF]、[設定]	P119
多重露出	1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。 ● [開始]、[自動ゲイン補正]、[再生画像と多重]	P138
電子シャッター	静かな環境での撮影時に、シャッター音を鳴らさずに撮影できます。 ● [ON]、[OFF]	P140
シャッターディレイ	手ブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと設定した時間が経過してからシャッターが切れます。 ● [8秒]、[4秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]	P141
フラッシュ設定	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。	P149
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。 ● [ON]、[OFF]	P149
ISO感度上限設定	ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。 ● [400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[25600]、[OFF]	P110
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。 ● [1/3 EV]、[1 EV]	P110
拡張ISO感度	ISO感度が最小[ISO 100]まで設定できるようになります。 ● [ON]、[OFF]	P110
長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。 ● [ON]、[OFF]	P120
シェーディング補正	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。 ● [ON]、[OFF]	P120
EX テレコン(写真)	記録画素数を[L]以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。 ● [ZOOM]、[TELE CONV.]、[OFF]	P134

デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。 ● [4×]、[2×]、[OFF]	P135
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。 ● [sRGB]、[AdobeRGB]	P121
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。 ● [(OFF)]、[(ON)]、[OFF]	P46
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。 ● [ON]、[OFF]、[登録]	P142
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。 ● [(男)]、[(女)]、[(猫)]、[OFF]、[設定]	P145

動画

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。 ● [スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、[モノクローム]、[風景]、[人物]、[カスタム]、[シネライクD]、[シネライクV]	P115
記録方式	記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4、MOV)を設定します。 ● [AVCHD]、[MP4]、[MP4(LPCM)]、[MOV]	P158
画質設定	記録する動画の画質(サイズ、記録フレームレートなど)を設定します。	P158
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。 ● [P]、[A]、[S]、[M]	P163
バリエーションフレームレート	クリエイティブ動画モード時に、スローモーション、クイックモーションの動画を撮影できます。 ● [ON]、[OFF]、[設定]	P174
AFS/AFF	フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てます。 ● [AFS]、[AFF]	P80
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。 ● [(C)]、[(M)]	P162

AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。 ● [ON]、[OFF]	P161
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。 ● [☉]、[☺]、[☻]	P132
ハイライトシャドウ	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。 ● [☑]、[☑]、[☑]、[☑]、[☑]、[☑]、[☑]	P117
iD レンジコントロール	コントラストや露出を補正します。 ● [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]	P118
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。 ● [強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]	P118
マスターベDESTAL	クリエイティブ動画モードでの、映像の基準となる黒を 31 段階で設定します。	P166
輝度レベル設定	動画の輝度の範囲を設定します。 ● [0-255]、[16-235]、[16-255]	P166
シンクロスキャン	クリエイティブ動画モードでの映像のちらつきや横しまを軽減することができます。 ● [ON]、[OFF]	P176
EX テレコン(動画)	望遠効果を高めます。 ● [ON]、[OFF]	P134
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。 ● [4×]、[2×]、[OFF]	P135
タイムコード設定	タイムコードの設定を行います。 ● [タイムコード表示]、[カウントアップ方式]、 [タイムコード値設定]、[タイムコードモード]	P173
撮影時 HDMI 出力	撮影時の HDMI 出力のしかたを設定します。 ● [出力ビット数]、[情報表示]、[4K ダウンコンバート]	P172
音声モニタリング	市販のヘッドホンを接続したときの音声出力方法とマイクレベル表示で表示される音声を設定します。 ● [リアルタイム]、[記録音]	P168
タッチ静音操作	タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。 ● [ON]、[OFF]	P164
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。 ● [ON]、[OFF]	P169
マイクレベル設定	音声入力のレベルを 19 段階に調整します。	P167

専用マイク設定	ステレオガンマイクロホン(別売)接続時の收音方法を設定します。 ● [ステレオ]、[レンズ連動]、[ガン]、[スーパーガン]、 [マニュアル]	P291
マイクレベルリミッター	音声入力のレベルを自動的に調整します。 ● [ON]、[OFF]	P167
風音低減	音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。 ● [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]	P167
レンズ動作音低減	パワーズームに対応した交換レンズの、動画撮影時に記録されるズーム動作音を低減します。 ● [ON]、[OFF]	P167
SS/ゲイン操作	クリエイティブ動画モードでのシャッタースピードやゲイン(感度)の設定値の単位を切り換えることができます。 ● [秒/ISO]、[角度/ISO]、[秒/dB]	P169
カラーバー	外部モニターの画質調整などに便利なカラーバーを表示します。 ● [SMPTE]、[EBU]、[ARIB]	P177

fc カスタム

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。 ● [C 1]、[C 2]、[C 3-1]、[C 3-2]、[C 3-3]	P268
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。 ● [ON]、[OFF]	P139
AF/AEロック切換	AF/AE ロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。 ● [AE LOCK]、[AF LOCK]、[AF/AE LOCK]、[AF-ON]	P131
AF/AEロック維持	ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK]のボタン動作を設定します。 ● [ON]、[OFF]	P131
シャッター半押しAF	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。 ● [ON]、[OFF]	P254
シャッター半押しリリース	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。 ● [ON]、[OFF]	P254

クイックAF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。 ● [ON]、[OFF]	P255
アイセンサーAF	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。 ● [ON]、[OFF]	P255
ピンポイントAF時間	オートフォーカスモードを[+]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。 ● [LONG]、[MID]、[SHORT]	P255
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 ● [ON]、[OFF]	P256
ダイレクトフォーカス移動	撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。 ● [ON]、[OFF]	P256、P91
フォーカス/リリース優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。 ● [フォーカス]、[リリース]	P256
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手でピントを合わせることができます。 ● [ON]、[OFF]	P256
MFアシスト	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。 ● [MF+]、[MF]FOCUS、[MF+]、[OFF]	P257
MFガイド	手でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MF ガイドを画面に表示します。 ● [ON]、[OFF]	P257
ピーキング	手でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。 ● [ON]、[OFF]、[設定]	P93
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示するかどうかを設定します。 ● [ON]、[OFF]	P258
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。 ● [1/3]、[2/3]、[田]、[OFF]	P258
センターマーカー表示	撮影画面の中心を示す [+] を表示します。 ● [ON]、[OFF]	P170
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。 ● [ON]、[OFF]	P259

ゼブラパターン表示	白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示します。 ● [ゼブラ 1]、[ゼブラ 2]、[OFF]、[設定]	P170
モノクロライブビュー	撮影画面を白黒表示にすることができます。 ● [ON]、[OFF]	P171
常時プレビュー (Mモード)	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。 ● [ON]、[OFF]	P127
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。 ● [ON]、[OFF]	P259
LVF表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。 ● []、[]	P42
モニター表示スタイル	モニターの表示方法を設定します。 ● []、[]	P42
モニター撮影情報画面	モニターの撮影情報画面を表示します。 ● [ON]、[OFF]	P260
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。 ● []、[]	P260
動画優先表示	動画撮影に適した画面に切り換えます。 ● [ON]、[OFF]	P171
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示します。 ● [時間]、[再生操作優先]	P260
ファンクション Fn ボタン設定	特定のボタンやアイコンに、よく使う機能を割り当てることができます。 ● [撮影時設定]、[再生時設定]	P265
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り換えます。 ● [プリセット]、[カスタム]	P261
ダイヤル設定	後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を変更します。 ● [F/SS ダイヤルの割当]、[F/SSダイヤルの回転]、 [露出補正のダイヤル割当]	P261
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。 ● [ON]、[OFF]	P261
パワーズームレンズ	パワースーム(電動式ズーム)に対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。 ● [焦点距離表示]、[ステップズーム]、[ズーム位置メモリー]、 [ズーム速度]、[ズームリング操作]	P136
フォーカスリング無しレンズ	MFアシスト時のコントロールダイヤルの動作を設定します。 ● [コントロールダイヤル(MF操作)]、[MFアシスト表示]	P262

アイセンサー	アイセンサーの感度やモニター表示/ファインダー表示の切り換えを設定します。 ● [感度]、[LVF/モニター切換]	P262
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。 ● [タッチパネル]、[タッチタブ]、[タッチ AF]、 [タッチパッド AF]	P263
タッチ再生送り速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。 ● [H]/[L]	P263
メニューガイド	モードダイヤルを  に切り換えたときに表示される画面を設定します。 ● [ON]、[OFF]	P263
レンズ無しリリース	本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。 ● [ON]、[OFF]	P263

セットアップ

時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。	P36
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。 ● [旅行先]、[ホーム]	P54
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 ● [トラベル日付設定]、[旅行先]	P55
Wi-Fi	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。 ● [Wi-Fi 機能]、[Wi-Fi 設定]	P251
電子音	電子音や電子シャッター音の音量を設定します。 ● [電子音音量]、[電子シャッター音音量]	P55
スピーカー音量	スピーカーの音量を7段階に調整します。	P55
ヘッドホン音量	市販のヘッドホンを接続したときの音量を16段階に調整します。	P55
ライブビューモード	撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度を設定します。 ● [30fps]、[60fps]	P56
モニター調整 /LVF 調整	モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。 ● []、[]、[]、[]	P56

モニター輝度	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。 ● [A*]、[1*]、[2*]	P56
エコモード	本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。 ● [スリープモード]、[LVF/モニター自動OFF]	P53
バッテリー使用順序	本機とバッテリーグリップのそれぞれにバッテリーを入れたときは、どちらのバッテリーから先に使うかを設定できます。 ● [本体優先]、[BG 優先]	P292
USBモード	USB 接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。 ● [🔌 接続時に選択]、[🖨️ PictBridge(PTP)]、[💻 PC]	P57
テレビ接続設定	テレビなどとの接続のしかたを設定します。 ● [テレビ画面タイプ]、[再生時HDMI 出力解像度]、 [3D テレビ出力]、[ビエラリンク]	P57
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。 ● [ON]、[OFF]	P58
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。	P58
メニューインフォメーション	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。 ● [ON]、[OFF]	P58
バージョン表示	本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。	P58
露出補正リセット	撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正量をリセットすることができます。 ● [ON]、[OFF]	P59
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。	P59
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P52
Wi-Fi 設定リセット	Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く)	P59
システム周波数	本機で撮影・再生する動画のシステム周波数を切り換えます。 ● [59.94Hz(NTSC)]、[50.00Hz(PAL)]、 [24.00Hz(CINEMA)]	P178
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。	P59
センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。	P59
フォーマット	カードをフォーマット(初期化)します。	P59

 再生

2D/3D 切換	3D 画像の再生方法を切り換えます。	P186
スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。 ● [全画像]、[写真のみ]、[動画のみ]、[3D]、 [カテゴリ選択]、[お気に入り]	P186
再生モード	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。 ● [通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ]、[3D]、 [カテゴリ再生]、[お気に入り再生]	P188
位置情報記録	スマートフォン / タブレットから送信された位置情報(緯度・経度)を画像に書き込むことができます。 ● [位置情報データ付与]、[位置情報データ消去]	P189
RAW 現像	RAW 形式で撮影した写真をカメラで JPEG 形式で現像できます。	P190
クリアレタッチ	撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。	P193
タイトル入力	撮影した画像に文字(コメント)を入力します。 ● [1枚設定]、[複数設定]	P194
文字焼き込み	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。 ● [1枚設定]、[複数設定]	P195
動画分割	撮影した動画を 2 つに分割します。	P197
インターバル動画作成	インターバル撮影グループから動画を作成します。	P198
コマ撮りアニメ作成	コマ撮りグループから動画を作成します。	P198
リサイズ(縮小)	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。 ● [1枚設定]、[複数設定]	P199
トリミング(切抜き)	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。	P200
画像回転	画像を手動で 90° ずつ回転させます。	P201
縦位置自動回転	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。 ● [ON]、[OFF]	P201
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。 ● [1枚設定]、[複数設定]、[全解除]	P202
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。 ● [1枚設定]、[複数設定]、[全解除]	P203

プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。 ● [1枚設定]、[複数設定]、[全解除]	P205
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。 ● [入換え]、[解除]	P206
画像表示順	本機で画像を再生するときの表示順を設定します。 ● [ファイル名]、[撮影日時]	P206
消去確認画面	画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。 ● [「はい」がはじめ]、[「いいえ」がはじめ]	P207

設定できるメニュー (撮影モード別)

(○: 設定可、×: 設定不可)

	iA	iA+	P	A	S	M	M
オートフォーカスモード	×	×	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	×	×	○	○	○	○	○
ホワイトバランス微調整	×	×	○	○	○	○	○
ホワイトバランスブラケット	×	×	○	○	○	○	×
ISO 感度	×	×	○	○	○	○	○
露出補正	×	○	○	○	○	×	○
ドライブモード							
連写	○	○	○	○	○	○	×
オートブラケット	×	○	○	○	○	○	×
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	×
インターバル撮影	○	○	○	○	○	○	×
コマ撮りアニメ	○	○	○	○	○	○	×
撮影メニュー							
フォトスタイル	×	○	○	○	○	○	×
画像縦横比	○	○	○	○	○	○	
記録画素数	○	○	○	○	○	○	
クオリティ	×	○	○	○	○	○	
AFS/AFF	○	○	○	○	○	○	
測光モード	×	×	○	○	○	○	
連写速度	○	○	○	○	○	○	
オートブラケット	×	○	○	○	○	○	
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	
インターバル/コマ撮り撮影	○	○	○	○	○	○	
ハイライトシャドウ	×	×	○	○	○	○	
iD レンジコントロール	×	×	○	○	○	○	
超解像	×	×	○	○	○	○	
i手持ち夜景	○	○	×	×	×	×	
iHDR	○	○	×	×	×	×	
HDR	×	×	○	○	○	○	
多重露出	×	×	○	○	○	○	
電子シャッター	×	○	○	○	○	○	
シャッターディレイ	×	○	○	○	○	○	
フラッシュ設定	×	×	○	○	○	○	
デジタル赤目補正	×	×	○	○	○	○	
ISO 感度上限設定	×	×	○	○	○	○	
ISO 感度ステップ	×	×	○	○	○	○	
拡張 ISO 感度	×	×	○	○	○	○	
長秒ノイズ除去	×	×	○	○	○	○	
シェーディング補正	×	×	○	○	○	○	

(○：設定可、×：設定不可)

	iA	iA+	P	A	S	M	M
撮影メニュー							
EX テレコン(写真)	×	○	○	○	○	○	×
デジタルズーム	×	×	○	○	○	○	
色空間	×	○	○	○	○	○	
手ブレ補正	×	○	○	○	○	○	
個人認証	○	○	○	○	○	○	
プロフィール設定	×	○	○	○	○	○	
動画撮影メニュー							
フォトスタイル	×	○	○	○	○	○	○
記録方式	○	○	○	○	○	○	○
画質設定	○	○	○	○	○	○	○
動画露出設定	×	×	×	×	×	×	○
バリアブルフレームレート	×	×	×	×	×	×	○
AFS/AFF	○	○	○	○	○	○	○
写真撮影	×	×	○	○	○	○	×
AF 連続動作	×	○	○	○	○	○	○
測光モード	×	×	○	○	○	○	○
ハイライトシャドウ	×	×	○	○	○	○	○
iD レンジコントロール	×	×	○	○	○	○	○
超解像	×	×	○	○	○	○	○
マスターベデスタル	×	×	×	×	×	×	○
輝度レベル設定	×	○	○	○	○	○	○
シンクロスキャン	×	×	×	×	×	×	○
EX テレコン(動画)	×	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	×	×	○	○	○	○	○
タイムコード設定	×	○	○	○	○	○	○
撮影時 HDMI 出力	×	○	○	○	○	○	○
音声モニタリング	○	○	○	○	○	○	○
タッチ静音操作	×	×	×	×	×	×	○
マイクレベル表示	×	○	○	○	○	○	○
マイクレベル設定	×	○	○	○	○	○	○
専用マイク設定	○	○	○	○	○	○	○
マイクレベルリミッター	×	○	○	○	○	○	○
風音低減	×	○	○	○	○	○	○
レンズ動作音低減	×	○	○	○	○	○	○
SS/ゲイン操作	×	×	×	×	×	×	○
カラーバー	×	○	○	○	○	○	○

(○：設定可、×：設定不可)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
オートフォーカスモード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ホワイトバランス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
ホワイトバランス微調整	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
ホワイトバランスブラケット	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
ISO 感度	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
露出補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドライブモード																							
連写	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	
オートブラケット	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
インターバル撮影	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
コマ撮りアニメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
撮影メニュー																							
フォトスタイル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
画像縦横比	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
記録画素数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
クオリティ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
AFS/AFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
測光モード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
連写速度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
オートブラケット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
インターバル/コマ撮り撮影	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ハイライトシャドウ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
iD レンジコントロール	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
超解像	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
i手持ち夜景	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
iHDR	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
HDR	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
多重露出	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
電子シャッター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
シャッターディレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フラッシュ設定	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
デジタル赤目補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ISO 感度上限設定	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
ISO 感度ステップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
拡張 ISO 感度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
長秒ノイズ除去	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
シェーディング補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(○：設定可、×：設定不可)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1 ポップ/2 レトロ/3 オールドデイズ/4 ハイキー/5 ローキー/6 セピア/7 モノクローム/ 8 ダイナミックモノクローム/9 ラフモノクローム/10 シルキーモノクローム/11 インプレッシブアート/ 12 ハイダイナミック/13 クロスプロセス/14 トイフォト/15 トイポップ/16 プリーチバイパス/17 ジオラマ/ 18 ソフトフォーカス/19 ファンタジー/20 クロスフィルター/21 ワンポイントカラー/22 サンシャイン																							
撮影メニュー																							
EX テレコン(写真)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
色空間	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
手ブレ補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人認証	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画撮影メニュー																							
フォトスタイル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
記録方式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画質設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画露出設定	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
パリアブルフレームレート	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
AFS/AFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
写真撮影	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AF 連続動作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
測光モード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハイライトシャドウ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
iD レンジコントロール	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
超解像	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マスターベデスタル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
輝度レベル設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シンクロスキャン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
EX テレコン(動画)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タイムコード設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影時 HDMI 出力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
音声モニタリング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タッチ静音操作	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
マイクレベル表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイクレベル設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専用マイク設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイクレベルリミッター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
風音低減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レンズ動作音低減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SS/ゲイン操作	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
カラーバー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 残り枚数が 10000 枚以上の場合は、[9999+] と表示されます。
- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [■] の場合

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	220	890	3610	7160
M(8M)	400	1620	6550	13000
S(4M)	660	2680	10850	20590

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [RAW■] の場合

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	68	270	1110	2220
M(8M)	79	310	1290	2580
S(4M)	86	340	1400	2790

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。



記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換える

カスタムメニューの[動画優先表示]を[ON]にすると、記録可能時間を表示することができます。(P171)



- 記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[FHD/28M/60p]/ [FHD/28M/50p]	7m00s	35m00s	2h30m	5h00m
[FHD/17M/60i]/ [FHD/17M/50i]	12m00s	55m00s	4h05m	8h15m
[FHD/24M/30p]/ [FHD/24M/25p]/ [FHD/24M/24p]	9m00s	40m00s	2h50m	5h50m

→ 続く

●記録方式 [MP4] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[4K/100M/30p]/ [4K/100M/25p]	1m00s	8m00s	40m00s	1h20m
[FHD/28M/60p]/ [FHD/28M/50p]	7m00s	34m00s	2h25m	5h00m
[FHD/20M/30p]/ [FHD/20M/25p]	9m00s	45m00s	3h15m	6h40m
[HD/10M/30p]/ [HD/10M/25p]	20m00s	1h25m	6h20m	12h45m
[VGA/4M/30p]/ [VGA/4M/25p]	38m00s	3h15m	13h00m	26h00m

●記録方式 [MP4(LPCM)] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[C4K/100M/24p]	1m00s	9m00s	40m00s	1h25m
[4K/100M/30p]/ [4K/100M/25p]/ [4K/100M/24p]	1m00s	9m00s	40m00s	1h25m
[FHD/II/200M/60p]/ [FHD/II/200M/50p]/ [FHD/II/200M/30p]/ [FHD/II/200M/25p]/ [FHD/II/200M/24p]	1m 未満	3m00s	18m00s	40m00s
[FHD/100M/60p]/ [FHD/100M/50p]/ [FHD/100M/30p]/ [FHD/100M/25p]/ [FHD/100M/24p]	1m00s	8m00s	40m00s	1h20m
[FHD/50M/60p]/ [FHD/50M/50p]/ [FHD/50M/30p]/ [FHD/50M/25p]/ [FHD/50M/24p]	3m00s	18m00s	1h20m	2h45m

 続く

●記録方式 [MOV] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[C4K/100M/24p]	1m00s	9m00s	40m00s	1h25m
[4K/100M/30p]/ [4K/100M/25p]/ [4K/100M/24p]	1m00s	9m00s	40m00s	1h25m
[FHD/II/200M/60p]/ [FHD/II/200M/50p]/ [FHD/II/200M/30p]/ [FHD/II/200M/25p]/ [FHD/II/200M/24p]	1m 未満	3m00s	18m00s	40m00s
[FHD/100M/60p]/ [FHD/100M/50p]/ [FHD/100M/30p]/ [FHD/100M/25p]/ [FHD/100M/24p]	1m00s	8m00s	40m00s	1h20m
[FHD/50M/60p]/ [FHD/50M/50p]/ [FHD/50M/30p]/ [FHD/50M/25p]/ [FHD/50M/24p]	3m00s	18m00s	1h20m	2h45m

- 撮影条件、カードの種類により記録可能枚数・時間は変動します。
- [MP4]のサイズが[FHD]、[HD]、[VGA]の動画では、1つの動画として連続記録できるのは29分59秒まで、またはファイルサイズ4 GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。
 - [FHD] は、ファイルサイズが大きいため29分59秒より前に撮影を終了します。
- [MP4]のサイズが[4K]の動画では、ファイルサイズが4 GBを超える場合、撮影時は一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます。
- [MP4(LPCM)]、[MOV] でファイルサイズが4 GB を超える場合、撮影時は一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて再生されます。
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。

Q&A 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず **1** の内容をお試しください。
それでも解決できない場合は、**2, 3, 4** の順にお試しください。

1 本項目(Q&A)の内容を試す

「バッテリー、電源について」.....	P327
「撮影について」.....	P327
「動画について」.....	P329
「レンズについて」.....	P330
「フラッシュについて」.....	P331
「モニター/ファインダーについて」.....	P331
「再生について」.....	P332
「Wi-Fi 機能について」.....	P334
「テレビ、パソコン、プリンターについて」.....	P338
「その他」.....	P339



2 セットアップメニューの[設定リセット]を行う(P52)

MENU ボタン → [セットアップ] → [設定リセット]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



3 パナソニックのサポートサイトで確認する

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- 最新のサポート情報、対応レンズなどに関する情報を掲載しています。



4 ご相談窓口にお問い合わせ

付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。



バッテリー、電源について

電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。

- バッテリーが消耗しています。
→ 充電してください。
- 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。
→ [エコモード](P53)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

電源が勝手に切れる。

- ビエラリンク(HDMI)の連動操作が動いていませんか？
→ ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[비에라링크]を[OFF]に設定してください。(P58)

バッテリー扉が閉じない。

- バッテリーを確実に奥まで挿入してください。(P32)

バッテリーの消耗が早い。

- 長時間 Wi-Fi 接続を行っていませんか？Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。
→ [エコモード](P53)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影について

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- ピントは合っていますか？
→ お買い上げ時は、[フォーカス/リリース優先]が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影されません。(P256)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなる場合があります。
→ 汚れたときは、電源スイッチを[OFF]にし、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
→ 撮像素子が汚れたときは、342ページをお読みください。

撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。

- 露出が正しく補正されているか確認してください。(P130)
- 不適切な状態でAEロック(P131)がかかっていますか？

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- 以下の設定を解除してください。
 - 連写 / オートブラケット / セルフタイマーの [📷] (P94)
 - ホワイトバランスブラケット (P114)

ピントが合わない。

- ピントが合う範囲から外れています。(P39)
- 手ブレや被写体ブレしています。(P46)
- [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっていませんか? (P256)
- [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていませんか? (P254)
- 不適切な状態でAFロック (P131)がかかっていませんか?

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。
 - 本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P38)
 - 遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー (P99) を使って撮影してください。

ホワイトバランスブラケット撮影ができない。

- カードのメモリー残量はありますか?

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下をお試しください。
 - 明るい場所で撮影してください。
 - ISO感度を低くしてください。(P109)
 - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P116)
 - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定してください。(P120)
- [記録画素数] (P107) または [クオリティ] (P108) を低く設定していませんか?
- [デジタルズーム]を設定していませんか? (P135)

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- [電子シャッター]が[ON]になっていませんか? (P140)
 - [電子シャッター]を[ON]に設定時、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。



ISO感度が高いとき、横しまが出る。(交換レンズ H-HO20 装着時)

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しまが撮影されることがあります。
 - ISO感度を低くしてください。(P109)

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

被写体でない明るい点が記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。
→ [ピクセルリフレッシュ] (P59) を行ってください。

被写体をロックできない。(動体追尾できない)

- 周回と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AF枠に合わせて設定してください。(P83)

操作音が小さい。

- スピーカーを指で塞いでいませんか? (P19)

動画について

動画が撮影できない。

- [システム周波数] (P178) を変更し同じカードのまま使用すると、動画撮影できない場合があります。同じカードで撮影したい場合は、[システム周波数] をもとの設定に戻してください。現在の設定で動画を撮影したい場合は、以下を試してください。
 - パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P52) してください。
 - 別のカードを入れてお試しください。
- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを [ON] にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 動画の [記録方式] や [画質設定] によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、23 ページの「動画撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- データ書き込み速度が低下したカードは、途中で動画撮影が終了する場合があります。
→ 何度も記録・消去を繰り返したカード、パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードは、バックアップをとり本機でフォーマット (P52) することをお勧めします。

動画撮影中に画面が暗くなる。

- 動画撮影中、バッテリーの消費を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがありますが、撮影された動画に影響はありません。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波(電波塔、高圧線など)により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しماが出る。被写体がゆがんで見える。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがあります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しماが目立つ場合、クリエイティブ動画モード(P163)で手動でシャッタースピードを[1/60]または[1/100]に設定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。[シンクロスキャン](P176)を使うと、さらに細かく軽減の設定ができます。

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。録音される音声が非常に小さい。

- 静かな環境下での撮影や、使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に録音されることがあります。フォーカス動作は[AF連続動作](P161)で[OFF]に設定できます。
- 操作音が気になるときは、[タッチ静音操作]を使って撮影することをお勧めします。(P164)
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

動画の最後に操作音が記録される。

- 動画は終了時に動画ボタンを押したときまでが記録されるため、操作音が目立つ場合があります。操作音が気になる場合は、以下をお試してください。
 - 再生メニューの[動画分割](P197)で動画の終わりの部分を分割してください。動画分割は最後のあたりでは分割できない場合があります。3秒ほど長めに撮影してください。
 - クリエイティブ動画モードに設定し、シャッターリモコン(別売)を使って撮影してください。(P293)

レンズについて

撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。

- 使用するレンズによっては、ズームの倍率によりレンズの特性上僅かにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

フラッシュについて

フラッシュが発光しない。

- フラッシュを閉じていませんか?フラッシュを開いてください。(P146)
- 電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。(P140)
→ [電子シャッター]を [OFF]に設定してください。
- サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。(P139)
→ [サイレントモード]を [OFF]に設定してください。

フラッシュが2回発光する。

- フラッシュは2回発光します。[[フラッシュ設定]の[発光モード]を[マニュアル]に設定時を除く)特に赤目軽減(P149)に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

モニター/ファインダーについて

電源 [ON] 中に、モニター/ファインダーが消える。

- 設定した時間の間に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF] (P53)が働き、モニター/ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。(P44)

モニターが明るすぎたり、暗すぎたりする。

- [モニター輝度]の設定を確認してください。(P56)
- [モニター調整]/[LVF調整]を行ってください。(P56)

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

モニターに画像が出ない。

- ファインダー表示になっていませんか?
→ [LVF]ボタンを押して、モニター表示に切り換えてください。(P44)
- モニターが消灯になっていませんか?
→ [DISP.]ボタンを押して表示情報を切り換えてください。(P42)

[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。

モニター/ファインダー上に黒、白、赤、青、緑の点が現れる。

- これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。

モニターにノイズが出る。

- 暗い場所では、モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。

モニター/ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のモニター/ファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付けが発生します。記録される画像には問題ありません。
→ [エコモード](P53)や画面の消灯(P42)、アイセンサー(P44)を使うなどして、こまめに画面を切り換えてください。

モニターを斜めから見ると色が着いて見える。

- これは本機モニターの特徴であり、異常ではありません。

ファインダーの色合いが実際とは異なる。

- これは本機ファインダーの表示方式の特徴であり、異常ではありません。記録される画像には問題ありません。

再生について

再生した画像が回転しない。意図しない方向に回転して表示される。

- [縦位置自動回転](P201)を[OFF]にすると画像は回転せずに表示されます。
- [画像回転](P201)で画像を回転することができます。

再生できない。撮影した画像がない。

- カードは入っていますか？
- カードに再生できる画像はありますか？
- パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？この場合、本機で再生することはできません。
→ パソコンからカードに画像を書き込む場合は、DVD(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- [再生モード]を設定していませんか？
→ [通常再生]に設定してください。(P188)

動画が再生できない。

- [システム周波数]が異なる設定で記録した動画は再生できません。(P178)
→ [システム周波数]を撮影したときの設定に戻してください。

フォルダー・ファイル番号が[-]で表示されたり、画面が黒くなる。

- 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？
- 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？
→ このような画像を消去するには、バックアップをとりフォーマット(P52)してください。

再生音や操作音が小さい。

- スピーカーを塞いでいませんか？(P20)

カレンダー再生で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。

- 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P36)
- パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。

撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。

- 室内や暗い場所でフラッシュを使って撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込むことがありますが、異常ではありません。

**画面に「サムネイル表示」と表示される。**

- 他機で撮影された写真ではありませんか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正([, [) が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。
→ フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを[)にする、または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P149)

本機で撮影した動画が他機で再生できない。

- 動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

Wi-Fi 機能について

Wi-Fi 接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

■ Wi-Fi 接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか?
→ 同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかつたり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

■ 無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。
 - 本機と無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。
 - 本機の向きを変えてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
 - [マニュアル入力]を行ってください。(P245)
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1~11チャンネルの中から選び、設定してください。
 - 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。(P245)もしくは、無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。
- 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。(無線アクセスポイントの説明書をご確認ください)
- 5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか?
→ 5 GHz/2.4 GHz 同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。

スマートフォン/タブレットとの接続に毎回時間がかかる。

- スマートフォン/タブレットの Wi-Fi 接続設定によっては時間がかかることがありますが、故障ではありません。

スマートフォン/タブレットの Wi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォン/タブレットの Wi-Fi 設定で、Wi-Fi 機能を OFF にしてから、再度 ON にしてお試しください。

LUMIX CLUB (PicMate)のログインID、パスワードを忘れた。

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン画面にある案内を確認してください。
<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

LUMIX CLUB (PicMate)の公開設定が変更できない。

- 本機から公開設定を変更することはできません。
→スマートフォン/タブレットまたはパソコンから「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインして設定を変更してください。

LUMIX CLUB (PicMate)の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。

- パソコンで編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。
- 表示順は「LUMIX CLUB (PicMate)」の画像管理のルールにも影響されることがあります。

AV機器に画像が送信できない。

- AV機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。

自宅に無線アクセスポイントがないが、LUMIX CLUB (PicMate)のサービスユーザー登録をしたい。

- 無線アクセスポイントがない環境では「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録はできません。

パソコンに画像を送信できない。

- OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとする、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoftアカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi 機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi 設定]メニューの[PC 接続設定]の[変更する]で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。詳しくは、251 ページをお読みください。
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- 本機と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OSによっては接続できないことがあります。
 - 本機の[時計設定]/[ワールドタイム]が、Windowsの「日付と時刻」/「タイムゾーン」、または Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか確認してください。大きくずれている場合は、合わせてください。

Web サービスに画像を送信できない。

- ログイン情報(ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード)が間違っていないか確認してください。
- Web サービスのサーバー、もしくは回線が混雑している可能性があります。
 - しばらくしてから再度実行してください。
 - LUMIX CLUB (PicMate)(<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>)や送信先の Web サービスのサイトもご確認ください。

Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。

- 画像のサイズが大きすぎませんか?
 - [送信サイズ](P250)で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割](P197)で動画を分割して送信してください。
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。
 - 無線アクセスポイントの近くで送信してください。

Web サービスにアップロードしたはずの画像が見えない。

- 画像送信中に切断された場合、アップロードを完了できないことがあります。
- サーバーの状況によっては、画像をアップロードしてから Web サービスに反映されるまで少し時間がかかることがあります。
 - しばらく待ってからもう一度お試しください。
- 「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Web サービス連携設定」で送信状況を確認することができます。

Web サービスの画像をカメラに戻したい。

- Web サービス上の画像は本機に保存(ダウンロード)することはできません。
 - アップロードした画像は消去せず、必ずバックアップを残してください。

Webサービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することができない。

- Webサービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することはできません。
→ スマートフォン/タブレットやパソコンで操作してください。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。
- 画像のサイズが大きすぎませんか?
→ [送信サイズ](P250)で画像サイズを小さくして送信してください。
→ [動画分割](P197)で動画を分割して送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(P249)
- Webサービスの容量または枚数がいっぱいになっています。
→ 「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Webサービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。

修理に出したら LUMIX CLUB (PicMate)のログイン ID、パスワードなどが消えてしまった。

- 修理の内容によっては、本機に登録された設定内容は消えてしまうことがあります。
→ 大切な設定は必ず控えを取っておいてください。

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]を実行してください。(P59)ただし、お客様がWi-Fi設定メニューで設定したすべての情報もリセットされます。([PicMate設定]は除く)

NFCで接続できない。

- お使いのスマートフォンが NFC に対応してるか確認してください。
→ 本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)でおサイフケータイ®FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。
- スマートフォンのNFC機能がONになっているか確認してください。
→ 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能を利用される場合は、事前に初期設定が必要です。
- おサイフケータイ®Felicaでご利用時、インターネットで接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。
- [NFC動作]が[OFF]になっていませんか?(P252)
- お使いのスマートフォンによっては、タッチしても認識しにくい機種があります。タッチしても認識されない場合は、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。
- タッチする時間が短いと認識できない場合があります。スマートフォンをしばらくタッチし続けてください。

テレビ、パソコン、プリンターについて

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。

- 正しく接続されていますか？
→ テレビの入力切替を外部入力にしてください。

テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。 テレビ画面と本機のモニターの表示される領域が違う。

- 本機の[テレビ画面タイプ]を確認してください。(P57)
- テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。

テレビで動画の再生ができない。

- カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？
→ AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブルをテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P271)
- [システム周波数]をお住まいの地域の放送方式と異なる方式に設定時、画像を正常に再生できない場合があります。
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定時、AVケーブルで接続してテレビで再生することはできません。

本機のスピーカーから音が出ない

- AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブルを接続している場合、本機から音は出ません。

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- HDMIマイクロケーブルで正しく接続されていますか？(P271)
- 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？(P58)
 - 入力切替が自動で切り換わらない場合はテレビのリモコンを使って入力切替してください。
 - 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。
 - 本機の電源を入れ直してください。
 - テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
 - [システム周波数]の設定を確認してください。(P178)

パソコンとの通信ができない。

- パソコンが本機を正常に認識していますか？
 - 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P57、277)
 - 本機の電源を入れ直してください。

パソコンにカードが認識されない。

- USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
- 1台のパソコンに2つ以上のUSB端子がある場合、別のUSB端子に接続してみてください。

パソコンにカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している)

- お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。

プリンターに接続して、プリントができない。

- PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。
→本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P57、280)

プリントすると、画像の端が切れる。

- トリミング(切抜き)や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「縁なし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください)
- お店によっては、横縦比を16:9に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

その他

本機を振ると装着したレンズから「カタカタ」音がする。

- 装着するレンズによっては、レンズが内部で移動することで音がする場合があります。故障ではありません。

電源[ON]時に、本体から音がする。

- ダストリダクション機能(P342)が動作する音で、故障ではありません。

レンズ部から音がする。

- 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

画像の一部が白と黒に点滅する。

- 白飛びが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。(P259)

シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P256)が赤く点灯します。

AF補助光が点灯しない。

- [AF補助光]を[ON]に設定していますか? (P256)
- 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。

本機が熱くなる。

- ご使用中、本機表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→ 「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P36)

ファイル番号が連続して記録されない。

- 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。

ファイル番号がさかのぼって記録される。

- 電源スイッチを[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源スイッチを[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録されることがあります。

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(別売:DMW-AC10)、DCカプラー(別売:DMW-DCC12)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなる場合があります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふってください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

→ 続く

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能について

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に動きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング] (P59) を行ってください。

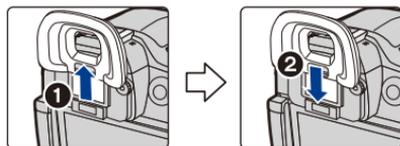
撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。

- ブロワー(市販)で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れしないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ファインダー/アイカップのお手入れについて

- ファインダーやアイカップが汚れた場合などお手入れの際は、アイカップを取り外してください(①)。ブロワー(市販)でファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、ファインダーやアイカップを乾いた柔らかい布で軽くふいてください。お手入れ後は、アイカップを取り付けてください(②)。
- アイカップの紛失にお気をつけください。



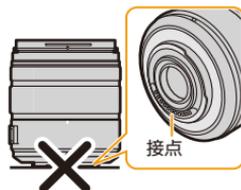
モニター/ファインダーについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や白い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズ取り付け部を下にして置かないでください。また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。



バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)および電源コード(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P294)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機を傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

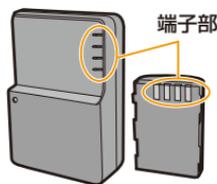
使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



チャージャーについて

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



カードについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

プロフィール設定/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードを設定することをお勧めします。(P252)

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
- 個人情報を含む情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を [Wi-Fi 設定リセット]/[消去・退会] を行って必ず消去してください。(P59, 241)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P52)
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、344 ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願ひ」をお読みください。

画像を Web サービスにアップロードするとき

- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところ保管してください。(推奨温度: 15℃~25℃、推奨湿度: 40%RH~60%RHです)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが [OFF] であっても、絶えず微小電流が流れています。これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚/一脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷することがありますので、三脚アダプター(別売:DMW-TA1)を取り付けてから三脚/一脚に装着することをお勧めします。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。

ショルダーストラップについて

- 本体に重いレンズ(約1 kg以上)を付けた場合、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。本体とレンズを持って持ち運びしてください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI, HDMIロゴ, およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”, “AVCHD Progressive”, および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobelは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistalは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie, Mac, Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Android および Google PlayはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED” ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setupのマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”, “Wi-Fi Protected Setup”, “Wi-Fi Direct”, “WPA”, “WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- ㊤は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

あ行

アイカップ	342
アイセンサー	44、262
アイセンサー AF	255
アクセス表示	34
圧縮率	108
位置情報記録	189
位置情報データ消去	250
位置情報の書き込み	221
色温度設定	113
色空間	121、278
インターバル撮影	100、184
インターバル動画作成	198
インターバル/コマ撮り撮影	100、103
インテリジェントオートプラスモード	60、66
インテリジェントオートモード	60、66
インテリジェント ISO	109
インプレッシブアート	71
後ダイヤル	41
エコモード	53
オートフォーカスモード	79
オートブラケット	97
オートホワイトバランス	112
オートレビュー	260
オールドデイズ	69
お気に入り	202
お気に入り登録する (Wi-Fi 接続)	247
お手入れ	341
音声モニタリング	168

か行

カーソルボタンロック	265
カード	33、34、344
ガイドライン表示	258
外部フラッシュ	153、289
外部マイク	291
カウントアップ方式	173
顔・瞳認識	61、83
拡張 ISO 感度	110
画質設定 (動画撮影時)	158
画質調整	116
カスタムセット登録	268
カスタムマルチ (AF)	84
カスタムメニュー	253、312
カスタムモード	268
風音低減	167
画像回転	201

画像表示順	206
画像横縦比	107
カメラ内の画像を送る	250
カラーバー	177
カレンダー再生	183
感度 (アイセンサー)	262
機器名称	251
輝度レベル設定	166
逆光補正	62
記録画素数	107
記録可能時間 (動画撮影時)	31、323
記録可能枚数	30、323
記録方式	158
記録枠表示	260
クイックメニュー	48
クイックモーション動画	174
クイック AF	255
クオリティ	108
クラウド上限枚数動作	250
クラウド同期サービス	236
クリアタッチ	193
クリエイティブコントロールモード	67
クリエイティブ動画モード	163
グループ画像	184
クロスフィルター	74
クロスプロセス	72
検出レベル	93
光学ズーム	133
個人認証	142
コマ撮りアニメ	103、184
コマ撮りアニメ作成	198
コントラスト	116
コントロールダイヤル	41
コントロールダイヤル (MF 操作)	262

さ行

再生	179
再生時 HDMI 出力解像度	57
再生ズーム	182
再生メニュー	186、317
再生モード	188
彩度	116
サイレントモード	139
撮影距離基準	92
撮影時 HDMI 出力	172
撮影中に画像を送る	249
撮影メニュー	308

三脚	346
サンシャイン	76
シェーディング補正	120
ジオタギング	222
ジオラマ	73
色相	116
色調	116
システム周波数	178
自動シーン判別	60
視度調整	38
絞り優先 AE モード	124
シャープネス	116
写真撮影 (動画撮影時)	162
シャッターディレイ	141
シャッター半押しリリース	254
シャッター半押し AF	254
シャッター優先 AE モード	125
シャッターリモコン	293
充電	28
出力ビット数	172
消去	185
消去確認画面	207
常時プレビュー (M モード)	127
焦点距離表示	136
情報表示 (HDMI 出力時)	172
ショルダーストラップ	27
シルキーモノクローム	71
シンクロスキャン	176
水準器表示	43
ズーム	133
ズーム位置メモリー	136
ズーム速度	136
ズームリング操作	136
ステップズーム	136
ステレオガンマイクロホン	291
スピーカー音量	55
スポット測光	132
スマートフォンとつないで使う	213
スライドショー	186
スリープモード	53
スローモーション動画	174
スロー/クイック効果	174
設定リセット	52
セットアップメニュー	52、315
セピア	70
ゼブラパターン表示	170
セルフタイマー	99

センサークリーニング	59
センターマーカー表示	170
専用マイク設定	291
送信サイズ	250
送信ファイル形式	250
測光モード	132
ソフトフォーカス	74

た行

タイトル入力	194
ダイナミックモノクローム	70
タイムコード設定	173
ダイヤル設定	261
ダイレクトフォーカス移動	91、256
宅外 AV 機器設定	242
多重露出	138
ダストリダクション機能	342
タッチ再生送り速度	263
タッチシェアリング	252
タッチシャッター	77
タッチズーム	137
タッチ静音操作	164
タッチ設定	263
タッチタブ	263
タッチパッド AF	88、263
タッチパネル	45、263
タッチ AE	78
タッチ AF	86、263
縦位置検出機能	38
縦位置自動回転	201
ダビング	279
中央重点測光	132
超解像	118
長秒ノイズ除去	120
追尾 AF	83
露付き	16
デジタル赤目補正	149
デジタルズーム	135
デフォルトに戻す	265、267
手ブレ補正	46
テレビ画面タイプ	57
テレビ再生	226、270、271
テレビ接続設定	57
電子音	55
電子シャッター	140
電子シャッター音音量	55
トイフォト	72

トイポップ	72
動画から写真を作成	181
動画再生	180
動画撮影	39、156、163
動画撮影中に写真を記録	162
動画撮影メニュー	310
動画分割	197
動画ボタン	39、156、261
動画優先表示	171
動画露出設定	163
時計設定	36
ドライブモード	94
トラベル日付	55
トリミング (切抜き)	200
ドロップフレーム	173

な行

認証情報	252
認証情報編集	206
ネットワークアドレス表示	252
ノイズリダクション	116
ノンドロップフレーム	173

は行

バージョン表示	58
ハイキー	69
ハイダイナミック	71
ハイライトシャドウ	117
ハイライト表示	259
パソコン接続	230、274
発光禁止	146
発光モード	148
バッテリー	28、32、343
バッテリーグリップ	292
バッテリー使用順序	292
バリアブルフレームレート	174
バルブ	127
パワーズームレンズ	136
番号リセット	59
ピーキング	93
ピエラリンク	58、272
ピクセルリフレッシュ	59
ヒストグラム表示	258
日付プリント	204、282、283
ピント	79、80、161
ピンポイント AF 時間	255
ピンポイント (AF)	82、87

ファイル番号	59、278、301
ファインダー	44、295
ファインダー / モニター自動切換	44
ファンクションボタン	265
ファンタジー	74
フィルター効果	116
フォーカスエリア選択	265
フォーカスモード	80
フォーカスリング無しレンズ	262
フォーカス / レリーズ優先	256
フォーマット	52
フォトスタイル	115
フォルダー番号	59、278、301
フラッシュ	146、148、153
フラッシュ光量調整	152
フラッシュシンクロ	151
フラッシュシンクロ端子	290
フラッシュ設定	149
フラッシュモード	149
プリーチバイパス	72
フリーラン	173
プリント	227、280
プリント設定	203
プリント枚数	203、282
プレビュー	128
プログラムシフト	123
プログラム AE モード	122
プロテクト	205
プロファイル設定	145
ヘッドホン音量	55
ボケ味コントロール	64、68
ホットシュー	289
ホットシューカバー	289
ポップ	69
ホワイトバランス	111
ホワイトバランス微調整	113
ホワイトバランスブラケット	114

ま行

マイクレベル設定	167
マイクレベル表示	169
マイクレベルリミッター	167
前ダイヤル	41
マスターベデスタル	166
マニュアル発光量設定	154
マニュアルフォーカス	90
マニュアル露出モード	126

マルチ再生.....	182
マルチ測光.....	132
メニュー位置メモリー.....	58
メニューインフォメーション.....	58
メニューガイド.....	263
メニュー背景色.....	58
文字入力.....	51
文字焼き込み.....	195
モニター.....	35、295
モニター輝度.....	56
モニター撮影情報画面.....	42、48、260、266
モニター出力.....	172
モニター調整.....	56
モニター表示スタイル.....	42
モノクローム.....	70
モノクロライブビュー.....	171

や行

用紙サイズ.....	282
------------	-----

ら行

ライブビューモード.....	56
ラフモノクローム.....	71
リサイズ (縮小).....	199
リモート撮影.....	218
レイアウト.....	282
レックラン.....	173
レトロ.....	69
連写.....	95
連写速度.....	95
レンズ.....	22、24、343
レンズ動作音低減.....	167
レンズ無しリリース.....	263
レンズフード.....	26
連続撮影可能枚数.....	96
ローキー.....	70
露出補正.....	130
露出補正リセット.....	59
露出補正連動.....	152
露出メーター.....	259

わ行

ワールドタイム.....	54
ワイヤレスチャンネル.....	153、154
ワイヤレス通信光量.....	155
ワイヤレスフラッシュ.....	155
ワイヤレスプリント.....	227

ワイヤレスモード.....	153
ワイヤレス FP.....	155
ワンショット スポット測光.....	265
ワンショット RAW+JPG.....	265
ワンプッシュ AE.....	129
ワンポイントカラー.....	75

英数字

1 点 (AF).....	82
1 枚消去.....	185、267
2D/3D 切換.....	186、285
3D 写真.....	284
3D テレビ出力.....	58
49 点 (AF).....	81
4K ダウンコンバート.....	172
4K 動画.....	157、270
AC アダプター.....	293
AF 補助光.....	256
AF 連続動作 (動画).....	161
AFC.....	80、161
AFF.....	80、161
AF-ON.....	92、131
AFS.....	80、161
AFS/AFF.....	80
AF/AE ロック.....	131
AF/AE ロック維持.....	131
AF/AE ロック切換.....	131
AF+AE.....	89
AF+MF.....	256
ARIB.....	177
AV 機器 (Wi-Fi 接続).....	228
AV ケーブル.....	271、279
AVCHD.....	158
AVCHD Progressive.....	159
B (バルブ).....	127
CINEMA (24.00Hz).....	178
DC カプラー.....	293
DCF 規格.....	179
DF (ドロップフレーム).....	173
EBU.....	177
EX テレコン.....	134
Fn ボタン設定.....	265
HDAVI Control™.....	272
HDMI マイクロケーブル.....	271
HDR.....	119
i 手持ち夜景.....	62

iD レンジコントロール	118	Wi-Fi 機能	211
i HDR	63	Wi-Fi 設定メニュー	251
Image App	212	Wi-Fi 設定リセット	59
iOS	212	Wi-Fi パスワード	252
IP アドレス	252	Wi-Fi Direct	246
ISO 感度	109	WPS	244
ISO 感度上限設定	110		
ISO 感度ステップ	110		
i.ISO (インテリジェント ISO)	109		
<small>ルミックス クラブ ピクメイト</small> LUMIX CLUB (PicMate)	238		
LVF 調整	56		
LVF 表示スタイル	42		
LVF/ モニター切換	262		
LVF/ モニター自動 OFF	53		
MAC アドレス	252		
MC プロテクター	293		
MF	90		
MF アシスト	257		
MF アシスト表示	262		
MF ガイド	257		
MOV	158		
MP4	158		
MP4 (LPCM)	158		
ND フィルター	293		
NDF (ノンドロップフレーム)	173		
NFC	217、220		
NFC 動作	252		
NTSC (59.94Hz)	178		
PAL (50.00Hz)	178		
PC 接続設定	251		
PHOTOfunSTUDIO	275		
<small>ピクメイト</small> PicMate 設定	238		
<small>ピクトブリッジ</small> PictBridge	280		
PL フィルター	293		
<small>クイックメニュー</small> Q.MENU	48、261		
RAW	108		
RAW 現像	190		
SD スピードクラス	23		
SMPTE	177		
SS/ ゲイン操作	169		
TTL	148		
TV で見る (Wi-Fi 接続)	226		
UHS スピードクラス	23		
USB 接続ケーブル	277、280		
USB モード	57		
Web サービス	233		



QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて
使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2014